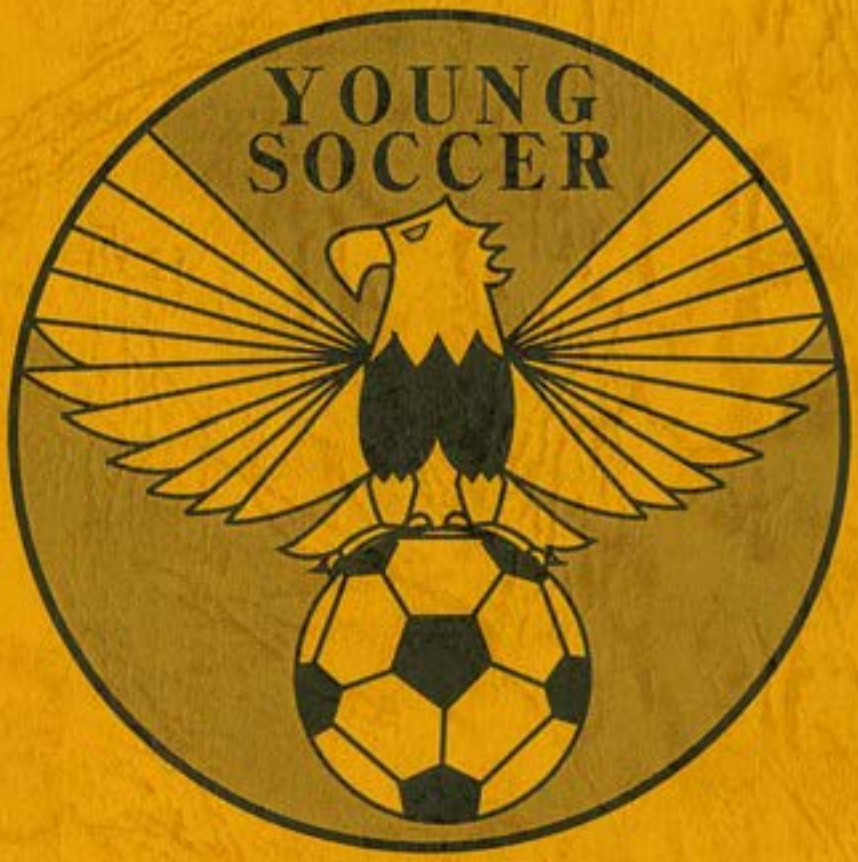
中西部 ヤングサッカーニュース

発刊10周年記念誌



静岡県中西部サッカー協会

中西部 ヤングサッカーニュース

発刊10周年記念誌

YOUNG SOCCER

静岡県中西部サッカー協会

ヤングサッカーニュース誌
100回号に寄せる

中西部サッカー協会
会長　曽根恵津広

ヤングサッカーニュースの発刊が100回を迎えるにあたり、先般、編集に携わっている方より原稿依頼を受け、正直、大変驚いたところであります。何気なく目を通し、少年達の日頃の活躍を読ませていただいていた回数が100回目であり、永々と10年以上も続いたことに大きな敬意を表すものであります。自らの仕事の間隙を見つけ、編集に努力を重ねられた役員並びに関係各位に心より感謝申し上げます。

さて、中西部地域のサッカーの低迷が叫ばれて久しい時間が経過し、人によっては未だその域を脱皮していないと言われています。はたして本当にそうであろうか？確かにかってのように全国に名を輝かせた高校生チームは未だ再現していません。しかし、小学生チームから社会人チーム数は着実に増加を続け、大いなる盛り上がりをみせています。また個々にはＪリーグで大変な活躍をしている当地域出身の選手も数多く見受けられます。私はこれらの現象を短絡的な一時期の強豪チームの創設よりも、底辺の拡大に方向をシフトしてきた現われと思い、悲観的な視点に立つことはないと思っております。この視点に立ったとき、本紙の果たした役割は大変大きなものがあったと思います。近隣チームの紹介や優秀な選手をたたえる記事など、プレーヤーのみならずサッカー観戦を楽しむ多くの市民により一層のインパクトを与え続けてきたものと思います。

今後共この地道な編集がサッカー人口とサッカーファンの底辺の拡大に大いに役立ってくれると思います。なお、100回の歴史には読者の大きな期待があったことも忘れてはなりません。

益々、期待を受けることのできる紙面づくりを200回に向けスタートを切っていただきたいと大いに期待をいたします。紙面に優勝という二文字が多く記載されることも必ず近い将来にあることも重ねて切望したいと思います。

創立100号を向かえて

中西部サッカー協会 理事長
発行者　深津敏夫

ヤングサッカーニュース、100号発刊達成御苦労様でした。御愛顧ありがとう御座いました。最初に滝本先生から発刊の話しがあった時には、割合簡単に賛成したと思います。協力してやれば良い、自分に責任は無いのだからと、月に２、３回の編集会議に出て勝手な事を言い、出来た紙面を批判して、責任も無く、その昔、壁新聞を作って貼り出した時の気持ちと同じ様なもの、その程度の思い、それが回を重ねるごとに色々と反響が出て来て月１回の15日発行だから、記事に出た時は大会が終了していた。講習会の日は過ぎてしまった。これではニュースではありません。又大会会場が変更になって紙面の会場では試合の無かった、と苦情もあった。

記事について提言、苦情電話を受けると、編集者の一員として責任を感じるようになります。日・時・を間違い無いように、一生懸命戦った選手に、頑張って良かったと思い出すような記事を書かなければなりません。こうなると責任は重くなり、編集者全員が、小さな事にも気遣い、楽しく読んでもらえるような努力をしなければ、読んでくれた人が、次号を待つようなニュースにしたい。

この齢になって大先輩宮崎(作)氏から励まされて、継続する事、支部内へ早く伝える責務など中西部支部の選手全員に支えられている事を念頭に置き良い記事を正確に伝える事をモットーに続け次に引き継ぎたいと思います。

今後も愛読され良い紙面になる事を誓って尚一層御期待くださいます様、よろしく。

ヤングサッカーニュース発刊から現在までの輝かしい歴史

1988年 4月　ヤングサッカーニュース発刊、藤枝市役所日本リーグ２部昇格・・・・・・1
1988年 6月　ジュニアユース日本代表アジア予選大会へ永井選手が出場・・・・・・・・5
1988年 7月　県高校総体、藤枝東高が準優勝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
1988年 8月　サッカーと私　山本直平氏・志太西日本OB大会が藤枝で開催・・・・・・13
1988年 9月　第２回世界少年大会優勝　山田暢、石川選手の２名が出場・・・・・・・・17
1988年10月　京都国体少年優勝　藤枝東から五十川・井川・山本・稲垣の4選手が出場・・21
1988年11月　京都国体２連覇　サッカーと私　松本博之氏・・・・・・・・・・・・・・25
1988年12月　第９回県中１大会　藤枝中が優勝　サッカーと私　後藤美喜補保氏・・・・29
1989年1,2月　全日本チャンピオンズカップ優勝、藤枝ＦＣ・・・・・・・・・・・・・・33
　　静岡FA指導者ブラジル研修
1989年 3月　サッカー王国ブラジル見聞録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
1989年 4月　中西部協会新会長　松田真平、第12回全日本中学選抜優勝・・・・・・・・41
1989年 5月　中西部サッカー協会新会長挨拶、技術委員会スタート・・・・・・・・・・45
1989年 6月　高校サッカー清水の壁は厚かった、影の顔たち・・・・・・・・・・・・・49
1989年 7月　第30回県体育功労賞岩田規氏受賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
1989年 8月　第16回藤枝ＪＣ杯が全国規模の大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
1989年 9月　第３回世界少年サッカー大会　２年連続優勝　小山選手が出場・・・・・・61
1989年10月　輝く戦士　太田渉選手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
1989年11月　藤枝・ペンリス親善大会、フジパンカップ東海大会、焼津西小優勝・・・・69
1989年12月　ヤングサッカーニュース３種認可、全国社会人大会、中央防犯優勝・・・・73
1990年 1月　がんばれ中西部サッカーマン(原田昇左右・大石千八・飯塚正二・服部毅一)・・77
1990年 2月　『サッカーのまち藤枝』藤枝市郷土博物館展示・・・・・・・・・・・・・81
1990年 3月　第13回全日本中学生選抜大会東海予選で優勝(中西部より6選手出場)・・・・85
1990年 4月　第５回県ジュニア選手権大会優勝　藤枝中央少年団・・・・・・・・・・・89
1990年 5月　オスカーサッカー教室開講、高校総体静清工高15年ぶり県大会へ・・・・・93
1990年 6月　県高校総体　静清工業高校ベスト４進出・・・・・・・・・・・・・・・・97
1990年 7月　中西部トレセン(小・中・高)初の韓国遠征・・・・・・・・・・・・・・・101
1990年 8月　第20回全国自治体サッカー優勝　藤枝市役所・・・・・・・・・・・・・・105
1990年 9月　藤枝市中学生選抜、オーストラリアペンリス市へ遠征・・・・・・・・・・109
1990年10月　サッカーを考えるアンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
1990年11月　高円宮杯第２回全日本ジュニアユース大会県大会優勝　藤枝中学校・・・・117
1990年12月　第26回全国社会人大会優勝　中央防犯・・・・・・・・・・・・・・・・121
1991年 1月　高円宮杯第２回全日本ジュニアユース選手権大会優勝　藤枝中学校・・・・125
1991年 2月　第18回全日本チャンピオンズカップ優勝　藤枝ＦＣ・・・・・・・・・・・129
1991年 3月　第14回全日本中学生選抜大会東海予選優勝中西部より３選手出場・・・・・133
1991年 4月　中央防犯日本リーグ２部昇格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・137
1991年 5月　中西部サッカー協会新理事長深津敏夫氏・・・・・・・・・・・・・・・・141
1991年 6月　ジュニアユース日本代表韓国遠征　中西部より２選手参加・・・・・・・・145
1991年 7月　サッカーのまち、鈴村路子レポート集　オランダだより・・・・・・・・・149
1991年 8月　中西部トレセン小・中学生韓国遠征・・・・・・・・・・・・・・・・・・153
1991年 9月　第21回全国自治体大会優勝　藤枝市役所　大井川町役場３位・・・・・・157

1991年10月　平成３年度地域スポーツ指導員養成講習会・・・・・・・・・・・・・・・・・161
1991年11月　ふれあいサッカーカーニバル　世界のジーコ焼津市営グランドへ・・・・・165
1991年12月　第18回県中学生選抜大会、焼津地区選抜準優勝・・・・・・・・・・・・・・169
1992年 1月　今年注目の選手たち、君の未来にキックオフ・・・・・・・・・・・・・・・173
1992年 2月　中西部サッカー協会事務所、中央防犯㈱内へ新設・・・・・・・・・・・・・177
1992年 3月　藤枝東高初のヨーロッパ遠征・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・181
1992年 4月　中西部トレセン韓国遠征・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・185
1992年 5月　少年トレセン各地区で開講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・189
1992年 6月　広幡サッカー少年団交通事故防止キャンペーン実施・・・・・・・・・・・193
1992年 7月　中西部トレセン小・中学生韓国遠征・・・・・・・・・・・・・・・・・・・197
1992年 8月　高円宮杯全日本ユース東海代表に藤枝東高校　藤枝北高韓国遠征・・・・・201
1992年 9月　高円杯第３回全日本ユース大会21年ぶり全国制覇　藤枝東高校・・・・・・205
1992年10月　第２回少年地域選抜研修会に松浦寿彰君が参加・・・・・・・・・・・・・209
1992年11月　全国高校選手権結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・213
1992年12月　中央防犯ＪＦＬ２部優勝、１部昇格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・217
1993年 1月　めざせワールドカップ、育て！夢のあるプレーヤー・・・・・・・・・・・221
1993年 2月　藤枝市長杯第１回ジュニアユースサッカー新設（前８回を継承）・・・・・225
1993年 3月　第25回ＮＴＴ県スポーツ少年団大会　藤枝中央少年団　準優勝・・・・・・229
1993年 4月　県高校選抜ヨーロッパ遠征　藤枝東高３選手参加・・・・・・・・・・・・233
1993年 5月　第17回全日本少年大会　榛原ＦＣ準優勝・・・・・・・・・・・・・・・・・237
1993年 6月　中西部サッカー協会新会長　曾根恵津広氏就任・・・・・・・・・・・・・241
1993年 7月　県中学選抜中国遠征、中西部トレセン小・中韓国遠征・・・・・・・・・・245
1993年 8月　ＳＢＳ杯日本ユース代表、山田　県高校選抜　吉野、小山、市野・・・・・249
1993年 9月　第20回藤枝ＪＣ杯全国少年サッカー優勝　藤枝ＦＣ・・・・・・・・・・・253
1993年10月　香川国体高校選抜に山田暢久と吉野友三選手が出場・・・・・・・・・・・257
1993年11月　社会体育優良団体で大富少年団が文部大臣賞を受賞・・・・・・・・・・・261
1993年12月　藤枝ブルックス、Ｊリーグフランチャイズ準備会開催・・・・・・・・・・265
1994年 1月　Ｊリーグでの活躍！あらたなる挑戦、中西部出身Ｊリーガー掲載・・・・・269
1994年 2月　第２回藤枝市長杯ジュニアユース大会　藤枝選抜が優勝・・・・・・・・・273
1994年 3月　藤枝東高校ヨーロッパ遠征・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・277
1994年 4月　ヤングサッカーニュースへのアンケート結果　県中学生強化計画・・・・・281
1994年 5月　藤枝ブルックス好スタート、藤枝東高校ヨーロッパ遠征報告・・・・・・・285
1994年 6月　各地区トレセンメンバー決定、曾根会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・289
1994年 7月　中西部中学トレセン１ＦＣケルンへ、浙江省友好少年大会へ７選手・・・・293
1994年 8月　榛原地区少年トレセン韓国遠征・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・297
1994年 9月　ドイツ１ＦＣケルン遠征、韓国遠征報告・・・・・・・・・・・・・・・・・301
1994年10月　県中学選抜韓国遠征の３選手の感想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・305
1994年11月　フジパンカップ東海大会　金谷ＳＳが出場、県中学選抜に３名出場・・・・309
1994年12月　各地区４理事長の本年度の反省と来年度の抱負・・・・・・・・・・・・・313
1995年 1月　Ｊリーガーからのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・317
1995年 2月　第10回県中学新人大会　準優勝　島田２中、東海大会へ・・・・・・・・・321
1995年 3月　矢崎計器東海リーグ昇格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・325
1995年 4月　日本代表監督、加茂周の講演会、全日本中学選抜優勝、太田、河村・・・・329
1995年 5月　平成７年度中西部協会総会、優秀選手表彰される・・・・・・・・・・・・・333

1995年 6月　鈴木正治後援会発足、親子駅伝等スタジアム建設を呼び掛け・・・・・・・337
1995年 7月　第４回全国総体女子大会へ榛原高校出場・・・・・・・・・・・・・・・・・・341
1995年 8月　焼津小学生トレセン韓国遠征・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・345
1995年 9月　第25回全国自治体　藤枝市役所優勝、大井川町役場３位・・・・・・・・・349
1995年10月　県中学選抜チームヨーロッパ遠征４選手参加・・・・・・・・・・・・・・・353
1995年11月　第26回県小学生大会でオール島田初優勝・・・・・・・・・・・・・・・・・357
1995年12月　第26回東海小学生大会でオール島田初優勝・・・・・・・・・・・・・・・・361
1996年 1月　Ｊリーガーの新年の抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・365
1996年 2月　大井川町役場東海リーグ昇格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・369
1996年 3月　第28回ＮＴＴ杯川崎ＳＳ準優勝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・373
1996年 4月　藤枝東高、ヨーロッパ遠征　上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・377
1996年 5月　藤枝東高、ヨーロッパ遠征　下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・381
1996年 6月　藤枝市長旗争奪定期戦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・385
1996年 7月　榛原高校女子サッカー部全国大会出場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・389
1996年 8月　第23回藤枝ＪＣ杯争奪全国少年サッカー大会・・・・・・・・・・・・・・・393
1996年 9月　第16回焼津市招待少年大会、第１回東西大学サッカー大会・・・・・・・・397
1996年10月　第10回フジパンカップジュニア女子の部優勝、島田プリンセス・・・・・・401
1996年11月　第12回県中学新人サッカー大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・405
1996年12月　第75回全国高校サッカー、藤枝東　惜しくも準優勝・・・・・・・・・・・409
1997年 1月　第29回ＮＴＴ杯スポーツ少年団大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・413
1997年 2月　第19回東海地区中学生選抜大会優勝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・415
1997年 3月　全日本中学生選抜大会優勝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・419
1997年 4月　元中西部サッカー協会理事長、渡辺明夫氏逝去・・・・・・・・・・・・・・423
1997年 5月　U−15日本代表候補に足木貴彦(青島中)が選ばれる・・・・・・・・・・・・427
1997年 6月　第21回全日本少年サッカー県大会に、FC島田が準優勝・・・・・・・・・・431
1997年 7月　藤枝市長杯争奪定期戦、全国高校女子サッカー東海予選 藤枝西・・・・・・435
1997年 8月　第6回浙江省友好サッカー大会、中体連中部大会 青中 準優勝・・・・・・・439

あとがき　　ヤングサッカーニュース企画編集委員長　滝本 義三郎

中西部
ヤングサッカーニュース
1988 4

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

藤枝市役所サッカー部　日本リーグ二部へ昇格

三度目の挑戦で獲得

藤枝市役所サッカー部が、日本リーグ二部への昇格を果たした。過去に昭和五五年、五六年に決勝大会へ出場したものの、予選リーグで敗退。今回三度目の挑戦で見事、二部入りの切符を手に入れた。全国自治体サッカー選手権では秋田市役所と110分の死闘の末、両者優勝で決勝大会へ進出。帝人戦では後半43分劇的な同点ゴールを決めるなど、強運な試合運びで、二部昇格へゴールインした。

第一七回全国自治体職員サッカー選手権大会
藤枝市役所7－0山形県庁
〃　4－0仙台市役所
〃　3－0千葉市役所
〃　1－0五戸町役場
〃　0－0秋田市役所
第一一回地域リーグ決勝大会
●予選リーグ
藤枝市役所2－0京都府警
〃　2－1広島教員
●決勝リーグ
藤枝市役所1－1帝人
〃　1－0千葉教員
〃　2－0松島クラブ
決勝リーグの結果得失点差により一位帝人、二位藤枝市役所となり、帝人とともに日本リーグ二部昇格が決定した。

昇格にあたって

藤枝市役所　サッカー部

「信じられない」「夢のようだ」と歓喜の涙を流し、抱き合って喜んだ昇格の日あれから数日が過ぎ、やっと平常の日々に戻った今、昇格の喜びと共に、これからやって来る試練をひしひしと感じています。

今回、私達が起した、復活への一つの風はサッカーマンやサッカーを愛する人達にきっと何かを感じとってもらえたものと思います。

みなさんご承知のように私達は純粋のアマチュアです。退庁後の週三回から西回の練習日には勤務の関係で全員が参加できませんが短時間に集中した練習を行っています。

しかし、グランドの確保など多くのハンディを負いながら、厳しい環境の中でスケジュールをこなしています。

東海リーグで八年間、じっくり力を貯えての今回の昇格となった訳ですが、日本リーグの力はそんなに甘いものだとは思ってもいないし、特にスピードに乗ったプレーには、どうして対応したらいいのか頭を悩ませます。

スピード強化と対応、そしてチームの成長には欠すことのできない戦術に磨きをかけて八月下旬のリーグ開幕までみっちり練習をして、まずは、早く一つ勝ちたい・・・・・

そして、地域のため、サッカーの町藤枝の復活のために、みなさんと力を合せて頑張って行きたいと思います。

今後とも、みなさんのご協力とご支援、ご声援をお願い申し上げます。

ヤングサッカーニュース発刊にあたって

発行責任者　滝本義三郎

藤枝の街の特徴は、一体どこにあるのだろう。特別な観光資源があるわけでもないし、これといった中心的な産業があるわけでもない。静岡市のベットタウンとして、他からの転入者も増え、人口は増加してきている。

私は、学生時代を東京で過ごした経験がある。

友人と会うと必ず出身地の話が出る。そんな時に、藤枝出身です。というと、藤枝を知っている人の多くは「あのサッカーで有名だった所でしょ。」と答えが返ってきたものだ。藤枝は全国的にサッカーのまち、藤枝といわれてきたのである。

「誇りのある街づくり」という題で昭和六十一年十二月四日に発刊された「志太平野に一Cの烈風」の一節である。スポーツ振興委員会メンバー竹田敏和氏の書かれた文章である。

私はこの文章を読んだ時、現在の藤枝市を中心とする志太平野の誇りは何か、真剣に考えさせられた。

「よみがえれサッカーのまち藤枝」元藤枝市長・山口森三氏による「サッカーのまちと乱」という文章の中に「日本のサッカーは隆盛で幕を閉じた。」と、わずか一万五千の人口の藤枝町が、多くの財政負担と労力奉仕を物ともせず、天皇杯全日本大会を開いた。志制施行後の昭和三十二年に高円宮殿下並びに三笠の宮妃殿下をお迎えした。この十二回国民体育大会で藤枝東高、志太クラブが優勝するという快挙を残した。

昭和四十一年には藤枝東高が国体・高校総体・高校選手権で史上初の三冠王を達成する偉業を成し遂げた。さらに、当代表の松本良氏、中村一義氏、堀井美晴氏も出場した。監督にP・Mフューチャー所属の柴田勝義氏を迎え、まさに黄金時代の再現であった。この日選手及びサッカーファンを含めて一万人を越す盛況ぶりであり県民テレビで「よみがえれ中西部サッカー」というドキュメントで放映された。

六十三年度いよいよ「よみがえれ・中西部サッカー！」の二年目である。

地域のヤングサッカーマンの夢を育てるために、サッカーニュースを刊行して西部サッカー協会と藤枝青志平野に再びサッカーを通して豊かな生活と地域の誇りとなるサッカーを育てるために、地域の皆様に読んでいただくサッカー新聞をつくりました。

昭和五十年代になってからはサッカーのまちが藤枝から清水に変っていた。

藤枝青年会議所が藤枝が今まで築きあげてきた伝統スポーツの崩壊を見過ごすことなくサッカーを通じて藤枝を中心とする志太平野の地域活性化を図っていくべきである。ということで昭和六十一年五月、市民サッカーレーサッカー大会を行った。

昭和六十二年、中西部サッカー協会を活性化しようという動きが起った。

そして、その年八月、中西部サッカー協会と藤枝青志平野に再びサッカーを通して豊かな生活と地域の誇りとなるサッカーを育てるために、地域の皆様に読んでいただくサッカー新聞をつくりました。

地域の活性化をはかる。志太平野に再びサッカーを通して豊かな生活と地域の誇りとなるサッカーを育てるために、地域の皆様に読んでいただくサッカー新聞をつくりました。

で中西部地域出身で日本リーグに所属する選手を編成し合せて、前日本代表の堀井博行選手の引退試合とした。さらに当代表の松本良氏、中村一義氏、堀井美晴氏も出場した。監督にP・Mフューチャー所属の柴田勝義氏を迎え、まさに黄金時代の再現であった。この日選手及びサッカーファンを含めて一万人を越す盛況ぶりであり県民テレビで「よみがえれ中西部サッカー」というドキュメントで放映された。

藤枝市役所サッカー部々員名簿　（S63.4.1現在）

部長		森　喜久雄	40才	法政大学(藤枝東高卒)	西　中
監督		清水　祥右	40才	明治大学(藤枝東高卒)	藤　中
コーチ		滝　弘　男	38才	国士舘大学(藤枝東高卒)	藤　中
コーチ		長田　勝徳	34才	静岡学園高	清水庵中
主将		塚本　定生	33才	明治大学(藤枝東高卒)	青　中
副将		中田　久男	30才	国士舘大学(藤枝北高卒)	青　中
主将	FW	杉本　直己	33才	日体大(焼津中央高卒)	藤　中
副主将	GK	菅藤　昌則	27才	藤枝東高	青　中
副主将	DF	岡田　雅文	26才	静岡工業高	広幡中
	DF	桑原　豊	22才	静岡工業高	広幡中
	DF	安達　剛志	25才	大東文化大(焼津中央高卒)	広幡中
	GK	永田　勝巳	22才	静岡工業高	広幡中
	DF	杉村　太志	24才	中央工学校(静岡工業高卒)	葵　紫中
	MF	小西　裕光	24才	日本大(藤枝東高卒)	西　中
	FW	大塚　浩史	23才	藤枝東高	藤　中
	FW	岡崎　裕志	22才	藤枝東高	藤　中
	MF	田中　豊成	23才	早稲田大(藤枝東高卒)	藤　中
	DF	宇野　孝伸	22才	藤枝東高	藤　中
	MF	松浦　一仁	26才	拓殖大(藤枝北高卒)	青　中
	MF	戸塚　康成	24才	静岡工業高	青　中
	FW	飯田　直純	19才	藤枝北高	大井川中
	FW	山内　利文	22才	藤枝北高	青　中
	FW	中村　正史	26才	焼津中央高	瀬戸谷中
	DF	森田　俊司	26才	藤枝東高	藤　中
	DF	岡村　茂夫	29才	藤枝東高	葵　紫中
	DF	浅羽　孝政	30才	東京農大(藤枝北高卒)	広幡中
	MF	山内　広次	29才	東海第一高	西　中
	GK	滝下　悟	29才	島田工業高	瀬戸谷中

カー87年度大ニュース

第11回 全日本少年サッカー大会

藤枝FC全国大会準優勝

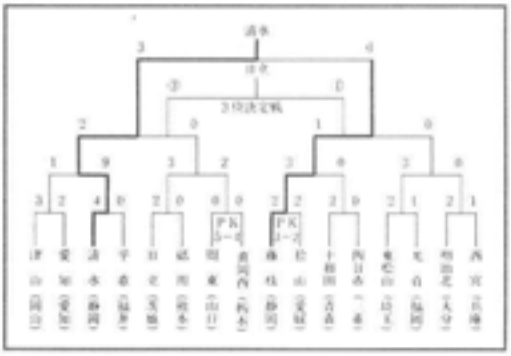
全国から七二八チームが参加した予選を勝ち上がってきた代表四八チームによって決勝トーナメントが行われた。

静岡からは、清水FCと藤枝FCが参加。両チームとも順調に勝ち進み、全国大会も県大会と同じカードで決勝を争う形となった。県大会の雪辱をと奮戦したが、及ばず準優勝となった。

チーム賞　フェアプレイ賞

優秀選手　吉野友三、太田茂、高橋京二、石川有一

第一回世界少年サッカー大会　太田茂、高橋京二



第18回 全国中学校サッカー大会

西益津中堂々の三位入賞

第18回全国中学校サッカー大会は、全国から32校が出場し、本県からは西益津中と東海大一中が出場した。

今年の西益津中は結束力が抜群で、高度なテクニックが十分に発揮できず、0—2で敗れるのんだ。

試合は、準決勝で優勝チームの神根中（埼玉）と対戦し、本来の西中のサッカーが十分に発揮できず、0—2で敗れるのんだ。

すがは静岡代表」との高い評価を得た。

優秀選手　名波、秋山、永井、井

ジュニアユース戦績　名波、秋山、永井、渡辺

ジュニアユース日本代表　名波、永井

第25回 静岡県高校新人サッカー大会

藤枝北高三位入賞

各地区予選を勝ち抜いた東部は、中部は、西部は

となり、0—0のまま延長へ。前半点を許せば後半取り返すシーソーゲームで、ついにPK戦へともつれこんだが、5—4で敗をのんだ。

準決勝　0—0　清水東
延長　1—1　〃
PK　4—5　〃

第15回 全国チャンピオンズカップ少年サッカー大会

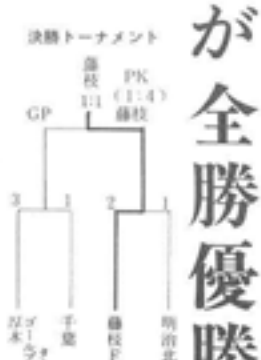
藤枝FCが全勝優勝

予選リーグは、五戦五勝で難なく通過し、決勝トーナメントは、4ブロックの一位チームで行われた。

当初、清水FCとの決勝対決を目標に戦ったが、予選リーグで清水FCが予選落ちしたため、決勝戦は厚木ゴールプランターズとの戦いとなった。

終了間際、同点ゴールを入れ、PK戦の末4—1で優勝を獲得した。

決勝トーナメント



第20回 静岡県サッカースポーツ少年団大会

藤枝中央が完全優勝

初戦より決勝戦まで二試合も楽の抜けない試合運で、特に、清水勢3校との試合は白熱した苦しい戦いが続いた。

県大会は四チーム中最多出場の藤枝中央。第回の栄冠は、強運とDF陣の健闘、粘点機に確実に得点できる機動性を選手の一人一人が育てていった結果の優勝であるといえる。

試合結果

1回戦　藤枝中央　2—0　河輪
2回戦　〃　0—0　三保（PK4—2）
3回戦　藤枝中央　2—0　浜松蓮
準々決勝　〃　1—0　袖師
準決勝　〃　3—2　有度一（延長）
決勝　〃　2—0　清水南（延長）

第6回 岐阜県中学生サッカー選抜大会（中2）
第6回 京都招待中学サッカー大会（中3）

いづれも中西部トレセンが優勝

（決勝トーナメント）

トレセン中2

（予選リーグ5チーム）

中西TC　6—2　西遊選抜
〃　4—0　精華中
〃　2—0　名張選抜
〃　2—0　岐阜選抜C

準決勝

中西TC　1—1　四日市選抜（PK2—1）
中西TC　3—1　兵庫選抜

決勝

中西TC　2—0　岐阜選抜A

トレセン中3

（予選リーグ3チーム）

中西TC　1—0　清水選抜
〃　3—0　京都選抜
〃　2—0　千葉選抜

（1位チーム決勝リーグ）

中西TC　1—0　清水選抜
〃　4—0　千葉選抜

◇少年団は、全国大会支部予選が終了し、決勝戦が四月十七日午後四時から東一テレビで放映される。唯津JFC、大井川FC、岡部FCの力の差は無くなってどこが勝つかわからない状態。勝ったチームは藤枝FCと山口杯では先鋒の試合が出来ると思われる。

◇社会人唯津リーグ戦は、二二二部共最終節に入り、はぼ上位チームは決定的となった。①造クラブ②インター③YKS上位、二、四部で二位以下は混戦状態で残り試合により上位変動可能。今年はその兼牛が顕著になってどこが勝つかわからない状態。グラウンド確保では苦労した為、グラウンドは藤枝FCと山口杯では先鋒の試合が出来ると思われる。中西部リーグ戦との兼ね合いも出て来た為早急に実行委員会を開催し、リーグ戦について検討したい。

◇女子　唯津クイーンが東女子リーグ戦西部二分二敗でリーグ第一位になり成長が見られた。今回大会出場の清水第一、清水女子FCには負けたが、後は負け無しであった。でも両チームには水を開けられている。今年の活躍が期待され、両チームに早く追いつく為リーグがおもしろくなるだろう。

ッカー大会志太支部予選

中西部サッ

中西部サッカー協会 5月試合予定

少・年・団

- 4月24日(日) 29日(金) 5月1日(日) 4日(水) 5日(木) 8日(日) 22日(日) 29日(日) 6月5日(日)
  榛原サッカー少年部春季リーグ戦（第一製茶G）
- 4月24日(日) 5月1日(日) 3日(火) 4日(水) 8日(日) 22日(日) 6月5日(日)
  第13回島田市小学生サッカーリーグ（島田市民サッカー場）
- 4月29日(金) 5月1日(日) 8日(日) 22日(日) 6月5日(日)
  第22回藤枝市少年サッカーリーグ戦（藤枝市内中学校G）
- 5月1日(日) 22日(日) 29日(日) 6月5日(日)
  志太サッカー少年部リーグ（志太地区各会場）
- 5月3日(火) 4日(水)
  焼津市招待少年サッカー大会（焼津市宮グランド）
- 5月3日(火) 4日(水) 5日(木)
  第3回ヤオハンカップ静岡県ミニ少年サッカー大会（静岡市）
  （中西部地区8チーム出場）
- 5月8日(日) 14日(土) 15日(日)
  第12回全日本少年サッカー大会静岡県大会（中西部地区3チーム出場）
  （草薙G・清水市宮G）

中学校

- 4月29日(日) 5月1日(日) 5月8日(日) 準決勝・決勝（藤枝市）
  松永杯争奪中西部選抜少年サッカー大会
  （藤枝中G・西益津中G・菊梨中G・高洲中G）
- 5月25日(水) 29日(日)
  焼津地区中学校総合体育大会（港中）
- 5月27日(金) 29日(日)
  藤枝・岡部地区総合体育大会（藤枝中）
- 5月28日(土) 29日(日)
  島田地区中学校総合体育大会

高校

- 4月23日(土) 24日(金) 29日(金) 30日(土) 5月1日(日) 3日(火) 4日(水) 5日(木)
  高校総合体育大会中部大会予選
  5月15日(日) 22日(日) 29日(日) 6月4日(土)準決勝　5日(日)決勝
  高校総合体育大会県大会

ふれあいサッカーカーニバル87

中西部サッカー協会が、藤枝青年会議所とタイアップし、「サッカーを通した地域の活性化」を目的に、「ふれあいサッカーカーニバル'87」を昭和62年8月30日、藤枝市民グラウンドで約六〇〇〇人の観衆を集め行われた。

藤枝出身の元日本代表・雄井博之選手の引退試合のほか、「サバイバルPK合戦」や五〇〇〇人を対象とした「サッカービンゴ」などが行われ、終日楽しいのある催しとなった。

このカーニバルは、街つくりのシンボルとしてサッカーをとらえるとともに、志太地区のサッカーのレベルアップを図る目的で開催された。

雄井選手の出場した招待試合の中西部選抜トヨタ自動車は、中西部が最戦から先制点を挙げたものの、日本リーグ一部昇格を決めて昇り調子のトヨタが間もなく同点とし引き分けの試合となった。

▼招待試合の結果

▽女子
志太FC　4－0　中西選抜

▽中学生
中西トレセン　8－0　清水トレセン

▽社会人
藤枝交友会　2－1　中央防犯

▽高校
藤枝東高　2－2　清水東高

▽日本リーグ
トヨタ自動車　1－1　トヨタ

藤枝中惜しくも準優勝

全県一七〇チームが参加して行われ、予勝の中をくぐり抜け、決勝に進出。しかし、決勝ではチームの力が出し切れず0－5で準優勝となった。

一回戦　3－1　南部中
二回戦　1－0　東海一中
準決勝　1－0　南陽中
決　勝　0－5　榛原中

第21回 静岡県社会人リーグ一部優勝
中央防犯東海リーグ入り

昭和57年4月に産声をあげた中央防犯サッカー部は支部リーグをとんとん拍子に駆け上り、昭和61年度は県リーグ2部完全優勝。翌62年度には、県1部リーグを12勝3分で制覇し、念願の東海リーグ入りを果たす。2月6日～17日名古屋市瑞穂陸上競技場で行なわれたトーナメント戦に出場した。

初日三重県代表チームを3対0で一蹴した中央防犯は最終日、愛知県代表日本電装と対戦した。前後の1ーティングで菊川監督が指示した通り、立ち上がりをディフェンスラインが凌ぐとあとは相手チームを圧倒、前半34分、浅藤のフリーキックをキーパーが弾いたところへ今大会大活躍の遠藤が押しこみ先制。必死に防戦する日本電装をものともせず、後半3点を加えて、4対0で圧勝した。

この試合は、応援団にとっても、時が立つのを忘れ興奮したゲームであった。

このようなゲーム展開が出来る中央防犯は、東海リーグでも必ずや台風の目となって大波乱を巻き起こしてくれるであろうことを期待する。

雑草クラブ 県リーグ一部昇格

昭和61年度の中西部支部リーグで優勝し、いよいよ待望の県リーグ入りをめざし、各支部代表とのリーグ戦を行なった。戦績は1勝2敗1分けとなり、1部昇格決定が最終戦までもつれこんだ。相手はこれまで負け知らずの清水市役所。前半開始早々2点を取られたが、後半3－2と逆転勝ちして、通算10勝1敗4分けで2位になり1部昇格を決定した。

なんとか県リーグ2部に昇格する事ができた。新戦力を数名補充し、昭和62年4月19日草薙球技場での開幕式の後、雑草クラブの県リーグでの戦いがはじまった。まず、初戦で前年度まで1部の瀬戸谷クラブに4－1と勝ち、これで弾みをつけ第5節まで4勝1分けと好調な滑り出しで波に乗った。第6節では、首位争いを繰けてプレイボーイFCとの対決。前半0－1とリードされたが、後半1－1とし引き分けた。前半戦を首位で折り返したが、後半戦に入り、雑草クラブに初黒星を喫するなど苦しい戦いとなり、1部昇格決定が最終戦までもつれこんだ。相手はこれまで負け知らずの清水市役所。前半開始早々2点を取られたが、後半3－2と逆転勝ちして、通算10勝1敗4分けで2位になり1部昇格を決定した。

日韓高校親善サッカー視察記

韓国高校サッカーといえば、鍛え抜かれた足腰の強さ、せり合いの強さ、攻守の切かえの速さ、シュート力、どれを取ってみても日本高校サッカーとは比較にならないほど力がとびあったと印象をもっていた。

今回高校選抜チームへ同行する機会を得たが、自分の目で確かめた限りでは、日本の高校サッカーの向上が著しく進歩していることを確認した。

（ゲーム結果）

光州市霞湖高校グランド

（第一日）
①静岡県高校選抜(A)
（1対1）霞湖高校(A)
②　〃　(B)
（2対0）　〃　(B)

大田市大田高校グランド

（第二日）
⑥県高校選抜A
（0対0）大田商高
⑦県高校選抜B
（4対1）天安高校
ソウル城南市陸上競技場

（第三日）
⑤県高校選抜B
（0対0）東北高校
⑥県高校選抜A
（1対0）豊正高校

簡単にゲーム内容をふりかえってみると、初戦で対戦した飯塚高校は今回対戦した中で最も攻守のまとまりがあった。本県選抜は中盤でゲームを作れず単調な攻撃に対して、素速いチェック からゴールをわられる局面が多かった。韓国チームは全般的にシュートが不正確であった。逆に言えば本県選抜のディフェンスが攻撃を押えた。中西部出場のGK五十川（藤枝東）、スイパー山本（藤枝東）、ストッパー稲垣（藤枝東）の三人について触れてみると、五十川は守備範囲が広く安定した守備ぶりであった。素速くシュートに反応し、再三のピンチを防いだ。三試合一失点という活躍であった。山本はディフェンスの指揮官として初戦は不安定な面も見られたが、鋭敏なカバーリング、インターセプト、他選手の攻撃等安定した活躍ぶりであった。稲垣は相手CFのマンツーマンディフェンスでヘディングに対する強さは抜群であった。空中戦においてさらに磨きをかけてほしい。攻撃参加のできる積極的なディフェンダーを期待したい。

他に井川・見鳴（藤枝東）、松永・寺田（藤枝北）らもそれぞれ活躍した。

特別賛助会員募集のお願い

中西部サッカーニュースの発行の趣旨にご理解を頂き、地域のサッカー振興のためご協力頂ける法人・個人の特別賛助会員を募集させて頂いております。会員にお申込みいただいた方のお名前を掲載させていただくほか、毎月サッカーニュースを20部送付させていただきます。

★特別賛助会員
一口　一万円

購入は下記スポーツ店へ

藤　枝　大沢スポーツ　清水屋スポーツ　ウスイスポーツ
焼　津　スウィングスポーツ　ケンスポーツ
榛　原　榛南スポーツ

全日本少年サ

焼津市予

焼津JFC
港
豊　田
東　益　津
焼　富
大　石
相　田
焼　南
小　川
焼　西
津

大井川町予

大井川FC
大井川西
大井川FC
大井川東
大井川FC
大井川西

岡部町予

岡　部
御　北　会
岡部FC

決勝トーナ

焼津A　JF
焼津B　大
大井川代表　F
岡部代表　F

ヤングサッカーニュース創刊を祝す

静岡県サッカー協会
名誉会長
山口 森三

かねてから念願のサッカー新聞が、発行される事を心から喜ぶ。幼年から大人までサッカーをやっている人、サッカーを好きな人、益々増えているサッカー人口の為の、大きな原動となる情報は何よりの楽しみである。

スポーツは勝負の世界であると共に、又人生の名人になる事でもある。この際指導者の皆さんに、幼・小・中・高とそれぞれの成長過程に、最も適応した身心の指導をお願いしたい。そしてやがて日本を代表し、世界に通ずるサッカーマンを養成していただきたい。

二十年前、国立競技場の最上段に座した私。照明灯の輝く緑の芝生の上を、白と青のユニフォームの交錯する日英サッカーの、二十二人が一つのボールを追って投り入れの如く激しく美しく動く。これこそサッカーの醍醐味である。

静岡県サッカー協会
理事長　堀田 哲爾

地域発展のためのサッカー新聞の発刊を心からお祝い申しあげます。私もユースサッカーニュースを発行し10年目に入っておりますが、常に最初に発刊された第1号の時代を思い出します。PR紙といっても単なる記録とか手宗表ではとどにもあるものと同じです。中西部という広い視野にたってサッカーにおける教育的価値思想をサッカーファン以外の人達に知ってもらう事が大切な役割だと思います。編集スタッフが自分の楽しみだと思って仕事をする事が良い新聞をつくる基本になると思いますし、それがないと長く続けることができません。この新聞が中西部支部の組織の強化とサッカーレベルアップの基となる事を心より期待しています。

日本代表チームコーチ
岡村新太郎

「ヤングサッカー新聞」の発刊を心よりお喜び申し上げます。

良い選手とは中距離判断が正しい。②スピードがある。③プレイが正確にできる。④プレイの武器を持っている。等が上げられますが、これらを武山身に付けていることが最も望ましいことは言うまでもありません。これらの中で特に皆さんに身に付けて欲しいものは、両プレイの武器を持つことです。これは自分の最も得意なプレイから始まるのです。とにかく自分の得意なプレイ、好きなプレイで思い切り勝負してて下さい。その為にはその「得意なプレイ」をしっかり練習をしなければなりません。練習でできないことが試合では絶対にできないと思います。どんどん練習して試合で発揮して下さい。

中西部サッカー協会
初代会長
松永 英

この度中西部地区のサッカーPR月刊新聞が発刊されるはこびとなりました事、心よりお祝い申し上げると同時に、御努力下された関係者の皆様に感謝の意を表するものであります。

藤枝市役所チームが、日本リーグの2部入りという朗報もあり、これをひとつのエネックとして、当地のサッカーチームが各別こぞって、かつての降格を取りもどされん事を心から念ずるものであります。

思い起せば終戦後いも畑の東校グランドを整地しサッカーを始めたものでした。そして高校を卒業する為には中学をと8月の休みに7日間中学生チームを参加させ午前中は基本を午后は試合を行い強化をはかったものでした。

地区の強化のためにはまづ少年団を心身共に健全に育成すると共に小中高各別の指導関係者が密なる連絡と研究により向上をはかる事が大切と存じます。そして好成績をあげれば地域住民は自然に市民協力してくれるものと思います。昭和27年に天皇杯大会を藤枝で開催したのを機会に「サッカーの町、藤枝」の名称が生まれ、又サッカーマンと市民との心から完全にひとつになった時でもあります。再び栄光の誇れん事を衷心より期待して居る次第です。「ヤングサッカーマン」よ ふるいたて!!

日本代表チームコーチ
山口芳忠

サッカーが発展し年々大住民の理解と支援は欠かす事の出来ないものでありますが、此度ヤングサッカー新聞が刊行されることは、長い間成績を続けるサッカーの町、藤枝を中心とした中西部のサッカーに大刺激をうけることになるとも思います。かつては、日本サッカーのリーダー的存在であったこの地のサッカーの復活は過去の伝統・栄光といったものをかなぐりすて、指導者・選手が死に物狂いで、人一倍の激しく厳しい練習を行わない限りあり得ない事です。と同時に将来参考子供達には、その周辺りの勝負にとらわれる事なく、のびのびとサッカーが出来る環境を作ってやる事です。

この発刊を機会に、地域住民の今より増しての声援に、指導者・選手が勇気づけられ、今一度全国にその名を高めることを心より期待しています。

クワバラスポーツクラブ
桑原勝義

サッカーの街藤枝の「ヤングサッカー新聞」発刊、おめでとうございます。

私は小学校三年時に藤枝東高の藤枝のユニフォームに憧れて以来、今日までサッカーボールを蹴り続けております。今、二〇〇二年のワールドカップをめざし二〇〇名の子供達と共に夢にチャレンジしています。

日本のサッカーがワールドカップに出場できるのは藤枝を中心とした中西部地区から多くの日本代表選手が輩出した時です。

ヤングサッカー新聞が青少年に大きな夢を与える機期待しております。

静岡県中西部
サッカー協会
会長　植田永二

中西部のサッカー愛好者が、多年念願していた、サッカー新聞の「中西部ヤングサッカーニュース」が、いよいよ発刊されることになりました。

この一年間、石上瞬二支部長（理事長）は、「組織づくりの強化」を始めとして、七つの重点目標を掲げ、その一つ一つを着実に実践して多くの成果をあげております。その一つである機関紙の発刊があり、最初は手づくりの「中西部サッカー」（第1号62・4・24、田村和彦編集委員長）が発刊されて、新しい体制の協会業務の広報に成果を得られました。機関紙発行の条件整備は、プランナーである石上瞬二支部長・滝本義三部長レセン部長を中心にして、この一年間に検討を重ねられました。さらに「トータルコミュニケーション」を誇る、共立印刷株式会社岡本美津雄社長、担当の小嶋良之係長の深いご理解と力強いご支援を踏りまして、「中西部ヤングサッカーニュース」の機関紙発行の運びになりましたことは、まことに喜ばしいことであります。これを協会の組織強化のベースとして、協会事業の一層の発展・拡充と、サッカー競技活動を推進させて、「蹴れ、中西部サッカー」の原動力の役割をしていただきたいと希望いたします。

その名を「ヤング」、21世紀を担うヤングサッカーマンへの普及・育成・強化等の指導に大きな貢力となるよう、皆様方の熱きご理解とご支援の程をお願い申し上げて、発刊へのお礼のことばといたします。

中西部サッカー協会
理事長　石上瞬二

協会事業の一つであった機関紙発行が、諸事情によりり中座したままでありましたが、この度、共立印刷様のご協力を得、中西部サッカーニュースとして毎月発刊されることを大変うれしく思います。

中西部地区約八千人のサッカーマン、約二百のサッカーチームの情報網としてを特に次代の担い手であるヤングマンを中心とした取材は、彼らに夢と希望を与え、さらにサッカー競技の発展に大きな影響を及ぼすことと確信いたします。

又、このニュースを通して、中西地区の各種とサッカー協会が、密着したものになることを願っています。

62年度国体高校選抜GK
加藤寿一

志太藤枝版サッカー新聞発刊おめでとうございます。

高校サッカーが終わった今自分が心がけていて良かったと感じることはます。常に上を見続けていたことです。とにかく少しでもトップクラスの選手に近づくように努力しました。その努力＝練習を全力でやることはもっと重要です。全力でやることはとてもつらいです。苦しいです。僕自身全ての練習を全力で手を抜かずやれたかはわかりません。しかし全力でやろうという気持ちで取り組みました。こんな散文ですみませんが、少しでもみなさんのお役に立てましたらうれしく思います。

終りに、当誌がこの地区の発展につながる充実した内容となりますことを心から期待しています。

（藤枝東―筑波大）

次号は 6月1日発行です

世界少年サッカー大会代表
太田渉

小学校の時、よかったことは、全国大会で準優勝したことと、県大会優勝でした。そして、個人的には3つの優秀選手賞をもらったことがうれしかったです。

だけど、こういうのは、自分で気をつけて頑張ってきたのもそうだけど指導者やみんなのおかげでいい成績がとれたからと思っています。

中学校になるとうまい人も入ってくるし、みんなの実力ものびてくるので自分も実力を、もっとのばし、まずレギュラーになることを目当てに頑張っていきたいです。そして、レギュラーになったら、新人戦など又、目標をもってやっていきたいと思います。

（藤枝中央小―藤枝中）

ジュニアユース日本代表
永井克俊

中西部のサッカー協会の発刊おめでとうございます。ぼくたちは中西部地区のサッカーを向上させ富士山水をおいしく、そして全国中西部地区の名をとどろかすことを目標としてがんばってきました。

しかし小学校から社会人までのサッカーの内容はあまり知ることはできませんでした。このサッカー新聞を通してサッカーを愛する人たちが地域の様子を知ることができると思います。末永く続いていくことを願っています。

（西益津中―藤枝東）

中西部サッカー協会役員

名誉会長　山口森三
会長　植田永二
副会長　岩田規
〃　木村武
〃　小林敏彦
〃　半田一雄
理事長　石上瞬二
副理事長　鈴木昌則
〃　飯塚喜好
〃　福田正春
〃　鈴木登
技術委員長　鎌田昌治
審判委員長　滝下貞一郎
登録担当　山本章
社会人部長　臼井郁夫
高校部長　河村駿
中学部長　益田修
少年部長　山本輝雄
庶務委員長　青島信裕
会計　成岡富雄

ヤングサッカーニュース編集委員

発行責任者　滝本義三郎
発行事務局長　田村和彦
編集責任者　小嶋良之
少年責任者　鈴木基広
中学責任者　長谷川吉隆
高校責任者　岩田要司
社会人責任者　秋山郁男
藤枝地区長　山本輝雄
焼津地区長　深津敏夫
榛原地区長　山下智
島田地区長　茨木節夫

中西部 ヤングサッカーニュース 1988 6

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

藤枝東中部大会制す

目指・せ全・国大会

高校総体中部地区予選がこのほど開かれ、藤枝東が優勝をし、県大会に出場。その県大会でも一回戦を突破。また予選七位で県大会に駒を進めた藤枝北も一回戦を勝ち二回戦進出を果している。

予選の決勝トーナメントで藤枝東は一回戦で清水工を2対0で下し準決勝へ。その準決勝は静岡学園と対戦。前半は0対0で後半見崎のアシストで水田がゴール、試合を決めた。

決勝は清水市立商との対戦となった。実力伯仲のすばらしい試合を展開。数少ないチャンスを藤枝東がものにして、まず前半に井川のアシストで鈴木が先制ゴール。後半は中村のアシストによって鈴木が再点し、2対0で清水市立商を下した。

県大会では一回戦で長泉を3対0の圧勝で下した。二回戦では富士宮西に1対0と辛勝し、ベスト8へ進出。惜敗と対戦する。

一方、藤枝北は、一回戦で静田東を1対0で下し、二回戦では中部二位の清水市商と対戦。善戦したが、惜しくも0対1で敗れた。

中部大会を振り返って

藤枝東高校3年
井川剛志

中部大会で一番苦戦したのは静岡学園戦だった。静学のテクニック、パスに戸惑う面もあったが貴重な1点を守ることが出来た。決勝は「清水に負けられない」という気持ちがチームを一つにまとめることが出来、2対0で清水市商を下し優勝することが出来た。

中部大会を振り返って

藤枝北高校3年
山本　洋

サッカー部員全員のインターハイに向ける熱志がまさっていたため、内容はあまり良いとは言えないが勝ち進んでいったことは今までより一歩成長したと思う。これからも全員が一丸となり、全国に『藤枝』の名が知られるように一試合ごとに全力を尽したい。

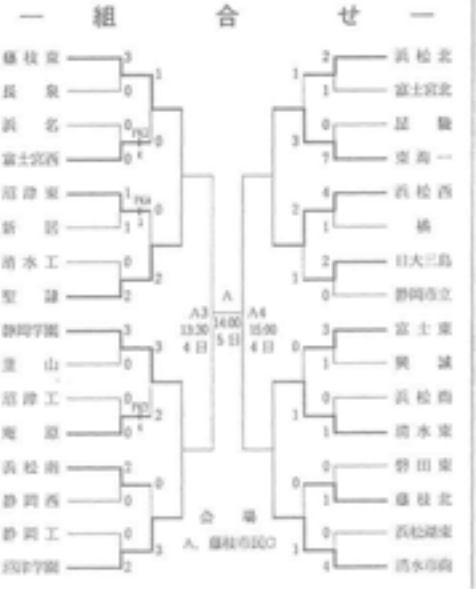
藤枝東高メンバー表

位置	No.	氏名	学年	
GK	1	五十川　剛久	3	焼津
DF	2	佐塚　哲也	2	島田一
DF	3	鳴垣　博行	3	岡部
DF	4	山本　洋	3	焼
DF	5	細谷　裕史	2	大村
FW	6	中村　博史	3	青島
MF	7	藤田　新太郎	3	西益津
MF	8	井川　剛志	3	東海一
FW	9	池ヶ谷　崇	2	大村
FW	10	水田　伸一	2	東海一
MF	11	見崎　充洋	3	焼津
DF	12	飯塚　隆晴	3	青島
DF	13	矢部　剛士	3	葉梨
FW	14	浅藤　英之	3	藤枝
MF	15	杉山　仁章	3	大村
MF	16	鈴木　貴聖	2	焼津
MF	17	牧田　剛	2	藤枝
FW	18	見崎　友則	2	焼津
MF	19	藤本　多加志	2	高洲
FW	20	永井　克俊	1	西益津
GK	21	吉田　健	2	西益津
DF	22	前田　仁崇	1	島田一

藤枝北高メンバー表

位置	No.	氏名	学年	
GK	1	松山　豊基	3	西益津
DF	2	片山　和人	3	藤枝
DF	3	大塚　淳	2	青島
DF	4	池谷　隼二	3	大井川
DF	5	松村　裕介	3	青島
MF	6	前島　義弘	3	岡部
MF	7	飯塚　俊晴	3	藤枝
MF	8	熊切　健二	3	藤枝
FW	9	高橋　信也	2	広幡
FW	10	松永　昌志	2	葉梨
FW	11	寺田　和敏	3	葉梨
FW	12	野神　裕一	3	青島
MF	13	谷下　宏明	3	藤枝
MF	14	名波　豊	3	西益津
DF	15	鈴木　昭吾	2	藤枝
FW	16	山内　誠也	2	西益津
GK	17	福島　純一	2	島田二
FW	18	竹下　博巳	2	大村
MF	19	塩澤　裕司	2	葉梨
DF	20	八幡　敏也	2	西益津

一組合せ



松永杯サッカー大会

藤枝中が見事優勝

松永杯を新ねた昭和六十三年度県中学生サッカー選手権大会中西部予選がこのほど開かれ、藤枝中学が見事優勝した。

大会には中西部から三チームが参加。悪コンディションの中、日頃の練習成果を思う存分発揮していた。

藤枝中は一回戦シードされ二回戦から登場。二回戦は広幡中を1対0、三回戦も港中を2対0で下し準決勝へ進出。その準決勝でも金谷を2対1で下した。決勝は東益津、西益津、高洲中をそれぞれ下して来た焼津中と対戦。藤枝中は持ち前の機動力を生かして、有田、牧田両選手が得点し、2対0で焼津中を破った。

三位決定戦は高洲中と金谷中との間で争われ、3対0で高洲中が勝利した。この大会で一位から三位に入賞した藤枝中、焼津中、高洲中は六月五日から始まる県大会（ふれあいカップ）に出場する。

【アシスト】

▽佐野（島二中）3▽神村（藤枝中）2▽和田（菊梨中）2▽鈴木（高洲中）2

【最多得点】

▽牧田（焼津）6▽港谷（金谷中）6

第12回全日本少年サッカー県大会

藤枝FCベスト4

日本サッカー協会、日本スポーツ少年団などの主催する第十二回全日本少年サッカー大会が五月八日、十四日、十五日の三日間、草薙グラウンドと清水市宮グラウンドを舞台に行われた。

この大会に出場した藤枝FCは残念ながら準決勝で敗れ、二年連続しての全国大会出場はならなかった。

藤枝FCは一回戦で浜松JFCと対戦。前半は押し気味に試合を進めながらも無得点。後半はオープンにボールが回り始めウイングの西村のセンターリングを木村、大須賀がそれぞれゴールを決め2対0の快勝。続く二回戦も静岡FCを相手に快勝。立ち上がり動きが鈍さなかった。十分過ぎ左CKからの混戦で小山が見事にゴール。1点を先制。後半に入ると熊野からの折り返しを増田敦が得点し貴重な追加2対0で準決勝進出を果たした。

富士JFCを相手に行われた準決勝は互いに攻め合う好ゲーム。やや藤枝FCの優勢かに見えたものの今ひとつのツメが出来ずに無得点。前半終了直前に相手エースの武藤がロングシュート。これが結局に決まり先制されてしまった。後半もいい内容で進められていたが一瞬のスキを突かれ武藤にこの日2点目を上げられ、●2で敗退することになった。

大会は清水FCが富士JFCを破り優勝した。

コーチングスクールに参加を

県サッカーコーチングスクールが今年も開かれることになり、主催者側では参加者を受け付けている。

このコーチングスクールは日本サッカー協会公認リーダーの認定資格が得られるもの。公認リーダーの養成は地域住民の日常生活における体育スポーツの実践的指導と啓蒙にあたる。在田、中学校、高校、青年の指導者の養成が目的。

スクールは六月十六日から十一月十八日までの毎週木曜日、午後七時から九時まで藤枝市立高洲中学校体育館で行う。申し込みは六月一十九日に開幕した。

開幕となった二十九日はあいにくの雨で第一節は中止。開会式は六年生三百二人だけが参加して青島北小学校体育館で開かれた。

この開会式には藤枝市長や曽根教育長、平木本部長、岩田サッカー協会会長らが列席。それぞれ、あいさつし出場選手たちを激励した。そうした中で山本少年団部長は「今年から少年団を変えたい、まず選手諸君は自分の事は自分でやろう。指導者は自分でやろう。父母は子供達をかまい過ぎないようにしよう」と会場に集まった選手、指導者、親に呼びかけた。

最後に出場千百十人を代表して瀬戸谷小の滝下信弘君が力強い選手宣誓を行い会場から大きな拍手が巻き起っていた。

藤枝

リーグ戦開幕

藤枝市内十五小学校の少年サッカー少年団六十二チームの参加する第二十三回藤枝市少年サッカーリーグ戦が四

焼津

焼津・大井川中学総体スタート

第25回水産と中央の定期戦

中央高校が勝利

第25回焼津市議会議長杯争奪・焼津水産高校対焼津中央高校サッカー定期戦が五月に●●で行われ、2対0で焼津中央高が勝った。

両チームとも長い伝統のル例でクロスボールに設く反応した中央の矢澤が先制点を上げた。

後半は24分、中央の吉口がドリブルでペナルティーエリア内まで持ち込み、相

ヤオハン大会

第二回ヤオハン静岡県サッカー少年ミーリン選手権大会が五月三日、四日、五日に県営草薙グラウンドなどを会場に開かれた。

同大会は小学校四年生を対象としたもので、中西部からは八チームが出場。その中で藤枝中央がベスト4進出を果たした。

サッカー協会総会開く

藤枝市サッカー協会の昭和六十三年度総会が五月一十四日に藤枝市民会館で開かれた。

今年度の役員は会長に岩田暁民、副会長に渡辺昭夫氏ら四人、理事長に鈴木昌則氏がそれぞれ選任され、新しいスタートを切ることになった。

第8回焼津招待サッカー

第八回焼津市招待少年サッカー大会が五月三日と四日に開かれ、大富（焼津）が優勝を飾った。

大会には地元焼津から十チーム、県内チーム十四チームの計二十四チームが参加。優勝した大富は決勝で富士第一と対戦。延長戦の末3対0で下した。

62年度社会人リーグ結果

▽一部＝①港FC②JFCグリーン③焼津市役所

▽二部＝①インター②豊丘クラブ③幸山之内製菓

特別賛助会員

（順不同・敬称略）

■旅人・商店■

▽大光自動車㈱（三口）
▽㈱井川商店（三口）
▽ホテルシルビア（三口）
▽ヤマミ水産㈱（三口）
▽㈱サンショップ（二口）
▽㈱中央防犯
▽石原水産㈱
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽大沢スポーツ㈱藤枝本店
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱翌神建設
▽㈱ぽたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大屋建設
▽建設土木丸川組
▽遠藤機材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック㈱
▽静愛食産㈱
▽東海オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダリモ滝井
▽見崎設省
▽みのる証券販店
▽村松工業㈱
▽レストランサンパーク
▽明上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽ABC藤枝店
▽前田書店
▽志太交通㈱
▽㈱藤枝事務器商会
▽吉崎産商㈱
▽曽根消商店
▽仲山鉄工㈱

社会人5月の試合結果

▼東海リーグ▲

▽第一節（五月十五日）

中央 3（1－0、2－0）0 豊田
防犯 3（1－0、2－0）0 工機

▼静リーグ（一部）▲

▽第四節（五月八日）

志太クラブ 4（0－1、4－1）2 雑草
藤枝北クラブ 1（1－2、0－2）4 東富士
ヤンバンバチルズ 0（0－3、0－4）7 巳川
浜南クラブ 0（0－0、0－1）0 浜友会
トヨタ紡織 3（1－0、2－0）0 ヤンマー

▽第五節（五月十五日）

志太クラブ 2（0－0、2－1）1 バンヤン
藤枝南クラブ 2（0－1、2－0）1 矢崎
雑草クラブ 0（0－0、0－0）0 清工
藤枝バチルズ 1（0－4、1－3）7 清水市役所
瀬戸谷クラブ 0（0－0、0－1）1 静野
紫クラブ 6（3－0、3－0）0 東芝
瀬戸谷 4（3－0、1－0）0 静北成
富士

▼県リーグ（二部）▲

▽第四節（五月八日）

▽第五節（五月十五日）

FCを2対0で下し連勝した。

月四日までに藤枝中の湯本先生まで。

アジア予選に参加

Jユース代表　永井克俊

小さい頃からの夢、それは国旗の丸をつけてプレーすることでした。それがかない、JFユース日本代表としてブルネイに行ってきました。スコットランドで開かれる世界大会のアジア地区第一位を選のためです。話には聞いていましたが、実際に選手に会い国でした。結果は韓国に二対一、ブルネイに十三対0、香港に六対0、二勝一分の一位でリーグを突破することができました。僕は全試合にフル出場し、三得点をアシストという結果を残すことができ、チームに少しは貢献できたのではないかと思います。

しかし、自分のプレーそのものを客観的に見てみると、まだまだ多くの課題が残っています。第一に球の切り替えの速さです。球がボールを持ったら敵より早く動き出すことです。次にボールのない時にもっと周りを見ておくことです。あらかじめパスを出す以前に味方を同じ方向へ動かしておかないと、相手のつめかけが出ないので、正確で速いパスが出せないのです。これらのことは今までもずっと指摘してもらってきたのですが、国際試合という本当の意味勝負の中で実感としてもつことができました。それと、国際試合を経験してすごいと思ったことは、あたりの強さとシュートのすごさです。特にシュートは絶対にフリーでうたせてはいけないのです。逆に日本のシュート力のなさということになるかもしれません。しかし、動きの速さでは日本が勝っていたし、外国に通用するところ部分も多いと感じました。

これらの経験を高校のサッカーにいかし、実力をつけ、もう一度日の丸をつけられるように努力していきたいと思っています。また、出発にあたり励ましの言葉をかけて下さったり応援してくださった方々に感謝をしたいと思います。

日韓戦を振り返って

吉田高　鎌田昌治

去る3月20日から25日まで、松の寺田和雄（3年）、松井川剛志（3年）、長田博行（3年）、高校選抜サッカーは韓国で開かれた日韓高校親善サッカーに参加し、各選手共のメンバー20名、役員12名で韓国のソウルを中心にして6試合を行なった。

メンバーには中西部地区より藤枝東高校の山本洋（3年）、長田博行（3年）、井川剛志（3年）、五十川訓久洋（3年）の5名と藤枝北高校から鈴木（3年）の3名と藤枝北高校の山本洋（3年）、松井川剛志（3年）、長田博行（3年）、五十川訓久洋（3年）の5名と藤枝北高校の

中西部チーム紹介

社会人

☆自衛隊浜松基地サッカー部
①代表②三村③人脈

☆神中央防犯サッカー部
①梁川 信夫②大塚 覚③40人

☆志太サッカークラブ
①橋本 忠正②宮本昭義③31人

☆藤北クラブ
①日井 郁夫②鈴田 誠③27人

☆F・Cバチルズ
①小沢宮十雄②増田知章③22人

☆浦塚クラブ
①内藤 洋介②増田拓雄③22人

☆共栄塾サッカークラブ
①江島清吾②内田 三夫③31人

☆浜松ジャンサッカークラブ
①福井 伸之②四島利治③27人

☆ラムラ
①大須賀喜久男②石田元 昇③15人

☆浜海鉄水SC
①羽山 隆志②藤岡康之③20人

☆日本自動車教工場SC
①大塚 忠雄②近藤克明③22人

☆島田サッカークラブ
①鈴木 朗②村松 和志③27人

☆バンサンヒューストン
①原田 和弘②成瀬敏弘③25人

☆F・Cユベントス
①鈴木 敏彦②③20人

☆科研製薬藤枝F・C
①原田安良②小島金之助③24人

☆F・Cジャパン
①小野田時一②③18人

☆ピンク
①藤田 浩史②石川英巳③23人

☆F・Cオリーブ
①若杉 秀義②石田 靖③21人

☆村上開明学園SC
①熊谷 寛②岡田 智之③15人

☆F・Cバルタール
①山田 敦郎②鈴木祥之③20人

☆F・Cタバサ
①仲野 新一②大石 優③20人

☆テクニシャンズ
①山本 博之②多田千孝男③29人

☆藤田イレブン
①大塚 善彦②③20人

☆中外製薬藤枝工場
①大塚 政俊②③17人

☆藤枝市農協職員会
①大塚 泰宏②③19人

☆住友ベークライト
①松浦 金蔵②内藤勝広③12人

☆藤枝フットボールクラブ
①八本 敏夫②③32人

☆静岡自動車
①伊東 静夫②酒野淳一③22人

☆田々宮薬サッカークラブ
①高岡 直義②堀田照昭③27人

☆大井川町役場
①朝比奈宏樹②谷沢 正③22人

☆ヨシコンサッカークラブ
①増田 光雄②③0人

☆回部町役場サッカー部
①島島 弘明②③26人

☆焼津信用金庫サッカー部
①小西 稔幸②阿井 誠③24人

☆F・Cグリーン
①市川 賢司②岩ヶ谷敏③31人

☆焼津フットボールクラブ
①川崎 宏②山口 礼弘③25人

☆F・Cバイオレンス
①柴山 勝巳②③21人

☆豊友クラブ
①鈴木 健司②阿島 肇③21人

☆焼津市役所サッカー部
①内山喜久二②③23人

☆サッポロビール静岡工場
①岡本 謙②阪井 勝彦③22人

☆ライト・ファット
①大畑 孝博②大畑孝博③23人

☆日・N・E
①鈴木 秋男②③0人

☆プリンスサッカークラブ
①村松 裕慶②③10人

☆村松工業株式会社
①村松 桂次②鈴木克巳③15人

☆山之内製薬焼津工場
①渡水 義彦②③11人

☆インターサッカークラブ
①福井 伸明②③9人

☆MOSグリーン
①仁藤 悦史②③11人

☆ファイターズサッカーC
①杉山 勝久②③24人

☆焼津漁業サッカークラブ
①柴田 二郎②山崎元行③11人

☆矢崎計器藤島
①岡本 圭二②杉山裕司③19人

☆ファインド・C
①田端 正明②山田裕之③24人

☆ロートル島田サッカーC
①増井 茂②伊藤 弘康③30人

☆日清紡島田工場
①山岡 正夫②平 達也③23人

☆金谷チャッキリーズ
①松本 英治②相沢久史③25人

☆東海パルプサッカーC
①内藤昭治②鈴木幸一郎③24人

☆矢崎ゆワイターズ
①岡本 圭二②石森一晃③20人

☆島田信用金庫サッカー部
①服部 信宏②深村和夫③21人

☆川島FC
①海合 昭治②岡村好幸③19人

☆サンパウロサッカーC
①松下 勝②③11人

☆第一製薬サッカー部
①小笠原和彦②③22人

☆島田市役所サッカー部
①杉山 隆治②③23人

☆藤南サッカークラブ
①中山 貴文②福与吉晴③18人

☆遠州コスモスサッカー

高校

☆藤枝明誠
①増田 浩明②杉山芳弘③27人

☆バイエルン
①久米 武志②大石公洋③27人

☆富士フィルムF・C
①佐藤 勲②神崎 寿夫③26人

☆遠州神原
①山本 明男②大石喜朗③17人

☆オカモト静岡工場
①山田 光男②松浦義治③14人

☆F・Cたんぽぽ
①辻 良雄②③13人

☆中部電力浜岡サッカー部
①山田 敏夫②笹平昇三③17人

☆真松トマパン・ムーア
①森山 賢司②真知幸博③18人

☆プリジストン防振ゴム
①八木 勝義③20人

☆榛原町役場サッカー部
①鈴田 利雄②辻村浩之③8人

☆F・Cライト
①吉岸 和俊②平田 光③13人

☆ダイエットクラブ
①大石 益弘②佐藤 久③21人

☆藤岡町サッカークラブ
①熊塚 盛久②③25人

☆遠州チイチッドF・C
①大石 勇雄②③17人

☆F・Cブランシュ
①坂本 等②出野 正明③22人

☆藤枝師藤F・C
①山本 直平②岡谷茂子③35人

☆焼津クィーンズ
①深津 敏夫②渡辺春美③32人

☆藤枝東
①長谷川三郎②山本 洋③45人

☆藤枝北
①松本 博之②松村裕介③74人

☆静清工
①岩田繁司②久保山智則③80人

☆藤枝明誠
①八木島大郎②坂田保弘③50人

中学

☆焼津中央
①小川 和宏②矢沢達生③60人

☆焼津水産
①坂本 聡②宮本幹二③45人

☆大井川
①岡本 勇②飯田泰隆③63人

☆吉田
①鈴田 昌治②河野貴真③48人

☆榛原
①金子 富之②山田昌功③57人

☆相良
①鈴木 傳②植田好紀③28人

☆川根
①小川佳宏②小澤俊貴也③37人

☆島田
①杉山 雅登②山下貴久③63人

☆島田学園
①大坪 康②滝田康利③97人

☆島田工
①中野 達昭②桜井 繁③39人

☆島田商
①山崎 康司②新井 正③58人

☆西益津
①大野 富夫②西形泰幸④67人

☆高洲
①後藤 豊②稲田達也③88人

☆藤枝
①滝本義三郎②牧田一幸③94人

☆広幡
①武田 義昌②草川 昇③56人

☆瀬戸
①長谷川吉隆②和田知之③50人

☆瀬戸谷
①草香 博之②中村繁夫③43人

☆青島
①久保山勝巳②鈴木和志③95人

☆青島北
①中村 祐②村松紀幸③51人

☆大洲
①落合 一美②多田 晃③45人

☆岡部
①大石 純②朝倉宏行③64人

☆大井川
①田村 和彦②小林秀多③97人

☆大富
①二見 有②飯塚 亨③95人

☆東益津
①吉藤 泰志②駒井健吾③51人

☆大村
①阿井 哲②長谷川延弘③75人

☆豊田
①原田 知明②菅根秀紀③60人

☆焼津
①岩沢 達人②増田 裕③92人

☆大川
①水元 雅弘②阿部延久③55人

☆港
①村松 昌彦②大山一哉③57人

☆船田
①松永 宣雄②酒井秀一③57人

☆初倉
①後藤 義典②杉本輝雄③80人

☆島田二
①吉原 昌宏②佐野光晴③86人

☆島田一
①成岡 富雄②橋本雄記③64人

☆附島田
①中島 直②河合謙一③39人

☆吉田
①松下 博②山田官明③69人

☆六合
①山本 孝介②塚本敬介③58人

☆川根
①小林 繁二②赤川義信③30人

☆金谷
①土屋 友彦②和田一也③84人

☆榛原
①沢島 正治②木村一馬③80人

☆相良
①山内 泰郎②水野稔人③57人

☆御前崎
①神谷 浩之②高橋 淳③68人

少年団

【藤枝市】

☆藤枝
①江端 直治②小山 淳③65人

☆藤枝中央
①神村 邦昭②寺田真己③97人

☆西益津小第一
①山内 初男②増田裕次③115人

☆西益津小第二
①山内 初男②増田裕次③1人

☆青島東
①野神 弘雄②増田拓徳③43人

☆青島
①大石 巌②丸山仁志③42人

☆焼津
①小市 仁志②羽山俊美③60人

☆大洲小
①西野 辰夫②神原寿之③48人

☆神原小
①堀本 誠②松浦秀夫③47人

☆島田第三
①鈴木 哲文②仁木幸晃③60人

☆島田第二
①鈴木基広②森田真之英③103人

☆島田第一
①鈴木 民男②小林恭章③69人

☆島田西第一
①瀬戸 秀三②鈴木 真③51人

☆島田西第二
①瀬戸 秀三②伊東寛人③55人

☆岡部
①木ノ内裕三②竹下純一③79人

☆榛北京
①村越 武志②杉山康弘③43人

【榛原郡】

☆五稜
①藤渡 温雄②秋山 努③60人

☆金谷
①大石 寿明②落合泰弘③118人

☆大井川西
①市川 隆司②山下雅也③63人

☆大井川南
①曽根 金清②滝谷浩朗③40人

☆大井川東
①武藤 輝治②井細邦太③41人

【島田市】

☆島田第一
①鈴木 民男②小林恭章③69人

☆島田第二
①鈴木基広②森田真之英③103人

☆島田第三
①鈴木 哲文②仁木幸晃③60人

☆島田西第一
①瀬戸 秀三②鈴木 真③51人

☆島田西第二
①瀬戸 秀三②伊東寛人③55人

☆神原小
①堀本 誠②松浦秀夫③47人

☆大津小
①西野 辰夫②神原寿之③48人

☆六合小
①小沢 勇一②森下恭太③93人

☆六合東
①高茂三吉雄②加藤健二郎③76人

☆島田第五
①宮倉 博行②北住政規③29人

☆オール島田6年
①鈴木 基広②鈴木 淳③15人

【志太】

☆小川
①鈴木 正明②佐々木心③65人

☆和田
①鈴木 静雄②斉藤健志③33人

☆港
①原崎 敏②加藤哲也③71人

☆豊田
①杉原 栄之②亀山世二③40人

☆焼津東
①山村 音芳②亀山富則③89人

☆焼津西
①瀬科 金雄②藤原敦正③80人

☆東益津
①塩沢 智②小池 彰③122人

☆焼津南
①鈴木 敏②西島 繁治③69人

☆大富
①新村 藤一②市野光洋③91人

☆焼石
①笠原 保次②坪井吉蔵

購入は左記へ

藤枝　大沢スポーツ
清水蓮スポーツ
ウスイスポーツ
共立印刷
スウィングスポーツ

焼津　島田　御オオサワ

勝原　勝南スポーツ

中西部 ヤングサッカーニュース 1988 7

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

県高校総体 藤枝東が準優勝

魔のロスタイム
終了寸前まさかの失点

県高校総体サッカーの準決勝、決勝が六月四日と五日に藤枝市民グラウンドで開かれ、この大会に出場した藤枝東は決勝で東海大一に敗れたものの大健闘だった。

四日に行われた準決勝は第一試合で東部の沼津学園と対戦。芝の状態は最高だったが強い風と暑さのため選手の動きは今ひとつ。前後半を通して、長いたてパスからチャンスを作る藤枝東と中盤からウイングを使いチャンスを作る沼津学園の一進一退の戦いが続いた。前後半0対0で延長に入った。疲れの見え始めた沼津学園に対し、井川を中心に運動量の落ちない藤枝東がペースをつかん延長の後半3分、左からの組立のシュートをGKがこぼし、これを井川が詰め込み勝負を決めた。

インターハイ出場をかけた決勝戦は強敵者本の東海大一。立ち上りから両チームとも緊張的な試合を展開。東海大一はショートパスによる組み立てからの得点を藤枝東はMF井川からのチャンスを作った。

後半に入ってからもDFとGKの好守により両チームとも無得点のまま延長戦から恐れられた後半三十四分、東海大一は二本のコーナーキックを続けて得るチャンス。二本目の何谷のけった球が直接ゴールイン。劇的なタイムアップを迎えた。藤枝東にとっては大会唯一の失点が決勝戦の明暗の別れ目となってしまった。

また県大会二位として東海高校代表に出場した藤枝東は十八日、岐阜工と対戦。3対3で決着はPK戦にもつれ込み4対3の辛勝だった。

藤枝東高ファンの中では「今回の雪辱をぜひ選手権で晴らしてほしい。ぜひ、東海大一を下して全国大会に出場して欲しい」と期待を寄せる声が大きい。

長谷川監督のコメント

六年ぶりに県大会の決勝戦まで進出できた要因は、何と言っても点を取られなかったことでしょう。唯一の失点が決勝の一点ですから。よくがんばってくれました。

県大会を振り返っての感想は、

「試合、一試合とても厳しい戦いだったというのが今の感想です。東海大戦では、東海の持てるものを全部出せたと思います。

選手権に向けては、やるべきことをやってのけたいとしかない大会に臨みたいと思います。

（写真提供＝藤枝東高写真部）

県高校総体をふり返って

中西部高校部長　河村　駿

県高校中部予選は四月二十日より五月六日まで、おこなわれ、中西部より、中部大会で優勝した藤枝東と藤枝北が県大会の出場を決めました。この中西部予選でも最後までこの中西部からの焦点中央高校、大井川高校がいさかり最終ゲームまで、もつれましたが決定力が足りず県大会出場をのがしてしまいました。

又第一次予選で、藤枝北なら思いをしたチームは吉田高校であった。一位から三位までが同点という結果まで行きながら藤枝東との試合の0対1が最後まで、ひびき三位という結果に終わった。中部予選を勝ち抜いた藤枝東高校は、大井川高校のようなチームとは、もっとも自分の実力に自信もってほしいと思います。又、サッカーの本場で有ったサッカーでもあるという誇りをもって次の大会に望んで下さい。

さて県大会出場の藤枝東高校と藤枝北高校は両チーム共に優勝候補にあげられ、藤枝北高校は県第八戦で三位、藤枝東高校は県中部大会優勝者、おなじくのサッカーファンは優勝戦で強を合わせるんでみたいことは、はとんどの人ではないかと期待していたと思います。藤枝北高校は攻守のバランスのとれたまとまりのあるチームで一人々の個性を生かして相手の意表をついてくるチームに思えました。点を取る事に重点を置いているしかし、善戦および敗れた原因は、どこにあったのか、おそらく選手一人々の気迫力が足りなかったのかと思います。自分達のリズムでゲームを進めている所は良いが劣勢になったときに一人々がリーダーとなって、自分達のリズムを作るようパスを回したり、ボイスコントロールをしたりしてやはり軌道にのせる努力をすれば、落ち着いたゲームと展開が出来ると思います。

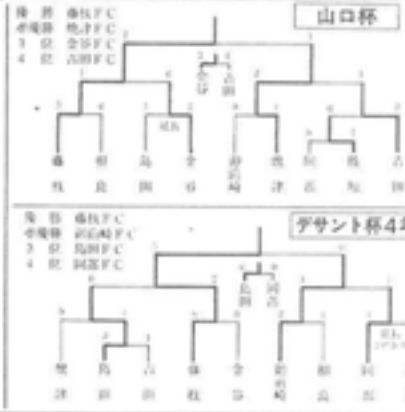
基礎技術は、ボールを相手をかわさなければ行けないようなパスである。FWの長距パスをもらう動きも考えて欲しいです。基本通りの強さが改善して下さい。又藤枝東高校は優勝こそ出来なかったが本優勝であり、東海地区出場でありますが、優勝でないとすぐに忘れられてしまいますが、全部な成績であり、大いに喜びたいと思います。中部予選から苦しいゲームを勝ち、選手一人々ゲームに対する厳しさと集中力を保てたことがこの立派な成績につながったと思います。特に選手の攻撃に対しての守り力ですが、ディフェンダーだけでは守れるものではありません。さすが伝統を誇る藤枝東高校です。FWとMFのディフェンスがよくできているし、問題は攻撃とシュートも少ない。シュートを打つ最終ボールも相手をかわさなければ行けないようなパスである。FWの長距パスをもらう動きも考えて欲しいと思います。写真の様な攻撃に生かせたらすばらしいチームになると思います。

最後にトレーニングセンターの選手を中心に若年に高校チームもいろいろ力上がってきましたことを喜ぶと同時に高校の指導者も一層の努力をしてゆきたいと思います。

次号の8月号は8月5日発行です

第12回山口森三杯サッカー大会
第8回デサント杯サッカー大会

山口杯は藤枝FC
デサント杯5年は焼津FC



「中西部支部選抜少年サッカー選手権大会」

さる六月十二日と十九日の二日間を通して、中西部サッカー協会少年団部の二大イベントの一つである第12回山口森三杯争奪選抜少年サッカー選手権（六年）と第8回デサント杯争奪選抜少年サッカー選手権（4、5年）が同部町の市町の選抜チームによるトーナメント大会で、各チーム共、レベルの高いプレーが見られ、特に藤枝は別にして、藤枝、焼津、島田の多くの少年団の中から選抜された市のチームの個人のセンスが形体的に光っていた。

過去には選手層の厚い市選抜であるべきチームが見せたチームプレーの弱点と云うも、の影をひそめ、逆に少年団層の厚さの中から、素晴らしい日人を送り出し、それぞれが良い結果を生みつつある。

大会は一点を争う好ゲームの連続だったが、6年生の部山口杯大会は、予想通りの決勝は藤枝FC対焼津FCの対戦となった。前半5分藤枝FCの大須賀のCKを小山が頭で合わせ先取点を奪ったが、その2分後、こんどは焼津FCの有ヶ谷が左からドリブル突破CKを谷をかわし同点シュート。両チーム、スピードあふれる展開の中、13分藤枝FCは40mの位置で反則によるフリーキックをDF向島がそのまま打ち込んで2対1と再び勝ちこした。後半両者ゆずらずそのまま終了し、藤枝FCが2年連続優勝をはたした。

5年生の部デサント杯大会の決勝は、島田FCと焼津FCの対戦となった。準決勝で藤枝FCをPK戦の末破って、いきおいに乗る焼津FCは、前半10分、桜井のCKを長身の山口がヘディングシュートで先行。後半6分島田FCは小沢のロングシュートで同点となったが、焼津は12分、松本のパスを桜井が頭で合わせ、2対1とし、終了を迎えた。焼津FCの優勝は、6年ぶりであった。

又、4年生の部デサント杯大会の決勝は、藤枝FCと御前崎FCとなったが、好選手をようする藤枝が、前半、川本、内藤、村松のシュートで3点を上げ、後半も勢いある攻撃を展開し、曽根、村松が得点を重ね5対0で圧勝し、7年連続優勝をはたした。最後に今回の開催地の西部中学を始め他のグランド施設を雨の中でお借りし、大会運営をおかけしました事をこの場を借りてお詫びとお礼を申し上げます。

ふれあいカップ
藤中がベスト4

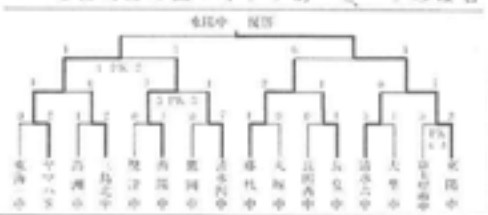
第九回静岡県中学生サッカー選手権大会（ふれあいカップ）が六月五日、十二日の両日にわたって清水市を中心に開催された。

中西部からは藤枝中、焼津中、高洲中の三校が出場した。高洲中は三島北中に1対2で敗れ、焼津中は浜松南陽中に0対1でそれぞれ初戦で敗退した。

中西部二位の藤枝中は一回戦浜松丸塚中に前半五分左サイドから敵陣のセンターリングを中央の菊川が見事に決め、1対0で勝ち、二回戦、長泉中と対戦し前半1点先取され苦しい戦いとなったが後半終了寸前長泉GKのミスがあって同点となり延長で藤枝は菊川がゴール前中央付近でダイレクトシュートを決め勝負がついた。

準決勝は西部一位の東岡中との対戦になった。

小雨のふる中、東岡は牧野を中心に左右のオープン攻撃を試み、一方藤枝は中盤をショートパスでつなぎ、菊川を軸にチャンスをつくる攻撃と守備陣の堅中力の欠いた一回を左サイドから敵陣の両角鳴し第三位になった西益津のように全国大会のさしてかんばってほしい。本年は第新人戦二位、ふれあいカップ三位という位置により是非ともチーム一丸となってがんばってほしい。

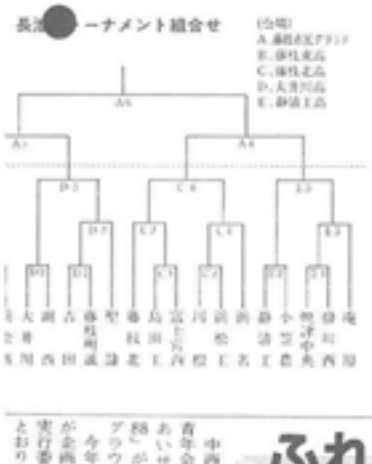


長池杯トーナメント
21チームが参加

藤枝東高等学校出身及び藤枝東高等学校サッカー部顧問をやられた方が勢揃をしているチームの親睦と親枝力向上を図るために八月六日、七日に二十一チームが集まって行われる。組み合わせは別表のとおり。

技術向上

長池杯トーナメント組合せ



ふれあいサッカー
8月に開催

中西部サッカー協会と藤枝青年会議所の主催する「ふれあいサッカーニバル88」が八月十一日に藤枝市民グラウンドで開かれます。

今年は中西部サッカー協会が企画・運営面で柱となり、実行委員会を重ねた結果次のとおり親枝内容が決定した。

中西部社会人6月の結果

ニングセンター

高校生の部―県国体選抜高校生の部中西部選抜チーム

社会人の部―県リーグ選抜チーム対中西部1部リーグ選抜チーム

八月二十一日には、ご家族お誘いあわせのうえ藤枝市民グラウンドにお越し下さい。時間等詳細は8月号に記載致しますので、どうかお楽しみに。

▽第5節（6月5日）

ビューストー3－0日清粉藤枝
焼津FC1－0マツムラ
東海積水4－3科研製薬
バイエルン1－0FCブリンコスモス
4－1島商クラブ

▽第6節（6月12日）

東海積水1－1FCブリンバイエルン2－0焼津FC

志太地区中学サッカー

対戦	時間	対戦	時間
①藤枝－安益津	9:00～	①豊田－西益津	9:00～
②和倉－青島	10:15～	②大井－港	10:15～
③島－大井川	11:30～	③和田－島二	11:30～
④六合－大村	12:45～	④小川－葉梨	12:45～
⑤安益津－島附	14:00～	⑤西益津－青北	14:00～
⑥青島－焼津	15:15～	⑥港－広幡	15:15～

対戦	時間	対戦	時間
①大井川－藤枝	9:00～	①島二－大富	9:00～
②大村－高洲	10:15～	②小川－岡部	10:15～
③藤枝－島附	11:30～	③豊田－青北	11:30～
④和倉－焼津	12:45～	④大井－広幡	12:45～
⑤島－瀬戸谷	14:00～	⑤和田－大富	14:00～
⑥六合－高洲	15:15～	⑥岡部－葉梨	15:15～

7月21日藤枝中学校、西益津中学校
→ 決勝トーナメント1回戦

7月22日藤枝中学校
→ 準々決勝

7月23日藤枝市民G（雨天藤枝中学校）
→ 準決勝

7月24日藤枝市民G（雨天藤枝中学校）
→ 決勝、三位決、五位決

号合って負けられない様なムードです。ぼくが日指すのは、常にまわりを見て、冷静な判断できないなパスをつなぎて攻撃を成りたちるこ

季戦果

昭和六十三年度第三十九回志太地区中学校サッカー大会が七月十七日からはじまる。

この大会は三年生にとって最後の大会であり勝ち抜いていけば全国大会にもつながるため、志太二十四校は、この大会に向けて練習をしている。八つの予選リーグで一・二位が決勝トーナメントに進出する。

志太・榛原地区の松永杯を制した藤枝中学校・準優勝した焼津中学校が今大会中心になりそうである。後は混戦が予想される。

大会日程・組合せ表は別表。

コーチングスクール開催

昭和六十三年度静岡県コーチングスクールが六月十六日、藤枝市立高洲中学校で開かれ、少年指導者十四人、中学生指導者三人、高校指導者三人の計二十人が参加した。

講習期間は約半年間で毎週木曜日の午後七時から九時まで。受講者は勤務を終了した夜間に講義および実技を行い、十一月十七日には日本サッカー協会公認リーダーの認定試験を行うことになっている。受講者の年齢は十六歳から三十八歳で現在各少年チームで

藤枝市役所サッカー部近況

1）現在の様子について

現在練習は週五日市内の高校や中学校のグランドを借用して行っている。時間は通常六時半～七時、ナイターの場合は週末水曜日は七時～九時、土曜日は一時半～三時半等で概ね三時間程度であり、日本リーグで通用するスピードとパワーを養うための走力を中心とした内容で行っている。

2）今後の予定について

六月二十日～二十五日に静岡県富士宮市で開催される第十八回全国自治体職員サッカー選手権大会に前年度優勝チームとして出場する。

六月より毎週日曜日には高校生を主体に練習試合を組み、今迄の練習の成果及び今後の課題について監督・コーチが研ってそれぞれ反省を行っている。

3）夏期の練習について

八月二十七日～九月十一日に日本各地で開催される第十三回JSLカップ選手権大会に初出場。

⑥九月十五日～十二月四日第十七回日本サッカーリーグ2部前期戦、2部リーグには十六チームが所属し、前期は東西各八チームずつにブロック分けを行いホームアンドアウェー形式によりブロック別の順位を決定する。後期上位リーグは東西ブロックの上位各四チームが集まり八チームでリーグ戦を行い一位二位が日本リーグ一部自動昇格、下位リーグは東西ブロック各々が四チームでリーグ戦を行い、順位を決定する。

⑦第六十八回天皇杯全日本サッカー選手権大会東海予選十一月五・六日　場所未定

日本リーグ2部の試合におけるホームゲームでは前記七試合を藤枝西民グランドにおいて行う予定です。入場料は中学生以上四〇〇円となっておりますので、多数の皆様の御観戦・御声援のほどよろしくお願い致します。

日本リーグ2部所属チーム

東ブロック

東芝・日立・NTT関東・コスモ石油・富士通・東邦チタニウム・中育クラブ・藤枝市役所

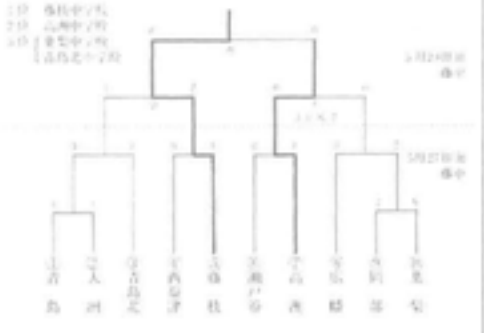
西ブロック

マツダ・トヨタ・田辺製薬・川鉄水島・新日鉄・大阪ガス・NTT関西・香人

昨年度決定後、今度は東西のブロックのどちらに入るのかが関心の的でしたが、東ブロックに決まり強豪の中でリーグを戦うことになりました。若い選手達が日々頑張っている姿を見て、何とかしなければと期待と不安が入り交じって複雑です。開幕まであと2ヶ月、一生懸命、頑張りますのでみなさん応援して下さい。

藤岡総体
藤中が優勝

藤枝・岡部地区中学校総合体育大会の結果



藤枝・岡部地区中学校総合体育大会は、三月二十六日から開かれ、各種目とも藤中が優勝を飾った。

藤枝中は二回戦で西益津中を3-0、準決勝は高洲中と対戦し2-1とせりふりの末勝ち、その決勝戦は高洲中と対戦、8-0の圧勝で地区中の名を高めるとともに、地区はおのおのの。

主藤枝中は高洲中応援梨中、青島北中

榛南リーグ（社会人）

1、日程　前期リーグ（4月10日～6月26日）

2、チーム名

（1）前期リーグ参加チーム名

榛南クラブ、ブリジストン防賀ゴム、トヤバムーア、中富浜塩、ダイトラ、ダイエットクラブ、ブランシェ、遠州ユナイテッド、FCたんば

榛原郡サッカーリーグ結果

Aリーグの部
優勝　川崎　二位　金谷
三位　白羽

Bリーグの部
優勝　相良　二位　伝吉
三位　金谷

Cリーグの部
優勝　相良　二位　白羽
三位　白瀬

榛原少年サッカー大会
川崎が優勝

榛原郡少年団サッカー大会が、六月五日閉幕した。Aリーグの部では、川崎・金谷・白羽の三強が勝ち点一の差で競い合い、総得点の差で川崎が初優勝を飾った。川崎は、福島君、永田君、鈴木君らを中心に、基本に忠実なサッカーで粘り強く戦い抜いた結果の優勝であった。なお、得点王は白瀬の鈴木君である。B・Cリーグでは相良が優勝し、来年度は除貴級となりそうである。

焼津大井川総体開催

焼津大井川地区総合体育大会サッカーの部が五月二十五日、二十九日に行なわれた。

決勝戦は、焼津中対大村中で白熱した好試合が展開されました。前半は敵のパスで鋭く突く焼津中に対して、オーブンスペースにボールを出して攻める大村とお互いに終了した。後半は、前の準決勝で延長まで戦った大村中の中盤に疲れがみえ始めた。結果は三対一で焼津中学が優勝した。

この大会を終え、各チームは中体連に向けてより一層励んで力をつけていくであろう。各学年とキーパーにそれぞれ別れ、程度に合わせた練習が行なわれている。生徒たちも先生方の指導を真剣そのものに聞き、一生懸命がんばっている。

焼津トレセンだより

焼津大井川地区トレーニングセンターが4月二十五日より、毎週月曜日に各中学校から選抜された選手たちが、大井川中のグランドに集合練習を行なっている。各学年とキーパーにそれぞれ別れ、程度に合わせた練習が行なわれている。生徒たちも先生方の指導を真剣そのものに聞き、一生懸命がんばっている。

社会人リーグ結果

▽東海第三節
中央防犯　1－1　西益津精工
▽東海第四節
ジャトコ　1－0　中央防犯
▽東海第五節
中央防犯　3－2　本田浜松
▽県第2節・一部
富士通浜松　2－0　矢崎計器
▽東海第六節・二部
藤枝東　1－0　静岡クラブ
▽県第七節・二部
藤枝東クラブ　3－3　FC浜松
▽県第七節・一部
富士通浜松　1－0　自衛隊富士
▽東海第八節・一部
トヨタ東富士　8－0　矢崎計器
▽東海第八節・二部
藤枝東　1－0　静岡クラブ
▽県第八節・一部
矢崎計器　2－0　富士通浜松
▽東海第七節・一部
富士通浜松　1－0　藤枝東
▽県第七節・二部
藤枝東クラブ　3－3　FC浜松
▽県第七節・一部
富士通浜松　1－0　自衛隊富士
▽東海第八節・一部
トヨタ東富士　8－0　矢崎計器
▽東海第八節・二部
藤枝東　1－0　静岡クラブ
▽県第八節・一部
矢崎計器　2－0　富士通浜松
▽東海第七節・一部
富士通浜松　1－0　藤枝東
▽県第七節・二部
藤枝東クラブ　3－3　FC浜松
▽県第七節・一部
富士通浜松　1－0　自衛隊富士
▽東海第八節・一部
トヨタ東富士　8－0　矢崎計器
▽東海第八節・二部
藤枝東　1－0　静岡クラブ
▽県第八節・一部
矢崎計器　2－0　富士通浜松
▽東海第七節・一部
富士通浜松　1－0　藤枝東
▽県第七節・二部
藤枝東クラブ　3－3　FC浜松
▽県第七節・一部
富士通浜松　1－0　自衛隊富士
▽東海第八節・一部
トヨタ東富士　8－0　矢崎計器
▽東海第八節・二部
藤枝東　1－0　静岡クラブ
▽県第八節・一部
矢崎計器　2－0　富士通浜松
▽東海第七節・一部
富士通浜松　1－0　藤枝東
▽県第七節・二部
藤枝東クラブ　3－3　FC浜松
▽県第七節・一部
富士通浜松　1－0　自衛隊富士
▽東海第八節・一部
トヨタ東富士　8－0　矢崎計器
▽東海第八節・二部
藤枝東　1－0　静岡クラブ
▽県第八節・一部
矢崎計器　2－0　富士通浜松
▽東海第七節・一部
富士通浜松　1－0　藤枝東
▽県第七節・二部
藤枝東クラブ　3－3　FC浜松
▽県第七節・一部
富士通浜松　1－0　自衛隊富士
▽東海第八節・一部
トヨタ東富士　8－0　矢崎計器
▽東海第八節・二部
藤枝東　1－0　静岡クラブ
▽県第八節・一部
矢崎計器　2－0　富士通浜松

第23回藤枝市少年サッカーリーグ戦
（1～3節までの戦績）

4月29日　開幕した第23回藤枝市少年サッカーリーグ戦は日頃の練習の成果を発揮し熱戦が繰り広げられた。3節まで消化した結果は次の通りである。

6年生の部

①	高洲南	K	5勝0敗		勝点10
②	葉	梨	3勝0敗2分		8
③	藤	藤	3勝1敗1分		7
④	藤枝中	中央	2勝0敗2分		6
⑤	青	島	2勝0敗2分		6
⑥	高	浜	3勝1敗		6
⑦	大	大	2勝1敗1分		5
⑧	西	益	2勝2敗1分		5
⑨	高洲南	東	2勝2敗1分		5
⑩	瀬戸谷	第一	2勝3敗		4
⑪	江	嶋	2勝3敗		4
⑫	青	島	2勝2敗1分		4
⑬	藤	枝	2勝2敗2分		3
⑭	東	梨	2勝1敗1分		3
⑮	西	益	1勝3敗		3
⑯	青	島	1勝3敗		2
⑰	城	東	0勝4敗1分		1
⑱	瀬戸谷	第二	0勝5敗		0

5年生の部

①	大	浜	A 5勝0敗		勝点10
②	藤	枝中	中央 4勝0敗		8
③	西	益津第一	3勝1敗		6
④	高	浜	南 2勝1敗		6
⑤	高洲南		南 2勝1敗1分		5
⑥	青	島	東 2勝1敗		4
⑦	江	嶋	嶋 2勝1敗		4
⑧	藤	枝	西 2勝2敗		4
⑨	高洲南	東	島北 A 2勝2敗		4
⑩	瀬戸谷	東	梨 1勝1敗1分		3
⑪	西益津第		二 1勝3敗		2
⑫	大	浜	B 1勝3敗		2
⑬	城	戸	谷 0勝3敗		0
⑭	西	益	北 0勝4敗		0
⑮	東	梨	西 北 0勝5敗		0

4年生の部

①	東	島	北 5勝0敗		10
②	藤	枝中	中央 3勝0敗		6
③	藤	枝	3勝1敗		6
④	藤	枝	西 3勝1敗		6
⑤	高	洲南	南 3勝1敗		6
⑥	西益津第一		2勝1敗		4
⑦	城	東	2勝2敗		4
⑧	藤	枝	嶋 2勝2敗		4
⑨	西益津第		二 2勝2敗		4
⑩	東	島	北 2勝3敗1分		1
⑪	西益津第		東 1勝3敗1分		1
⑫	藤枝中	央	B 0勝3敗		0
⑬	東	梨	0勝4敗		0
⑭	高	洲南	0勝4敗		0

3年生の部

①	高	洲	5勝0敗		10
②	藤	枝中	4勝0敗		8
③	藤	枝	4勝0敗		8
④	西益津第		4勝0敗		8
⑤	高	洲南	2勝1敗1分		5
⑥	高	洲北	2勝2敗1分		5
⑦	藤	枝	B 2勝2敗1分		5
⑧	藤	枝中	央 2勝2敗1分		5
⑨	西益津第		二 1勝1敗2分		4
⑩	東	梨	北 1勝3敗1分		3
⑪	島		東 0勝4敗1分		1
⑫			嶋 0勝3敗		0
⑬			東 0勝4敗		0

国体少年の部
第1次候補者決定

第四十三回国民体育大会サッカー競技少年の部の第一次候補選手がこのほど決定した。第1次候補選手は東海大一の選抜一名を含む三十人。この中には藤枝東高の主将・山本洋をはじめ五人と藤枝北高の寺田和敏の計六人が選ばれている。中西部からの候補選手は別表のとおり。

27	藤枝東高	五十川謙久	GK	3
28	〃	福原　博行	DF	3
29	〃	山本　洋	DF	3
30	〃	井川　剛志	MF	3
31	〃	見崎　充洋	MF	3
32	藤枝北高	寺田　和敏	FW	3

日本リーグ2部日程決まる

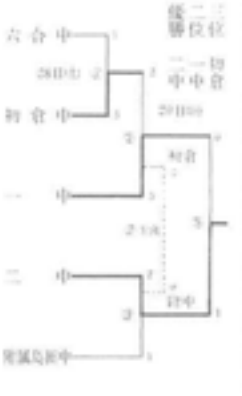
藤枝市役所試合日程

5月15日	祝	清水	会場未定
富士通			会場未定
5月18日	日	藤枝	14：00
〃	立	藤枝市民ひ	
9月23日	祝	時間未定	
名鉄チタニウム			会場未定
9月25日	日	藤枝	14：00
NTT関東		藤枝市民ひ	

島田市中学総体
二中が見事V

昭和六十三年度春季島田市中学校総合体育大会がこのほど開かれ、二中が優勝した。大会には六合中、初倉中、一中、二中、附属島田中の五チームが参加、二中は二回戦で附属中を2対1で下し、決勝でも一中を1対0と接戦をものにしての優勝だった。順位は次のとおり。

①二中②一中③初倉中



「カール少年団五十五団のキャプテンを四チームに分けて二試合行う。

中学生の部―ヤマハサッカースクール対中西部トレー

科研製薬1－0日清紡藤枝

▽第7節（6月19日）

島田クラブ1－0FCグリン

東海積水1－0ツムラ

日清紡藤枝2－1バイエル

中西部トレセン特集

トレセンの誕生

トレセン部長　滝本義三郎

昭和五十八年十一月三十六日、この日が藤枝を中心とする中西部サッカー旗上げの日であろう。

中西部を部＝サッカースポーツ少年団（五十二団）中学二十八チーム（九十四チーム）の指導者約二〇〇名が一堂に会して、小、中、高、サッカー指導者研修会が開催された。

講師は岡村新太郎氏、現役時代、藤枝東高校が全国総体、国体、高校選手権の三冠王を達成した時のゲームメーカーであった。その後氏から日本リーグ所属日本鋼管で活躍し、全日本ユース監督として日本の指導陣のトップで活躍していた。その後氏は日本代表コーチ、研修員的はサッカー技法の指導理念を共通理解し、貴した選手育成の指導者巡礼を確立する。少年、中学、高校ともこの数年間低迷を続ける藤枝を中心とした中西部の競技力の向上をはかることであった。

講師は「日本サッカーの現況と高校生までの実践、生徒に対する指導上の留意点」であった。講演の一部を記してみると、現在の世界サッカーの大勢は各国ともスピードアップの時代といえる。では早いサッカーとはどのようなことか。の戦術的な早さ、状況判断とそれに応じた行動（反応）の技術的な早さ、パスその他個々のプレー、日本のプレーヤーのパスは非常であっても弱く、遅い。体力的な早さ、運動能力。

次に最近の日本人プレーヤーに多いこと。

個々の技術は高くうまい。が指点することに指向向けられない、技術を得点につながる局面で使えない。状況判断が悪い、相手の隙を見抜く戦術意識がない。絶小限の動きで勝つこと、勝利への再加計画を考えなければならない。勝ったためにはシンプルサッカーが必要。

〈指導の要点として〉

①コーチが進よりも情熱をもつこと。②学使連の重大な思考を尊重すること。③自分の判断でなった行動の過程を評価することが計要。④小学生サッカーの専門家にしない。

〈中学校の段階では〉

①基本的な技術を身につける。②基本的技術の正確さ、速さ、学戦直眼をつける訓練をしてみる。状況の把握・判断を行なう訓練をくり返し行なう。③ストップゲームを試してみよう等が内容の一部である。

質疑応答が行なわれた。小、中、高の指導者から多くの問題が提起された。そして実用試験が行われ、中、高各段階の指導者が意識を取り合うことが大切。少年団の指導者連絡会議にて実する指導者がいる。、現在の各指導区の者勢を無関するには清水の組織力を無関するには清水の組織力清水を追い越すということに活性を学ぶ、目標としていかなければならない。藤枝には学ぶべき点はないということを自覚すべきだ、という問題があった。

このようにして中西部の各種別指導者が一堂に会して意見交換をした事は過去に一度もなかった。

昭和四十年代は、サッカーの町藤枝として全国が注目した。藤枝東高の全盛時代であった。少年団大会において、藤枝中央少年団が常に頭を抜いていた時代であり中学において、藤枝中、西益津中が毎年のように県の主者に君臨していた時代であり、当然のように藤色のユニフォームにあこがれた少年達が藤枝東高の門をたたいた。そして藤枝北高が打倒藤枝東高と執念を燃やしてせり合い、藤枝の黄金時代が続いた。現在においては清水東高を中心にして清水商、東海高しのぎを削ってレベルアップを図ってきた。

清水は少年の育成に着手していた。中学で全国の大会に勝てなくても、個人の技術、転相のレベルは着実に身についていた。そして高校で花を開く結果となった。

清水の組織力が現在のサッカー王国静岡の中核であることは誰もが認めるところである。しかし、日本のサッカーを語るとき、藤枝出身の選手には日本を動かす何かをもっているのではないかと思う。それは、サッカーの歴史を支えてきた街藤枝としての誇りがあるからであろう。

トレセンの開如時期は昭和五十九年四月二三日、一年後に高校トレセンを実施、中学生、高校生が同一グラウンドで練習できるシステムをとった。そして小学校六年生が昭和六十二年度第三期より中学トレセンに参加し、小、中、高一貫指導体制が確立した。加藤寿一・水井克俊がジュニアロ本代表選手に選ばれる。

昭和六十三年、中西部サッカー協会の組織の立ながしとともに、毎月定期的に技術委員会が組織された。

内容は各種実大会での取り組の反省、トレセン指導のあり方、指導技術の研修などが課題である。

中西トレセンが地域を代表する将来性のあるプレーヤーを選抜し、長期的計画的に公認指導者が専門の技術指導を行っている。毎週夜七時から九時までの二時間行っている本年度から藤枝、焼津、島田、榛原地区は月曜日に、中西部トレセンを開部町営で中学一・二年生三十九名、藤枝東高で中三、高一高二の生徒八十名で行っている。第入技術、戦術等を中心に行っている。

トレセンに選ばれているメンバーは地域の代表プレーヤーとしての誇りをもっている。

メンバーは学習との両立をめざし、計画的な学習に打ち込んでいる。

中西部第1期トレセン選手名簿

氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年
柳史浮	藤枝東	2	仁之司	藤枝	3
谷裕昭	藤枝北	2	天知貴	藤枝	3
大塚毅	〃	2	村田広	藤枝	3
鈴木博	静清工	2	沢藤陸	藤枝	3
山竹博	藤枝北	2	藤田卓	藤枝	3
松下昌	〃	2	原田裕	藤枝	3
吉永雅	吉田	2	増田行	藤枝	3
伊山浩	藤枝東	2	長谷川伸	藤枝	3
水田智	静清工	2	小林秀	藤枝	3
桑原伸	藤枝北	2	小沢多	藤枝	3
塩沢拓	〃	2	小川博	藤枝	3
山内誠	〃	2	飯塚亨	藤枝	3
佐野哲	藤枝東	2	飯塚稔	藤枝	3
鈴木貴	〃	2	熊谷文	藤枝	3
高橋信	〃	2	池ヶ谷邦	藤枝	3
藤本多加志	藤枝東	2	和田一	藤枝	3
牧田剛	藤枝北	2	橋本清	藤枝	3
鈴木一秀	〃	2	望月晃	藤枝	3
見村友	大井川	2	大野秀	藤枝	3
白崎剛	藤枝東	2	曽根康	藤枝	3
亀谷智	藤枝北	2	青木志	藤枝	3
秋谷仁	藤枝東	2	澤入広	藤枝	3
前田美	藤枝東	1	杉本和	藤枝	3
杉村憲	〃	1	津島三	藤枝	3
岡本直	〃	1	小黒弘	藤枝	3
松村広	〃	1	大石真一	藤枝	3
小林毅	静清工	1	加藤一	藤枝	3
渡辺敏	藤枝東	1	小沢智	藤枝	3
池田勉	静清工	1	山村博	藤枝	3
山脇徳	藤枝東	1	鶴田阿希	藤枝	3
原田尚	焼津中央	1	竹下桂	藤枝	3
大石信	藤枝東	1	正井力	藤枝	3
大塚本	藤枝北	1	三浦大	焼津	3
平田誠	静清工	1	長谷川勉	焼津	3
石原博	焼津中央	1	小川達	焼津	3
桑田栄	大井川	1	飯塚真	焼津	3
大熊栄	吉田	2	松本博	焼津	3
石田栄	藤枝北	2	池谷光	焼津	3
原田敏	焼津中央	2	石田知	焼津	3
石原栄	吉田	2	山田勝	焼津	3
大熊栄	藤枝北	2	沢本貴	焼津	3
海野敏	焼津中央	2	石川有	焼津	3
吉原敦	吉田	2	望月郁	焼津	3
山田高	藤枝北	2	清水智	焼津	3
山本夫	島田中学	2	荒畑英	焼津	3
増田樹	大井川	2	吉野友	焼津	3
田島茂	藤枝	1	重富充	焼津	3
渡辺行	藤枝東	1	河村聡	焼津	3
吉田健	島田商	1	寺田清	焼津	3
柏原俊	大井川	1	大石剛	焼津	3
堀部雅	藤枝北	1	安藤達	焼津	3
福島純	藤枝東	1	太田孝	焼津	3
大石紀	島田商	1	祖馬孝	焼津	3
横本徳	焼津中央	1	杉本健	焼津	3
神田信一郎	静清工	1	塚本高	焼津	3
高橋智	藤枝東	1	高橋卓	焼津	3
永田弘	藤枝東	1	増田真	焼津	3
永井克			安藤伸	焼津	3
			藤樹茂	焼津	3
			鈴木紀	焼津	3
中学トレセン					
牧田一幸	藤枝	3			
菊川一穂	藤枝	3			

金曜トレセン（中学）5月6日より開講

従来の月曜日に行なっていたトレセンを各地区別にし、高い能力の選手育成を目指し、中西部四地区より中学一年生、二年生合わせて三十九名を選考、岡部町営グランドに於て五月六日、「中西部金曜トレセン」というかたで開講した。

スタッフとして大井川中の田村和彦先生、岡部中の大石英美先生、和田中の猫与吉晴先生、焼津中の岩沢達人先生、羽倉中の池田義典先生、そしてGKコーチとして藤枝中の鈴木規之先生の名におがいし指導にあたってもらうことにした。

中学一、二年生とはいえすがに各地区の「代表選手」だけあって技術面はもちろんのこと、練習への意欲、とりくみ方等他の中学生の模範となるべき様子がうかがわれ、指導にあたっている各先生方からも「指導のやりがいがある」「気もちよく教えることができる」などの感想が聞かれ順調なスタートを切ったといえる。

練習内容は、一年生がドリブル、リフティング、対敵動作を含めたボールコントロール中心、二年生が、ボールキープゲームを主に、パスのコースや種類、フィニッシュなど戦術的内容に主眼を置き、一、二年ともに最後にはGKをつけ、変化に富んだシュート練習で終わるようにしている。

7月の予定

少年団

- 7月17日(日)
  ミニサッカー大会県大会（静岡伊勢丹）
- 藤枝地区
  7月3日(日)、10日(日)、24日(日)
  第23回藤枝市少年サッカーリーグ戦
- 島田地区
  7月3日(日)10日(日)
  第29回フジパンカップサッカー大会島田地区予選
  7月3日(日)10日(日)24日(日)
  第14回島田市小学生サッカーリーグ
  7月30日(土)31日(日)
  第9回島田招待サッカー大会
- 焼津地区
  7月3日(日)24日(日)
  第29回フジパンカップ志太地区予選

中学校

7/17、7/20、21、22、23、24
志太地区中学校サッカー大会（主に藤中、藤枝市民G他）
7/26、27、28
中部地区中学校サッカー大会（藤枝市民G、焼津市営G）
8/1、2、3
全国中学校サッカー大会県予選（藤枝市民G、焼津市営G）
8/910
全国中学校サッカー大会東海予選（藤枝市民G）
8/18、19、20、21、22、23
第19回全国中学校サッカー大会（山形）

社人会

7月10日(日)、17日(日)、24日(日)
昭和63年度中西部社会人サッカーリーグ1部
（10日・17日　日清紡G　24日　焼津崎G）

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■

▽大光自動車㈱（三日）
▽㈱井川商店（三日）
▽ホテルシルビア（三日）
▽ヤマー水産㈱（三日）
▽㈱サンショップ（二日）
▽田中染物店
▽石原水産㈱
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽大沢スポーツ㈱藤枝本店
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱翌檜建設
▽㈱ぽたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大越建設
▽建設土木丸川組
▽㈱建設材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック㈱
▽静岡倉庫㈱
▽東海オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダプリモ滝井
▽見附設備
▽みのる居酒屋店
▽村松工業㈱
▽レストランサンパーク
▽田上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽ABC藤枝店
▽前田書店
▽志太交通㈱
▽㈱藤枝等貸器商会
▽吉崎産業㈱
▽曽根酒商店
▽㈱山鉄工㈱
▽小澤商店
▽増田自動車工業
▽㈱新富観光ホテル
▽フォトスタジオ'85相馬
▽㈱津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽富士コカ・コーラボトリング㈱
▽一品料理　磯乃家
▽㈱共栄社
▽初亀醸造㈱
▽㈱藤枝エイシック
▽東海ガス㈱
▽松本印刷㈱

■個人■

▽山口春三
▽中山春尚
▽松永　稔
▽㈱藤美容院
▽平木理平
▽青木徳夫
▽青島武夫
▽斉藤芳之
▽鈴木吉野
▽柴田二郎
▽滝本義三郎
▽深津敏夫
▽丸山慎也
▽石上源二
▽加藤金吾
▽小林国男
▽和田三司
▽上野孝雄
▽竹中正樹
▽山本輝雄
▽本間弘幸
▽植田水二
▽松永弘夫
▽渡辺恭男
▽恵崎直也

購入は左記へ

種類	購入先
藤枝	大沢スポーツ
焼津	清水屋スポーツ
焼津	ウスイスポーツ
焼津	共立印刷
焼津	スウィングスポーツ
焼津	ケンスポーツ
島田	㈱おおわ
榛原	榛南スポーツ

中西部 ヤングサッカーニュース 1988 8

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

第39回志太大会 焼津中が4回目の優勝

優勝した焼津中イレブン

第三十九回志太地区中学校サッカー大会が開かれ、三十九回の伝統を誇る志太地区大会では焼津中学が三年ぶり四度目の優勝を飾った。榛原地区大会は金谷中が堂々の優勝を飾った。

志太大会

志太地区の決勝戦は島田一中と焼津中との対戦となった。増田、山村を中心としたスピードあふれる焼津中がFWに対して、橋本、小沢が中盤を作りながら石部、三浦を走らせる島田一中との決勝戦は見応えのある試合を展開した。

前半は中盤を制した焼津中が十二分、増田の右からの強引なドリブル突破からのセンタリングに山村が飛び込み先制点。しかし、島田一中もエース橋本が相手DFを引きつけながら三浦に好パス。三浦がゴール中央にシュートを決め同点とした。

後半は勢いに乗る島田一中が中盤でせり勝つ場面が多くなったものの石部、三浦ともに決定的なシュートが決まらなかった。逆に焼津中は十七分に乗田の左からのセンタリングをストライカー山村がヘディングシュートを決め、試合を決定付けた。

年度	志太地区大会	中部大会	県大会
昭46年	岡部中	益津中	西益津中
昭47年	西益津中・藤枝中	島中	丸塚中
昭48年	藤枝中	松中	藤枝中
昭49年	藤枝中	里中	武本三中・藤枝中
昭50年	青島中	大中	藤枝中
昭51年	青島中・藤枝中	藤中	藤枝中
昭52年	藤枝中	藤中	武本一中・西益津中
昭53年	藤枝中	藤中	藤枝中
昭54年	藤枝中	西中	西益津中
昭55年	青島中	青中	益津中
昭56年	高洲中	高中	木一中
昭57年	島田一中	清水中	山里中
昭58年	西益津中	観音中	大東中
昭59年	西益津中	東中	清長中
昭60年	焼津中	清長中	東中
昭61年	広幡中・焼津中	東中	益津中
昭62年	西益津中・島二中	東中	益津中
昭63年	焼津中	東中	益津中

年度	志太地区大会	中部大会	県大会
昭25年	西益津中	益津中	
昭26年	焼津中	津中	
昭27年	藤枝中	枝中	
昭28年	西益津中	益津中	
昭29年	藤枝中	枝中	藤枝中
昭30年	西益津中	益津中	藤枝中
昭31年	青島中	島中	城内中
昭32年	焼津中	津中	静大附属浜松中
昭33年	西益津中	益津中	西益津中
昭34年	西益津中	益津中	益津中
昭35年	西益津中	益津中	藤枝中
昭36年	藤枝中	枝中	藤枝中
昭37年	藤枝中	枝中	藤枝中
昭38年	藤枝中	枝中	藤枝中
昭39年	西益津中	益津中	藤枝中
昭40年	西益津中	益津中	清水五中
昭41年	藤枝中	枝中	清水東中
昭42年	西益津中	益津中	藤枝中
昭43年	藤枝中	枝中	藤枝中
昭44年	西益津中	益津中	清水一中
昭45年	西益津中	益津中	岡部中

焼津中 大塚監督

志太大会予選リーグ、決勝トーナメントと激戦から勝ち抜いてきたことについて本当にうれしい。

特に印象に残る試合は延長戦の末に勝った大井川中戦とPK戦で勝った決勝トーナメントの藤枝中戦です。この藤枝中戦は大会に入る前から目標にしており、「打倒藤中」を合言葉にしていたので特にうれしく思っています。決勝戦の島田一中戦は生徒がよくやってくれました。これからもチーム一丸となってがんばって行きたいです。

焼津中 増田主将

藤中に勝ったということが私は今回志太地区サッカー大会でポジション別に目的を持って観戦しました。

FW①シュートをどんよくに狙う選手②スピードで動きながらのドリブルで相手の逆を取る選手③フェイントからリングを正確に上げられる選手。

MF①ボールコントロールが正確に出来る選手②パスの種類サイドチェンジのロングパス、ミドルパス、ショートパスの正確に出来る選手③明りを見ながらドリブル、パスの状況判断が出来る選手④攻守の切り替えが速く出来る選手。

BK①一対一のディフェンスに強い選手②インターセプト、精神力が必要である。例えば西独のウベゼーラーという選手は身長一七〇センチ位で、普は練習の後毎日ヘディングを六百本こなしたと言われ、それによってジャンプ力をつけ、タイミングをつかみ数多く得点した。最後にトレーニングセンターで個人の特徴を持てる選手が多数出てくることを望みたい。

志太大会を振り返って

少年団所長　日大　碓井善治

志太大会の優勝につながってきたと思います。決勝戦ではパスミスが多く、次の大会ではミスをなくし、次の目標を突破したいと思います。

榛原大会

榛原地区大会は吉田中、御前崎中、榛原中、金谷中の予選リーグを勝ち抜いた四チームによる決勝トーナメントで争われ、金谷中が優勝した。

その決勝トーナメントでは一回戦で榛原を4対1で下し、決勝へ勝ち進んだ。決勝戦は吉田中と対戦。前半14分にまず清原先制、同17分に池ヶ谷がPKを決め2対0。後半に入ってからは増田、茂川がそれぞれ得点した。

焼津中メンバー	
GK	鈴木
DF	仲野
	高橋
	志摩
	岩田
MF	大塚
	増田
	鈴木
	清水
FW	山村
	増田

金谷中メンバー	
GK	山中
DF	東富
	望月
	新玉
	和田
MF	茂川
	増田
	鈴木
FW	池ヶ谷
	清原

志太地区予選

得点	1位	山村（焼津中）	11点
	2位	石部（島一中） 柴山（島二中）	5点
	3位	豊崎（大村中） 沢入（東髙中） 橋本（島一中） 小林（大井川中） 増田（焼津中） 太田（島二中） 斎藤（東髙中） 三浦（島一中）	4点
アシスト			
1位		増田（焼津中） 長谷川（通　中） 原田（焼津中） 牧野（島二中）	4 3

榛原地区予選

得点	1位	池ヶ谷（金　谷）	6
	2位	清原（　〃　）	4
	3位	鈴木（御前崎） 杉本（　〃　）	3 3
アシスト			
1位		高塚（御前崎）	2

次号の9月号は 9月8日発行です

伊勢丹ミニサッカー大会
8チームが激突

榛原FCが三位
藤枝FCは四位に

静岡県選抜伊勢丹ミニサッカー大会の七月十七日午前十時から静岡市の伊勢丹静店で開かれ、中西部では榛原FCが三位、藤枝FCが四位となった。

大会には静岡FCをはじめ富士川第一、浜松JFC、焼津FCなど八チームが参加。榛原FCはAブロックの予選を1勝1敗1分の二位、藤枝FCはBブロックで同勝の成績。焼津FCは残念ながら1分2敗と予選を通過できなかった。

各ブロックの四チームが争う順位決定戦は夜間にも中西部同志の対戦。榛原FCと藤枝FCともに接戦し、0対0でPK戦に突入。この PK戦では榛原の本田秀吉が見事にシュートを決め、結局1対0で榛原が初出場ながら三位入賞を果たした。藤枝FCは四位となった。

優勝決定戦は静岡FCと富士川第一の間で行なわれ、立ち上り2分富士川第一のネットオーバーの5点が大きく、静岡FCはその後も著々と得点を重ね、結局13対1の大差で勝った。

優勝静岡FC　三位富士川第一　四位藤枝FC

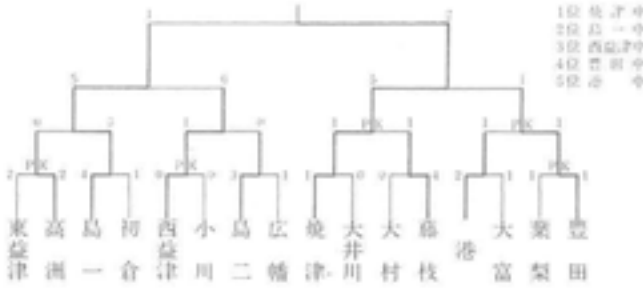
Aブロック	Bブロック
1位静岡FC（2勝1敗）	1位富士川第一（2勝1敗）
2位榛原FC（1勝1敗1分）	2位藤枝FC（1勝1敗1分）
3位沼津FC（1勝1敗1分）	3位有度二（1勝2敗）
4位焼津FC（1分2敗）	4位浜松JFC（1勝2敗）

①静　岡3－0榛　原　⑦榛　原3－3焼　津　　⑨3位決定戦
②浜　松3－1有度二　⑧有度二4－0藤　枝　　榛　原0－0藤　枝
③沼　津5－2焼　津　⑨静　岡7－1焼　津　　PK1－0
④富士川2－2藤　枝　⑩浜　松5－7藤　枝　　⑩決勝戦
⑤静　岡2－2沼　津　⑩榛　原7－0沼　津　　静　岡13－1
⑥浜　松3－5富士川　⑩有度二2－3富士川

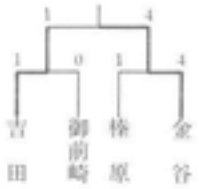
志太大会結果
榛原大会結果

A藤　枝1－1東益津
E竹　志1－0青　島
B島田－2－1大井川
F六　合0－6大　村
A有益津3－2高洲第
E東　益0－6焼　津
C豊　田1－1西益津
G大　井0－5　港
D和　田1－3島田二
H小　川0－6東　梨
C西益津1－1焼島北
G　港　1－0広　幡
B大井川2－1瀬戸谷
F大　村3－0高　洲
A藤　枝1－1志田第
E和　田0－5焼　津
B島田一－3－0瀬戸谷
F六　合1－1高　洲
D島田二1－0大　富
H小　川3－2岡　部
C豊　田1－1東島北
G大　井1－1広　幡
D和　田0－0大　富
H岡　部0－2東　梨

3.4位決定戦　西益津　0－0　豊　田
5.6位決定戦　港　0－0　島　二



A榛　原2－1中川根
B川　根0－5御前崎
B金　谷3－0相　良
A榛　原0－0吉　田
B川　根0－6金　谷



1位 金　谷）中部大会出場
2位 吉　田）
3位 榛原・御前崎

御前崎2－1相　良
中川根0－3吉　田
川　根0－4相　良
御前崎1－4金　谷

県社会人リーグ前期終了
雑草クが健闘

県社会人リーグは七月三日に前期の日程を終了、九月四日に再開し後期に入る。一部は上位五チームを中西部以外に独占されているが、新加入の雑草クラブが六位、県リーグ誕生した時から一部に在籍している伝統のある志太クラブが七位と、上位グループに肉薄している。後期の戦い方しだいでは優勝・東海リーグを狙える順位にいるので後期に期待したい。他の榛南クラブ、藤北クラブ、矢崎計器島田も上位に食い込むチャンスは十分あるので頑張ってほしい。最下位に甘んじているパテルズにも奮起を期待したい。

二部は瀬戸谷クラブが二位と好位置で一部リーグ返り咲きに燃えている。今期二部に降下の紫クラブも上位チームとの対戦を残しているので是非勝って上位に食い込むよう期待したい。各チームとも後期に向け一生懸命、頑張っているのでみなさんの応援を期待する。

○県社会人サッカーリーグ1部成績○
（第8節終了）

順位	チーム	勝ち点	勝	分	負	総得点	総失点	得点差	
①	瀬戸谷	13	6	1	1	35	3	32	26
②	トクヤマ	12	6	1	1	30	16	14	25
③	志太東	12	5	2	1	16	21	5	22
④	藤枝市役所	11	4	3	2	16	10	6	19
⑤	矢崎計器	11	4	3	2	17	10	7	19
⑥	雑草	10	3	4	3	17	12	5	18
⑦	志太	10	3	3	3	12	17	−5	18
⑧	榛南	10	2	4	4	10	15	−5	16
⑨	藤北	9	2	3	4	10	19	−9	15
⑩	矢崎計器島田	8	2	2	5	9	18	−9	12
⑪	清水ユ	5	1	2	6	7	24	−17	7
⑫	NTT東海	5	1	2	6	5	17	−12	7
⑬	浜松JFC	4	1	1	6	8	27	−19	6

○県社会人サッカーリーグ2部成績○
（第8節終了）

順位	チーム	勝ち点	勝	分	負	総得点	総失点	得点差	
①	紫	14	6	2	0	27	13	14	20
②	瀬戸谷	12	5	2	1	22	8	14	17
③	日本ハム	12	5	2	1	17	8	10	17
④	ヤマハ自動車	12	5	2	1	14	8	6	17
⑤	鈴鹿	10	4	2	2	17	11	6	14
⑥	清水ゴールドFB	10	4	2	2	15	12	3	14
⑦	藤枝市役所C	8	3	2	3	11	8	3	12
⑧	藤枝クラブ	7	3	1	4	11	16	−5	11
⑨	パテルズ	6	2	2	4	11	13	−2	10
⑩	東海ユニオン	6	2	2	4	14	17	−3	10
⑪	浜松市役所	6	2	2	4	7	16	−9	10
⑫	静岡市役所	6	2	2	4	7	16	−9	10
⑬	自衛隊富士学校	3	1	0	6	5	13	−8	6
⑭	旭化成富士	1	0	1	7	4	24	−20	1

県社会人リーグ
参加チーム紹介

現在県社会人サッカーリーグに参加している藤枝のチームは1部リーグに4チーム、2部リーグに2チーム、そのうち、藤枝市サッカー協会傘下チームは1部リーグに志太クラブ、藤北クラブ、パテルズ、雑草クラブの4クラブ、瀬戸谷クラブ、が頑張っています。

県リーグとは、日本リーグに昇るステップの1段階で現在活躍しているヤマハ、本田、トヨタ、藤枝市役所のあるチームも、この県リーグを経て現在に至っているわけです。簡単にチームの紹介をしますと、県リーグが誕生した年から参加している志太クラブは東高OBで結成されたチームで、今年は、東海リーグを狙える唯一の伝統あるチームです。次に武高出身者で作っている藤北クラブ、このチームは藤枝市役所と同じ年に県リーグに昇格し現在20年間この座をキープしています。パテルズは静清工業高校のOBが主体となっているチームで、58年には2部リーグに降下したが60年には1部リーグに返り咲き、現在に至っています。雑草クラブは藤枝中学校卒業者で作ったチームで、支部リーグから脱出後、1年で2部リーグを経て、1部リーグに昇格してきた新生チームです。紫クラブは現在2部リーグに降下していますが、中西部内で唯一優勝経験のあるチームで1部リーグ昇格を狙っています。最後に瀬戸谷クラブですが、瀬戸谷出身者のチームで一昨年2部リーグに降下してしまいましたが、現在2部リーグでトップを走っていますので来年度は1部リーグ昇格が期待出来そうである。以上簡単にチームの紹介をしましたが、中西部の社会人チームも、小・中・高に負けずに頑張っています。近くでのゲームも数多く行なわれていますので是非、応援をお願いいたします。又、8月21日のふれあいサッカーニバルには、この選抜チームがゲームを行ないますので声援お願いします。

志太支部少年リーグ途中結果

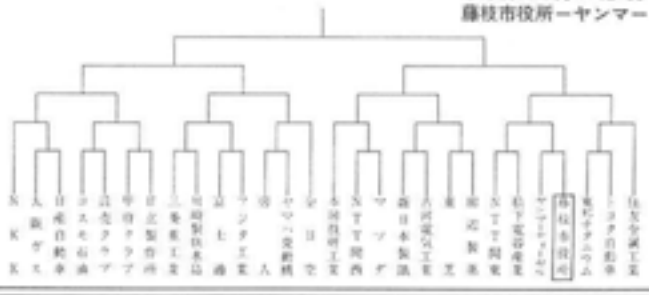
Aリーグ	勝	分	負	順位
港	4	2	4	7
和田	1	2	7	12
大井川西	8		2	2
小川	1		8	14
焼津南	6		3	6
岡部	7	2	1	3
大井川東	1	2	8	13
焼津東	4	2	4	11
焼津西	6	3	1	4
大富	8	4		1
豊田	3	1	3	8
東益津	6		3	5
大井川南	2	2	5	10
黒石	3	4	3	9
朝比奈	1		9	15

Bリーグ	勝	分	負	順位
岡部	5	2	2	5
大富	9			1
焼津西	7	2	1	3
焼津南	5	2	2	6
豊田	3	2	5	9
大井川西	2	3	5	11
和田	1	2	8	14
東益津	2	4	2	12
小川	2	4	4	10
港	5	2	3	4
黒石	7	2		2
大井川南	4	2	3	8
朝比奈		1	9	15
大井川東	2		8	13
焼津東	5	1	4	7

Cリーグ	勝	分	負	順位
大富	8	1		2
焼津西	9	1		1
岡部	3	2	4	10
港	6	2	4	4
黒石	4	1	4	9
豊田	8	2		3
小川	4	2	4	7
焼津東	4	3	4	8
焼津南	3	2	4	11
東益津			3	6
大井川西	5	2	3	5
朝比奈		1	9	14
和田			10	15
大井川南		3	6	13
大井川東	1	2	7	12

第13回JSLカップ大会組み合わせ

8月28日万博G 12:00～
藤枝市役所ーヤンマー



第8回島田招待サッカー大会
市内外から24チーム

第八回島田招待少年サッカー大会が七月三十日と三十一日の二日間にわたり島田市民サッカー場、神座スポーツ広場、島田小グラウンドの三会場で行なわれた。

大会には島田の十チームに加え、藤枝、岡部、焼津、牧津などから招待チーム十四チームの計二十四チームが出場した。

大井川サッカーフェスティバル
7試合に熱戦

大井川町サッカーフェスティバルが七月三十一日に大井川町立大井川中学校で開かれ、好ゲームを展開した。

大会には大井川中一年、二年、三年、焼津中一年、二年、三年、ホワイト第一、ホワイト第二、柳原選抜の五、六年、大井川選抜の五、六年、大井川高校、島田商業、大井川役場、焼津市役所の十四チームが出場、日頃の練習成果を十分発揮していた。

焼津社会人結果

焼津市役所2－1焼津信金
YKS 8－2焼津FC
ファイター6－1チャップ
MOS 4－3Rフット
ファイター2－1SSB
村松工業1－1ゴルゴ11

社会人結果

▽東海リーグ　第十節
中央信知 11（3－1、2－0）0 やまき屋
中央信知 11（2－0、2－0）2 ヤマハ

日本リーグ(二部)の前期日程が決定

金額の日本リーグ入りを決めた藤枝市役所サッカー部は、8月20日より開催される全国自治体職員サッカー大会を前に、練習にはげんでいる。7月18日、藤枝市役所にて、中西部サッカー協会、藤枝市サッカー協会、藤枝市役所サッカー部の合同役員会が開かれ、日本リーグ参加に当たり資金面の問題点を話合い、解決の方向で進んだ。席上、市役所側より第17回日本リーグ前期スケジュールが発表され、地元関係の7試合の運営を協議し、中西部サッカー協会、藤枝市サッカー協会の全面的支援が決定された。

また、資金調達については、当面藤枝市役所全職員による資金援助により活動していくことの報告がされたが、両協会とも、今後支援体制を強化し後援する事も話合われた。

最後に、地元関係の7試合については、両協会で全面協力体制を作り、前売券（中学生以上一枚400円）の販売と、当日の運営を行なっていく事で役員会を終了した。

今秋、少年団部中学生部、高校生部、社会人部で詳細が決定されると思いますので、是非ご協力をお願い申し上げます。

がんばれ!!「藤枝市役所サッカー部」

第17回日本リーグ2部スケジュール

節	月	日	曜	開始	対戦相手	会場
1	9月25日	日	14:30	富士通	高槻市	
2	9月30日	日	14:30	ＦＣ	藤枝市民	
3	10月23	日	10:00	東芝テクニカム	府中	
4	10月30	日	14:00	ＮＴＴ関東	藤枝市民	
5	10月22	日	14:00	甲府クラブ	新小	
6	10月30	土	14:30	コマツ石川	藤枝市民	
7	11月20日	日	14:30	東芝	藤枝市民	
8	11月27日	日	14:30	富士通	藤枝市民	
9	12月11日	日	14:30	ＦＣ	新	
10	12月18日	日	14:30	東芝テクニカム	藤枝市民	
11	1月10	日	12:30	ＮＴＴ関東	ＹＳ	
12	1月22日	日	14:00	甲府クラブ	藤枝市民	
13	1月29日	日	14:00	コマツ石川	四日市中央工業	
14	2月5日	日	14:00	東芝	浦和	

ご声援ありがとうございます
悲願の日本リーグ入り

藤枝市長　飯塚正二

このたび、当市役所チームが「サッカーのまち」を全国的に自負する藤枝市民の悲願であります日本リーグ二部入りという素晴らしい快挙を見事果たしてくれました。

サッカーマンとなる私も夢見る日本リーグ入り、本当にうれしいことです。

もちろん選手はプロではありません。市役所の職員として日中は市民福祉の向上のため、各職場に勤務し、退庁後の限られた時間を効果的に使って練習を積んできました。

専用グラウンドはありませんが、その代り市内の小中学校や高等学校、一般企業が強力に協力してくれますので選手たちは心配なく練習に励むことができます。本当にありがたいことです。

これまで全国の自治体職員大会で優勝すること九回、東海リーグに所属して八年。日本リーグ入りにチャレンジすること三度目にして本年その念願を射止めました。もちろん自治体では全国初の快挙であります。

私は公式戦には努めて応援に出向くことにしています。サッカーに一生懸命、青春をぶっつけている選手諸君に声援を送るためです。

今後も選手たちは全員が一丸となって「サッカーのまち」藤枝の名誉と期待をかけて、思う存分全国を舞台にかけて暴れまくってくれるものと期待しています。

いま市役所でも全職員を対象とした後援会づくりが急ピッチで進められています。会員的負担から少しでも選手を解放してあげようとの趣旨だが、誠に心強く思っています。

どうか、サッカーファンの皆さんをはじめ、広く市民の皆さんの物心両面にわたるあたたかなご支援をお願いしたいと思っています。

今回の日本リーグ二部入りが、藤枝のサッカー復活に向けての起爆剤として、さらにまちの活性化にも一役買ってくれるものと大きな期待を寄せています。

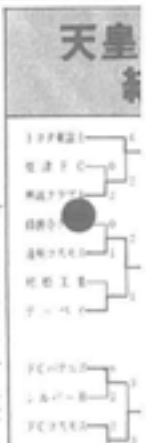
藤枝市役所
清水監督の談話

九月十五日の開幕戦に向けて最後の調整に入っています。対戦するチーム、日程も全て決まり、格上のチームに胸を借りるつもりで、練習に精進しています。七月九日・十日と東京に遠征し、三菱重工・東京学芸大・朝鮮大と戦しいスケジュールの中で練習試合を行なって来ました。結果は全て一点差敗けでしたが体を張って頑張るひと、スピードがある相手に対する対応、ゾーンディフェンス等、若い選手達が身をもって体験してくれた、個々の反省、チームの反省など厳しくチェックしこれを一つの助みとして九月のリーグ開幕に結びつけたいと思っている。市役所に入って二年目の田中・小西・飯田には特に若さを前面に出して頑張ってほしい、成長著しいDFの宇野にも期待している。また、若い力だけではチームは育たないし、ベテランの浅羽・山内宣・岡村・湊下にはもうひとふんばりを期待しています。

西日本OB大会
9月18日に藤枝で開催

☆西日本OBサッカー大会が九月十八日（日）藤枝市民グラウンドで開催、四十才以上、五十才以上に分れて行う。参加チームは藤枝市フットボールクラブ他十チーム、なお六十才老チームと女子チームとの試合も行なわれる。前夜祭が藤枝エミナースで九月十七日夜七時より行なわれる。

天皇杯



「少年指導で大切なこと」
中西サッカーコーチングスクールから

（中西部サッカーコーチングスクールより）

○サッカーは管理スポーツではなく、経験と力関係からのいうプレーヤー主体のスポーツであり、ことばは思考を広げ、深めることであり、指導者がともに学ぶことである。

試合後に勝てば自分の指導力を誇り、負ければ子どもの責任にすることは、信頼を失うことである。

○二つめは指導者は恐しさがなければならない。恐しさとは、やさしさ、きびしさ、強さのバランスがとれていることである。このうちひとつでも欠けていれば、片手落ちのこわい指導者になる。

○三つめに場にあったあいさつをさせたい。ゲーム終了時に深々と頭を下げるチームがある。敗けたチームにとっては復興である。要するに集団ではできても、一人になったとき心のこもったあいさつができるかが問題である。型ととらえるこころなわった時、人間が形成される。

また指導者に教わった子どもは、サッカーを続けるかまたは、指導者になる。

フジパンカップ島田大会

六合東が見事優勝

第8回フジパンCUPジュニアサッカー島田地区大会が七月三日と十日に開かれ、六合東サッカースポーツ少年団が見事優勝した。

大会には島田地区のチームが参加、優勝した六合東は二回戦から登場し、島田第三を2対0、島田第一を3対2で下し決勝へ。決勝は島田第二と対戦し、後半に六合東の市川、加藤がそれぞれ得点、粘る島田第二を振り切った。

①六合東②島二③島四第一、島一

世界少年サッカー日本選抜選考会を見て

山田晃

世界少年サッカー大会の日本代表選手選考会を7月23、24日東大検見川運動場にて行われました。選考会には全国から十三才以下の選手41名（小六4名、中一37名）が集まりました。県内の選手は清水から4名ヤマハSC1名藤枝からは吉野友三、石川有一、山田暢久、小山淳の4名が参加しました。日本代表選手は8月8日に16名を発表する予定になっております。選考会の内容は4チームに分けリーグ戦方式のゲームが主体で2日間行いました。小学校6年生の小山君も中一の中に混り良いプレーを見せてくれました。選考試合を見て感じたことはドリブルにスピードの変化があり相手を抜く力、シュート力（得点能力が高い）ディフェンス面では1対1に体を入れ相手に負けない等個性を持った選手が目立ちました。スプレーをしながら周囲が見え到察力に優れている選手が必要と感じました。藤枝の選手は人に負けない気力、ドリブルのスピードの変化、1対1の局面でのディフェンスの強さ等がもう少し欲しいと思います。昨年の世界大会には太田淳（藤中）、高橋卓二（大洲中）の二人が参加しております。今回の選手も胸に日の丸をつけるチャンスはあります。人に負けない気力、体力そして基本技術をしっかりとつけて、自分の目標を大きく持ち毎日のトレーニングにはげんで下さい。指導者はこれからのコーチの方も厳しくサッカーに負けないように少年に希望をあたえて下さい。

SBSカップサッカーメンバー決定

SBSカップサッカー藤枝大会が十一日午後二時から藤枝市民グラウンドで開かれるが、このほどそのメンバーが発表された。

メンバーは藤勢十八人で、中西部からは藤枝東高の山本洋キャプテンら四人が選ばれた。大会は第一試合、全日本J対大韓高校（韓国）、第二試合が静岡県高校選抜対セレソンバラナ（ブラジル）となっている。

▽五十川誠久（焼津南S少年団－焼津中☆）▽福島博行（岡部少年団－岡部中）▽山本洋（藤小年団－藤中）▽井川剛（大焼津西少年団－東益一中）

島田市内小学校リーグ

6年生	六合東A	6勝1分0敗	勝ち	13	5年生	島四第1	6勝0分1敗	勝ち	12
	島四第1	5勝2分0敗	勝ち	12		島三小A	4勝1分2敗	勝ち	9
	島三小	4勝2分1敗	勝ち	10		島一小	3勝1分3敗	勝ち	7
	島一小	4勝1分1敗	勝ち	9		大八木小	3勝0分4敗	勝ち	6
	島一小	4勝0分2敗	勝ち	8		六合東小	3勝0分4敗	勝ち	6
	大津小	2勝1分3敗	勝ち	5		神座小	1勝1分4敗	勝ち	3
	神座小	2勝1分3敗	勝ち	5		六合東小	1勝1分4敗	勝ち	3
	六合小	2勝1分3敗	勝ち	5		島四第2	0勝1分5敗	勝ち	1
	島四第2	1勝0分6敗	勝ち	3					
	島五十	1勝0分6敗	勝ち	3					
	六合東B	0勝1分6敗	勝ち	1					
	島一小	0勝0分6敗	勝ち	0					
4年生	島四第1	7勝0分0敗	勝ち	14	3年生	六合小B	5勝0分0敗	勝ち	10
	島三小B	6勝1分1敗	勝ち	13		六合小A	4勝0分1敗	勝ち	8
	六合東小	5勝2分0敗	勝ち	12		神座小	4勝0分2敗	勝ち	8
	六合小B	3勝4分1敗	勝ち	10		島二小	3勝1分2敗	勝ち	7
	島二小A	4勝2分2敗	勝ち	10		島四第1	3勝2分2敗	勝ち	6
	六合小A	3勝1分4敗	勝ち	7		六合東小	3勝2分2敗	勝ち	6
	島一小	2勝2分4敗	勝ち	6		島一小	2勝1分4敗	勝ち	5
	大津小	2勝2分4敗	勝ち	6		島四第2	2勝1分4敗	勝ち	5
	島四第2	1勝0分7敗	勝ち	2		島三小	1勝0分4敗	勝ち	3
	神座小	1勝0分7敗	勝ち	2		大津小	0勝0分4敗	勝ち	0
	島三小A	0勝0分8敗	勝ち	0					

高校トレセンの目的

吉田高校　鎌田昌治

個人として総合力の高さを持つ選手に対してさらに厳しいゲーム経験、新たな機会を提供し、その選手の能力レベルをひろげ、スケールアップさせていくタイプと、その時点では未成熟な面を持っていたとしても、ある特別な能力に際出したものを持つ選手に対してその武器にみがきをかけ、スペシャリストとしての自信を植えつけさせていくタイプとがある。ユースレベル（中3～高3）の試合で選手の将来性を見極めるには、やはり前記の2点に照準を合わせて選手の資質を点検することが重要である。

以上のことから、今回はプレーの基盤となる個人スキル（技術×戦術）を取りあげることにする。

プレー成立の3要因――ゲームにおける選手のあるひとつのプレーは、次にあげる3要因に基づくプロセスによってなされている。

(1)何をすべきか……予測
(2)どのプレーをもって行なうか……判断
(3)どのように決定したプレーを行なうか……実行

まず、何をすべきかという予測については(1)攻撃か守備か。(2)ボールを自分が持っているか、味方が持っているか、相手が持っているか。(3)自分のいる地域、ボールの位置との関係。(4)自分のいる地域周辺の相手と味方、スペースの関係。(5)ゲームの流れ、時間帯、スコア、グランドコンディション等。以上の要素を基にして、選手はプレーの意図をたてるであろう。

プレーの予測、意図といっても、意に先々を読んでプレーをすることにはかならない。

次にプレーの判断については、前述した技術の使い方にかかわるところである。また、ボールのないときの戦術の理解が特に重要である。一般的に選手のアイディア、イマジネーションについて言及される重要な要因が、この選手決定の判断の部分にある。

最後のプレーの実行のところで大切なことは、いかに負けないアイデアなり、ひらめきを持ってプレーをしたとしても、技術の使い方、技術そのものが正確でないとしたら、そのプレーはゲームでは生かされないという大切な部分である。これらプレー成立の3要因、予測―判断―実行のプロセスを選手は常に頭に入れ、自分のプレーの良いプレー、悪いプレーの分析を行なうことが大切である。

個人スキルは特に、守備の面において徹底強調されるべきである。ある意味では、攻撃は個人特有のひらめき、アイデア、技術の使い方、個人的な武器といった点にゆだねられる面も多いと言える。

選手はこれから攻守の個人スキルのどの面がおろそかになっているかを常に自己診断するように心掛けて欲しいものである。

サッカーと私 ①

山本直平氏（67）

◇生年月日と現住所を教えてください。

大正十年二月六日生れで、現在は藤枝市本町6－8に住んでいます。

◇経歴を教えて下さい。

○昭和8年　志太中学入学
○同12年　県大会優勝
○同22年　第2回全国国体にGKとして出場。一回戦、ボール大阪に2対1で勝利。二回戦、早稲田WMWに0対3で敗退。
○同38年　藤枝スポーツ少年団の基礎作る。
○同43年　県体協40周年で表彰を受ける。
○同50年　県スポーツ少年団育成協議会より功労賞受賞
○同52年　藤枝市体協より功労表彰を受ける。
○同58年　藤枝鈴林FCの監督に就任
○同62年　藤枝鈴林FCのジュニアクラス結成。

本年まで サッカー歴55年。

◇サッカーを始めたきっかけは…。

昭和の初めにどの学校でもデッドボールという遊びが流んでした。この遊びでボールをキャッチすることを覚え、志太中蹴球部（サッカー部）に入部した時もキャッチが認められゴールキーパーに優約されたんです。私のサッカーはボールを蹴るよりつかむと、投げることから始まったんです。

◇その当時活躍していた選手は

当時はベルリンオリンピックの選手が有名で笹野清次、松永行（志太中OB）の浜松の加藤兄弟が上げられます。

◇東内で初めてサッカー少年団を作られたそうですが…。

昭和38年1月、子供のボール蹴り遊びを見ていて、この子たちは指導すれば上達が早く立派な選手が生れると思指導することを決めたんです。当時の5・6年に呼び掛けスタートしました。最初は毎週日曜日に練習を行いました。その際グラウンド確保等などPTA、学校関係者の皆様に大変お世話になったのです。

◇少年団結成当時の様子を聞かせて下さい

当時、サッカーという地病の活動をしているのは藤枝だけと聞いていました。そんな時、東原小学校でサッカーを始めたことを聞き、早速連絡しました。試合結果は1勝1敗でした。そのころ、西益津小より石川、福原、山口の三君が入団。石川、福原はヤマハ発動機が日本リーグ入りした立役者でした。5年生には鵜井敏郎君（現・学芸大助教授）大畑君（元ヤンマー選手）橋井君（日立・元全日本代表）加藤君（東原教員）内藤洋介君鎌田昌治君などの活躍した選手の顔が見られました。

◇最後に思い出に残る試合を聞かせて下さい。

少年団2期生、鵜井キャプテンの時、決勝戦で西益津と対戦した試合です。両者一進一退の好ゲームとなり、双方とも譲んこになりました。今では考えられませんが三度の延長戦を行い、それでも結著が付かず、両者力尽き見兼ねて両者優勝としました。この試合が今でも忘れることが出来ません。それから、少年団の皆さん、指導者の皆さんこれからもがんばって下さい。

ふれあいサッカー 21日に藤枝市民Gで開催

中西部サッカー協会と藤枝青年会議所の主催する「ふれあいサッカーニバル」が八月二十一日に藤枝市民グラウンドで開かれる。

今年は中西部サッカー協会が企画・運営面で柱となり、実行委員会で協議を重ねた結果次のとおりとなった。

少年団の部―中西部の五チーム一団のキャプテンを4チームに分けて二試合行い、交流を深める。

中学生の部―浜松トレセン対中西部トレーニングセンター

高校生の部―静岡学園チーム対中西部選抜チーム

社会人の部―県リーグ選抜チーム対中西部1部リーグ選抜チーム

「二十一日には、ご家族お誘いあわせのうえ藤枝市民グラウンドへお越し下さい」と大会主催者では呼びかけている。

8月の予定

少年団

- 8月8日(月)7日(月)
- 金谷グリーンカップ
- 8月11日(木)
- 第2回ワンパンカップサッカー大会、藤枝、島田地区代表（藤枝市民G）
- 8月13日(土)14日(日)
- 第16回藤枝JC杯少年少女全国親善招待少年サッカー大会（藤枝市民G）
- 8月21日(日)～28日(日)
- 第2回東サッカー大会（東水市）
- 8月27日(土)・8月28日　第14回14回さわやか杯少年サッカー大会
- 8月31日(水)
- ふれあいサッカーニバル'88（藤枝市民G）

中学校

中部サッカースクール、浜松トレセン
中西部トレセン招待試合　中1、中2の生徒対象

- 8月4日(木)　藤枝中G
- 8月7日(日)　西益津中G　藤枝中G
- 8月8日(月)　藤枝中G
- 8月8日～8月10日　中部東部総体　藤枝市民G
- 8月11日(木)
- 浜松トレセン、中西トレセン　藤枝市民G 10時キックオフ
- 8月14日(日)
- 興国高校　対日産サッカースクール
- 8月21日(日)
- サッカーカーニバル
- 浜松トレセン　藤枝市民G　10時キックオフ

高校

- 8月6日(土)7日(日)
- 長地杯トーナメント（藤枝市民G他）
- 8月11日(木)　SBSカップ藤枝大会
- 14：00　大韓高校（韓国）ャャ全日本J
- 15：50　セレソンバラナ（ブラジル）ャャ静岡県選抜
- 8月28日(日)
- 全国高校サッカー選手権静岡県大会
- 組合せ決定

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■

▽大光自動車㈱（三口）
▽㈱井川商店（三口）
▽ホテルシルビア（三口）
▽ヤマミ水産㈱（三口）
▽㈱サンショップ（二口）
▽㈱中央防犯
▽石原水産㈱
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽大武スポーツ㈱藤枝本店
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱豊徳建設
▽㈱ぽたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽建建機材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック藤
▽静穂書房㈱
▽東海オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダプリモ藤井
▽見崎設備
▽みのる屋呉服店
▽村松工業㈱
▽レストランサンパーク
▽㈱上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽A.B.C藤枝店
▽前田肉店
▽志太交通㈱
▽㈱藤枝事務器商会
▽飲崎産商㈱
▽曽根清商店
▽仲山鉄工㈱
▽小澤商店
▽増田自動車工業
▽御前崎観光ホテル
▽フォトスタジオ結姫荒
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽富士コカ・コーラボトリング㈱
▽一品料理　磯乃屋
▽㈱共栄社
▽初亀醸造㈱
▽㈱藤枝エイシャク
▽東海ガス㈱
▽松本印刷㈱
▽木村屋旅館
▽造野屋旅館
▽㈱永幸
▽カットサロン・シグ

■個人■

▽山口森三
▽中山春尚
▽松永　勝
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽青木鑑夫
▽増田三司
▽上野孝雄
▽竹中正則
▽山本輝雄
▽石上嗣二
▽加藤金吾
▽小林国男
▽和田三司
▽上野孝雄
▽竹中正則
▽山本輝雄
▽斉藤寛之
▽鈴木喜好
▽柴田二郎
▽滝本義三郎
▽深津敏夫
▽丸山慎也
▽斉藤啓晴
▽本間信弥
▽植田永二
▽松永信夫
▽渡辺恭男
▽原崎正彦
▽塩澤次郎

購入は下記スポーツ店へ

藤枝	大武スポーツ　清水屋スポーツ　ウスイスポーツ　長立印刷
焼津	スウィングスポーツ　ケンスポーツ
島田	岡おおさわ
藤枝	椎南スポーツ

特別賛助・購読会員募集のお願い

中西部ヤングサッカーニュースの発行の趣旨にご理解を賜り、地域のサッカー振興のためのご協力頂ける法人・個人の特別賛助会員を募集させて頂いております。会員にお申込みいただいた方のお名前を掲載させていただくほか、毎月ヤングサッカーニュースを2部送付させて頂きます。

＊特別賛助会員
一口　一万円

＊定期購読会員
年間二〇〇〇円

●現金または切手
●送料共

中西部 ヤングサッカーニュース 1988 9

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

ふれあいサッカー'88開催

中西部の優秀選手たち

サッカーを通して青少年の健全なるびに地域の活性化を図ることを目的とした中西部サッカー協会・河藤枝青年会議所共催の「ふれあいサッカーカーニバル88」が八月二十一日に藤枝市民グラウンドで開催された。

前日までの小雨もようから一転、天気に恵まれ、カーニバルが開催された。第二回目の今年は、サッカー協会のイベントを中心に行なわれた。小・中・高・社会人部とともに今日のために練習を重ね、真剣な中にも和気あいあいとした雰囲気だった。

大会の開会式で藤枝市の牧田一幸君が力強い選手宣誓を行い、いよいよ試合の開始。

少年の部は、中西部地域の少年団の単位団五十五チームのキャプテンを結集した四チームによるチームリーグ対抗戦。

中学生の部は、多年にわたり、五月閉鎖にある浜松サッカートレーニングセンター中学生選抜チームに対し、昭和五十九年に創設され、第五年次の中西部サッカートレーニングセンター中学生部の選抜チームとの対戦。

高校部は春の県高校サッカー新人戦大会優勝の輝かしい戦績と伝統を誇る静岡学園高校と中西部トレセン高校部の選抜チームとの対戦。

社会人部は県社会人リーグの中西部所属チームの選抜チームに対して中西部社会人サッカーの基盤である中西部社会人サッカーリーグの選抜チームとの対戦。

五試合とも熱の入ったすばらしい試合を行い、快晴の中で快い汗を流していた。閉会式では優秀選手の表彰も行われた。試合結果は次のとおり。

優秀選手

少年団の部

小山　厚（藤枝）　小沢　順孝（大洲）
金・木　心（小川）　鈴木　勝大（白鷺）

中学生の部

松下　仁（東益津中）　牧野　安正（浜松東陽中）

高校生の部

増野　健次（静岡学園高）　古屋敷新司（志田高）

社会人の部

八木　達人（ヒューストン）　杉山　和浩（藤北クラブ）

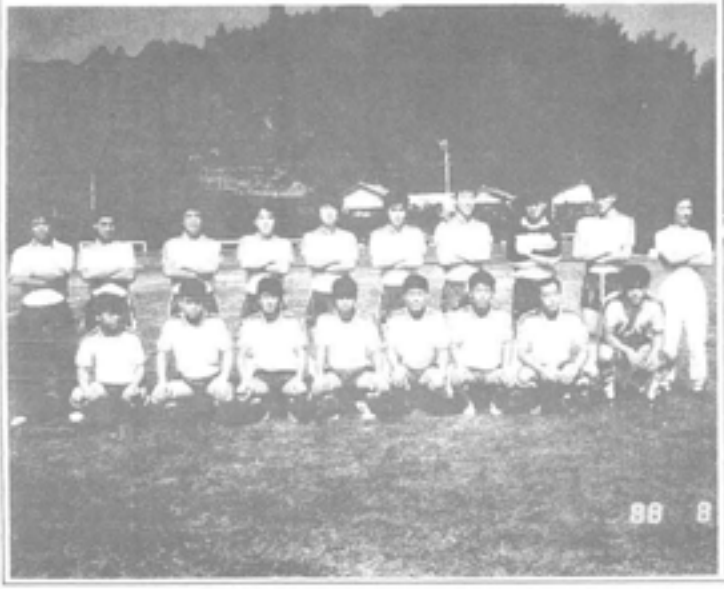
◇少年団の部
第1試合
A　2－0　B

第2試合
C　2－0　D

◇中学生の部
中西部トレセン　2－1　浜松トレセン

◇高校生の部
静　岡　学　園　8－2　中西部選抜

◇社会人の部
中西部リーグ選抜　6－2　県リーグ選抜



第2回世界少年サッカー大会
日本代表が優勝

藤枝中の山田 青島北中の石川が活躍

第二回世界少年サッカー大会で中西部トレセン代表の山田暢久（藤枝中）、石川有一（青島北中）の二名が日本代表のレギュラーとして出場し、見事優勝を飾った。

日本全国より選抜された四十二名が七月二十二日、八月七日に東京で選考会を行い十三才以下の日本代表十六名に選ばれた。

大会は世界八ヶ国代表のトーナメント方式で行なわれた。

一回戦
日本 3－0 サンディエゴ（米国）

準決勝
日本 3－1 メルボルン（オーストラリア）

決勝
日本 2－0 釜山（韓国）

で見事、初優勝を飾った。

第一回大会は昨年八月に行なわれメキシコが優勝した。

日本代表として昨年は高橋卓主（大洲中）、太田渉（藤枝中）が出場した。

決勝戦は八月二十八日、東京西ヶ丘サッカー場に満員の観衆を集めて行なわれた。

前半日本代表は優勝を意識して動きが悪く、韓国が攻めた。日本代表はスイーパー石川（青島北中）ストッパー山田（藤中）の読みのある守備で攻撃の芽をつんだ。

後半、出場した伊藤（東海一中）が十分、十五分に2点を入れた。特に守備でもっとも安定感のあった山田は釜山CFにほとんどシュートを打たせなかった。相手パスをインターセプトし攻撃に参加する状況判断は見事であった。スイーパー石川は守備の要として声を出し的確なカバーリングで再三ピンチを救った。

中西トレセン代表として二人は全試合に出場し、失点わずか1という活躍であった。

この大会は世界各国のサッカー少年を我が国に招待し、スポーツを通じた交流と親善をはかり、合わせて少年達の健全育成に寄与することを目的として行なわれ(国際文化協会、日本サッカー協会が共催)で行っている。藤枝を中心とした中西トレセンが世界各国とサッカーの交流ができるようになったら二十一世紀に向けて国際化社会の仲間入りができると考える。島国日本の井の中にいても発展はない。世界のスポーツであるサッカーを通じて交流していきたい。

山田暢久（塩釜少年団→藤枝中学）

◇本大会での感想
外国チームの当りが強いが当り負けはしなかったと思う。韓国、米国チームの闘争心を見習いたい。

◇将来の夢
日本代表選手になって、国際大会で活躍できればと思います。

◇今後の課題
もっと技術を身に付けて、スピードのあるプレーをすること。

◇得意なプレー
インターセプト・ドリブル

◇ポジション
ストッパー

山田有一（青島東少年団→青島北中学）

◇本大会での感想
アメリカとオーストラリアは個人技にすぐれ、韓国は当りが強かったです。優勝できたことはうれしいけど外国の友達がいっぱいできました。

◇将来の夢
プロの選手になること。

◇今後の課題
もっと走り込みをして足腰を強くすること。空中戦では誰にも負けない選手になりたい。

◇得意なプレー
1対1

◇ポジション
スイーパー

中西部トレセン 横浜遠征

中西部中央トレセン1期に参加していた中三19名に、夏の中体連大会で活躍した選手9名のみわせて28名で8月14日、横浜の日産サッカースクールへ遠征試合に行ってきた。

クラブジュニアの全国大会前ということで日産の他に古河電工のクラブチームも参加、充実したゲームを行なうことができた。

日産との試合、日産は技術、戦術でやや上回るものの、スピード、パワー、スタミナといった面で劣り、前半押されながらも増田（焼津中）の得点でリード、後半あきらかに動きのおちた日産陣内へ終始攻め込み決定的場面を再三はずし、逆に後半終了直前同点にされて終了。古河との試合は、日産はどう力はないがスピードがあり当たりも強いチームであったため前半やや手こずり相手にリードされて終了。後半、攻撃陣を変えて強みゲームの主導権をとって逆転に成功。この古河との後半のゲームがこの一日の中で最もよかった内容ではなかったと思う。

この遠征を通して中西部トレセンとして、基本技術の未熟さがまだまだであり、一対一の対戦動作の弱さも同時に課題として残った。これらを今後の大きな課題として取りくんでいかなければへ現状で終ってしまう。高校生との試合などをこれからどんどん取り入れて弱点克服をしていきたいと思う。

遠征結果は次の通り

中西1（1－0 0－1）1日産
中西2（0－1 2－0）1古河
中西 3－1 日産B

長池杯大会 藤枝北高優勝

中西部のサッカー競技活動は、大正13年に開校された志太中学校（初代校長 鈴木兵三郎、初代監督、熊谷孝）、現藤枝東高校の、「サッカーをもって校技となす」に始まる。以来、志太地域のサッカー競技は同校の教師・卒業生によって普及・指導され、今日の「サッカーのまち 藤枝」が築かれてきた。

昭和59年度、「サッカー競技の交流・振興・親睦」を目的として、藤枝東高校に在職し、サッカー部を指導した諸三郎、初代監督、熊谷孝）先生の現状勤務・指導されている高校サッカー部、ならびに、藤枝東高校の卒業生が現在勤務・指導している高校サッカー部が、その目的に呼応した相繋り、大正13年に開校された藤枝町千南原の地名に因んで「千南杯高校サッカートーナメント」が創設・開始された。

昭和62年度、藤枝東高校に昭和33年から53年まで在職して、サッカー部の監督として選手権4回、総体2回、国体2回の全国大会で八回優勝させ、黄金時代を築いた長池実先生のご逝去（昭和62年4月19日・55才）悼み、長池先生の「サッカー競技の指導に対する理念と実践と情熱」を讃え、長く継承するために、千南杯が長池杯に改称された。

大会は年毎に協会となり、その交流大会は、指導者、選手とともに、サッカー競技の振興・研修・親睦に著実な成果を収め、県下高校サッカーのレベルアップに大きな力となっている。

昭和63年度、県下高校登録102チーム中、参加校は21チーム（指導者は26名）である。

▽長池杯年次成績△
第1回 59年藤枝東高
第2回 60年藤枝東高
第3回 61年静岡工業高
第4回 62年東京高
第5回 63年藤枝北高

第13回さわやか杯大会

8/27(土)
8/28(日)
清水 1
岡部 2
浜名 3
沼津 4
富士宮 5
藤枝 6
大井川 7
浜松 8
磐田 9
島田 10
静岡 11
焼津 12
菊川 13
富士 14
掛川 15
東京 16
(1－0)
(2－0)
(2－0)
(1－1)
(0－1)
(2－0)
(1－0)
(1－0)
(2－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(2－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1－0)
(1

焼津市民スポーツ祭

〈少年の部、父親の部、母親の部〉

1. 役員
   - ○実行委員長　塩沢　章　有成協議会々長　5129－2561
   - ○　〃　副　〃　鈴木正和　5128－7551
   - ○（記録、報告）
   - ○会　計　石田五郎　5129－0634
2. 参加資格
   単位団で構成する単独チームとし、少年団は学年別（人員等、不足の時、下級生からの上級学年に出場できる。）母親は、その少年団員の母親及び○○で構成するチームとする。父親は父親サッカーリーグ規約による。
3. 試合方法
   前試合トーナメント戦とし、決しない場合はPK戦（決勝戦のみ10分延長戦）とする。交替選手については人数の制限は設けない。試合時間は40分（3年生、母親は30分）ゲームとする。
4. 試合日程

9月4日(日)（予備日9/11）	3年生の部	和田小	焼津東小
	4年生の部	大富小	小川小
10月2日(日)（予備日10/23）	5年生の部	焼津西小	東益津小
	6年生の部	豊田小	浜小
10月16日(日)（予備日10/23）	母親の部	黒石小	
10月9日(日)	父親の部	石津浜G	
10月30日(日)（予備日11/3）	各部決勝戦	石津浜G	（市民G）

フジパンカップ 高洲南Kが優勝

藤枝、島田支部代表決定戦は、8月11日、SBSカップ国際ジュニアサッカーの前座試合として、藤枝市民Gにて行なわれた。

藤枝一位の高洲南キッカーズと、島田一位の六合東の対戦は、好プレーの連続であったが、あいにくの雨天の悪コンディションの中、前後半40分すぎるも、得点出ず、延長に入った。おしゃれの高洲南キッカーズは、延長戦の前半から、ロングシュートを再々放つが、ゴールを割れず、延長後半に入った。後半開始一分、左ウイング曽根のドリブル突破からのセンタリングをゴール左から上った野田のシュートで、一点を上げ高洲南が、そのまま逃げ切った。

優勝した高洲南キッカーズチームは、9月3日(土)、4日(日)行なわれる静岡県大会への出場が決定した。

第2回清水カップ 全国少年草サッカー 大富が三位

男子二百十六チーム、女子十五チームが参加した第二回清水カップ全国少年草サッカー大会が開かれ、焼津の大富サッカースポーツ少年団が三位入賞した。また藤枝では高洲南キッカーズが十九位、大洲が二十一位となった。

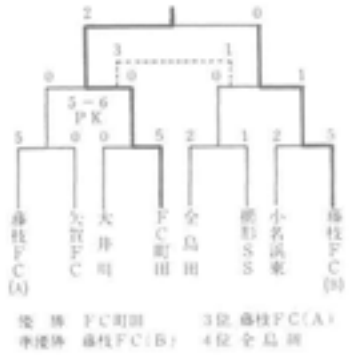
大会は古河市（茨城県）選抜の優勝で幕を閉じたが、優秀選手二十人を表彰。この中に大富の市野洋光君、増田敏君の二人が選ばれた。

第15回藤枝ＪＣ全国親善招待 少年サッカー大会
藤枝ＦＣ(Ｂ)が準優勝

第15回藤枝JC杯争奪全国親善招待少年サッカー大会が、全国11都県から16チームが参加し、行なわれた。第15回大会を記念し、市サッカー協会少年団部の主催のこの大会は、各地の強豪を集め、真の全国一をあらそう記念大会となった。

試合は、初日は4ブロックに分かれ、手選リーグを行ない各ブロックの上位3チームが2日目に上位トーナメントで優勝を争そった。その結果、決勝戦は、町田FCと、藤枝FCBチームが勝ち上り、手慣れの対戦となった。藤枝市少年サッカー教室で成長いちじるしい藤枝FCBチームの選手の個性あふれたプレーの中で、争そわれたが、町田FCの優勝となった。

（1-2位 グループトーナメント戦）



優勝　FC町田　　3位 藤枝FC(A)
準優勝　藤枝FC(B)　　4位 金谷

榛南リーグ中間結果 たんぽぽが首位

（前期榛南リーグ中間結果）

FCたんぽぽが首位に

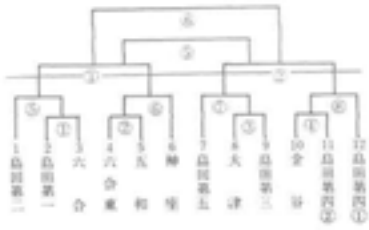
前期榛南リーグは九チームが参加し三分の二の試合を消化した。FCたんぽぽが四勝無敗の首位におり返した。次いで御前崎クラブが四勝一敗、ダイエットクラブと浜松トップバンムーブが共に三勝二敗で追っている。

FCたんぽぽは、新人の日体大田の吉添智宏選手を加え、得点力が大巾にアップした。吉添選手は得点能力に優れ、FCたんぽぽの全得点の半分以上にからんでいる。また、状況判断も良く、好パスを配球することができる。

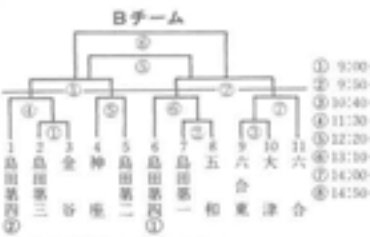
九月四日からリーグ戦を再会し、十一日、十五日、十八日で閉会となる予定。

島田ＪＣ杯

第17回島田ＪＣ杯争奪少年サッカー大会
会場・島田市民サッカー場　　Aチーム
63.9.11(日)・15日(祝)雨天決行



Bチーム



グリーンカップ大会 金谷Aが3位に

Aチーム
1位トーナメント
（4ブロック1位による）

優勝　麻機
準優勝　高部東
3位　金谷
4位　青葉

Bチーム
（16チームトーナメント）

優勝　三保二
準優勝　麻機
第3位　青葉
第4位　金谷

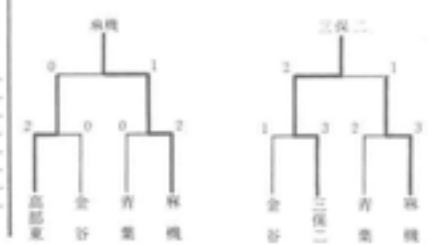
試合経過（決勝）

麻機の勝利への一丸となったチームプレーが、優勝の原因だったといえよう。

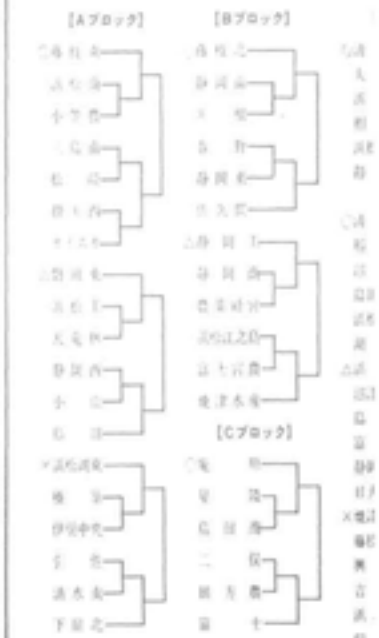
清水岩（高部東）の個人技と訓練されたグループ戦術は、いつ麻機のゴールを割ってもおかしくない試合だった。

再三再四麻機のゴールキーパー小林君のファインプレーが光った。

前半、麻機のシュートが決まると勢いは完全に麻機ペースになり、そのまま1対0で試合を決めた。



高校選手権県大



第18回全国自治体職員サッカー選手権大会

藤枝市　4－0　神戸市
藤枝市　6－0　高崎市
藤枝市　2－1　川越市
藤枝市　3－1　十和田市
藤枝市　0－2　秋田市

第13回ＪＳＬカップサッカー選手権大会

藤枝市役所0 [0－0 / 0－4] 4ケンマーダ

第4回静岡県女子サッカー

第3節　8月7日　焼津小川中グランド

藤枝時枝1 [1－0 / 0－1] 1静岡紅葉

得点者　鈴木二美子①藤枝　鈴木由紀子・紅

焼津クィーンズ1 [0－0 / 1－0] 0清水FCママ

得点者　月岡百合子①

第4節　9月4日　藤枝市民グランド

静岡県OBリーグ戦

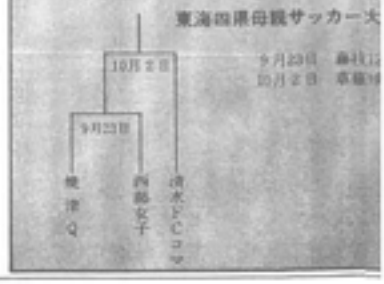
8月7日　石津浜

藤枝FC　6－0　沼津FC
焼津飛魚クラブ　3－0　富士市OB

8月28日藤枝

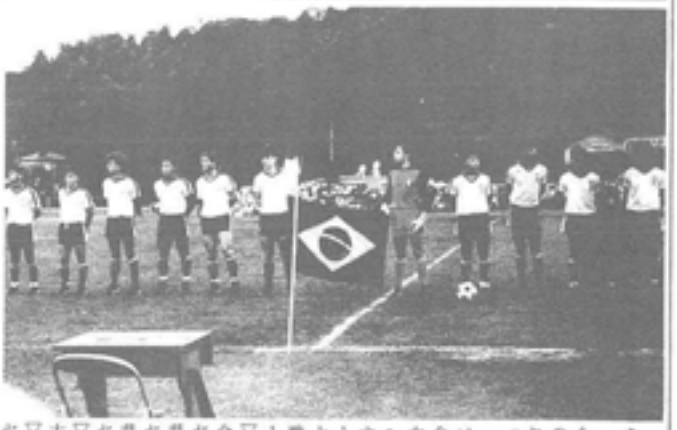
藤枝FC　2－1　焼津飛魚クラブ
（中西

東海四県母親サッカー大



SBS杯国際Jr.サッカー

県選抜2位藤東の3人が活躍



SBS杯国際ジュニアサッカー大会がセレソンパラナ（ブラジル）、大倫高（韓国）、全日本Jユース、県高校選抜の四チームが参加して行われ、県選抜が見事準優勝となった。

県選抜は予選リーグでセレソンパラナに敗れたものの、全日本Jユースと引き分け、大倫高校に3－0で勝ち決勝へ進出。決勝はセレソンパラナ。前半にセレソンパラナが1点、後半に県選抜が1点を上げ、決着は延長戦へ。延長戦の後半にセレソンパラナが1点を上げて試合を決めた。

▽予選リーグ

全日本J 0－0大倫高

セレソン 1－0県高校選抜

県高校選抜 1－1全日本J

セレソン 3－0大倫高

県高校選抜 3－0大倫高

セレソン 6－0全日本J

▽3位決定戦

大倫高 2－1全日本J

▽決勝戦

セレソン 2－1県高校選抜

サッカーと私 ②

増田晴雄氏（61）

昭和二年六月十四日、生粋の藤枝っ子として現在地の瀬戸川河畔藤枝二丁目に生まれた。

☆昭和二十年　志太中卒業
☆昭和二十三年　浜松工業専門学校（現静大工学部）卒業
☆昭和二十六年　志太サッカークラブのメンバー（RW）として広島国体に出場（第三位）、同二十七年日軽金の補強メンバーとして仙台国体に出場、以後静岡県教員蹴球団のメンバーとして通算九回出場、最後の東京及び熊本国体には監督兼選手として出場した。母校藤枝東高を強くし、本当にサッカーを心から愛する人達を多く育てたい、将来は県下の中心となるべき人材を育てたいと思ったことから指導を始めた。

当時県全体としては、志太地区、浜松市内、静岡、焼津、益津中、焼津中、浜松中部中、浜松付属中、城内中、東原中などが挙げられる。

指導者として第一にあげられるのは青木精逸先生。選手としては焼津の新村（藤枝東）、目軽金で、西益津の井沢兄弟、安藤兄弟、山田明、山口、桑原、藤枝の神戸、清水、磯井、金高、鈴木明、山本昇君（故）などが活躍していた。

当時、市内・志太・中部・県という形で試合があった。西益津中が抜群に強かったのでこれを倒すれば県下を制するというのも過言ではなかった。市内大会で勝つことができれば、あとの大会は第一シードされるので決勝戦まで西益津と当たらない結果となる。当面翌年度の大会から次年度のことを考えることになる。私の方針としては、次年度の有力候補選手を二人は必ず入れて翌年の備えとした。

私が西益津中でまだ部をもたない頃（昭和二十五年～二十八年）青木先生は藤枝中で早くから部をもっておられた。

三年目（昭和二十八年）に初めて県下大会が開かれたが、中部大会までは何とか勝てたが志太クラブの岩田規さんたちが絶大な応援に当ったので、私が必死になってやっても決勝戦で2－1という結果だった。この時「今に見ておれ」と私が部をもったら、このお返しは必ずする」と心に誓ったものだった。それでもそれが実現するまでには私が藤枝へきてから四年の歳月がかかった。青木先生の指導は全く熱心であり、当時としては、青木先生は偉大な指導者としては確かだった。

僕の後では、藤枝中を引きついでくれた武田先生が第一にあげられると思う。とにかく僕の残していった生徒たちで通算県下制覇五連続を果たしてくれたし、練習も熱心の一言につきる。

特に苦労に思ったことはなかったように思う。生徒たちも本当にサッカーの好きな連中の集まりであり、進学にも苦労しなかった。私も選手の進学校の選択についてはロを出さず生徒と父兄の選択学校へ進学させた。

教え子たちがサッカーの指導者として今もなお活躍しているのを見ると本当に楽しい。今も少年サッカーをやっている小林、渡辺の両君、磯井君などを見ると私の方針の間違っていなかったことを痛感する。

私が藤中にいた頃、初めて県下を制したのが四年目であり、それと共に東海大会、全国大会へと夢を馳せ、中学サッカーの発展を願ったものだったが、その夢を実現するには強いチームを築いて最低十年はかかると思った。そう考えると現状では一校の勢力年数が余りにも短かすぎることを痛感する。

私が夢に描いていたチームはディフェンスのはじまりをフォワードにおき、バックスのオーバーラップ攻撃によるいわゆる"スカートまくり戦法"ができるチームだった。

それから、現状を打開するには、第一に指導者層を充実させること。清水が現在成功しているのは、ここにあると思う。

第二に練習の方法。普段の練習は一日二時間で十分だ。そしてシーズンオフから次年の計画をしっかりと立てることが大切なことだと思う。

動きながら、走りながら試合の雰囲気をはっきりとつかめる選手、正確なパスの出来る選手を育てること。そして何よりもサッカーが好きな文武両道の生徒を仕込むことが肝要と思う。

特別賛助会員（順不同）

■出入・商店■

▽大光自動車㈱（三ロ）
▽㈱井川商店（三ロ）
▽ホテルシルビア（三ロ）
▽ヤマミ水産㈱（三ロ）
▽㈱サンショップ（二ロ）
▽㈱中央防犯
▽石原水産㈱
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽大沢スポーツ㈱藤枝本店
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱登松建設
▽㈱ばたしゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大塚建設
▽建設土木久川組
▽遠球商材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック藤
▽静穂倉庫㈱
▽東洋オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダプリモ焼津
▽見崎設備
▽みのる屋呉服店
▽村松工業㈱
▽レストランサンパーク
▽㈱上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽ABC藤枝店
▽前田秀店
▽志太交通㈱
▽㈱藤枝事務器商会
▽藤崎産商㈱
▽菅原清商店
▽仲山鉄工㈱
▽小澤商店
▽増田自動車工業
▽岡田時計光学センター
▽フォトスタジオ83相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こはやし
▽増田工業㈱
▽富士コカ・コーラボトリング㈱
▽一品料理　魚の屋
▽㈱共栄社
▽㈱亀醤造㈱
▽㈱藤枝エイシック
▽東海ガス㈱
▽松本印刷㈱
▽木村屋旅館
▽池野屋旅館
▽㈱永幸
▽カットサロン・シダ

■個人■

▽山口森三
▽中山春尚
▽菅原清商店
▽仲山鉄工㈱
▽小澤商店
▽増田自動車工業
▽岡田時計光学センター
▽青島武夫
▽若上誠二
▽加藤金吾
▽松永輝
▽小林国明
▽和田三司
▽上野孝雄
▽竹中正剛
▽山本輝雄
▽斉藤東之
▽鈴木喜好
▽栄田二郎
▽池本義三郎
▽深津敏夫
▽大山勝也
▽斉藤信晴
▽本間良弥
▽藤田水二
▽松永信夫
▽渡辺恵男
▽原崎正彦
▽塩澤伏郎
▽岩田規

9月の予定

少年団

・9月3日(土)4日(日)
第2回フジパンカップ静岡県予選会　（草薙G）
・9月11日・18日・25日
（藤枝市）
第20回藤枝市少年サッカーリーグ戦
（藤枝西）
（島田市）
第37回島田JC杯争奪少年サッカー大会（島田市・金谷町）
島田市内リーグ
（焼津市）

中学校

・9月25日(日)
県中西部地区予選1年生大会
決勝トーナメント（10月2日(日)準決・決勝）
会場　青中・市民グラウンド・高洲中

高校

・9月11日(日)～
高校選手権・静岡県大会　1次トーナメント

社会人

・9月4日(日)
県リーグ（1部・2部）後期開幕
・9月15日(日)
日本リーグ　2部　開幕
・9月18日(日)
日本リーグ　2部　藤枝市役所－日立　（藤枝市民グラウンド）

購入は下記スポーツ店へ

藤枝　大沢スポーツ　清水屋スポーツ　ウスイスポーツ　共立印刷
焼津　スウィングスポーツ　ケンスポーツ
島田　㈱おおさわ
榛原　榛南スポーツ

特別賛助・購読会員募集のお願い

中西部ヤングサッカーニュースの発行の趣旨にご賛同を賜り、地域のサッカー振興のためご協力頂ける法人・個人の特別賛助会員を募集致しております。会員にお申込みいただいた方のお名前を紙面にて掲載させていただくほか、毎月ヤングサッカーニュースを2部送付させて頂きます。

★特別賛助会員
一口　一万円
★ご新聞代の代行
年間一万二千円
★購読会員
年間一万二千円
★完全または切手
★高校名

中西部 ヤングサッカーニュース 1988 10

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

藤東の3人が国体へ

京都国体が十月十五日から二十日まで開かれるが、この国体で中西部からサッカー少年の部に藤枝東高の山本洋、稲垣博行、井川剛志の三選手が出場。監督として吉田高校の鎌田昌治監督も出場する。

静岡選抜は昨年の岡大会で優勝しており、今年も大いに期待できるところ。今回は国体で活躍が期待される藤枝東高の三選手にそれぞれ意気込みを聞いてみた。

○山本洋（浄中出身）身長173㎝、体重65㎏。
①サッカーを始めた時期・動機＝小学校二年生のとき少年団のコーチに勧められて。
②将来の夢＝日本のトップレベルの中で試合をすること。
③得意なプレー＝DFラインのカバーリング、攻撃参加。
④東海大会での感想＝勝たなければいけないというプレッシャーがあり自分のプレーができなかった。
⑤今後の課題＝DFラインのカバーと1対1の強化。
⑥本大会への抱負＝V2を狙うことをそして自分の持っているものを全て出したい。

○井川剛志（東海一中出身）身長167㎝、体重61㎏。
①小学校二年生のとき、先輩に誘われて。
②まずは大学で活躍し、日本代表となること。
③ゴール前のプレーとミドルシュート。
④三重とのゲームはPKになり、やっと勝ったという感じ。
⑤シュートの決定力と中盤がカギ。
⑥自分を思いきりアピールし優勝したい。

○稲垣博行（岡部中出身）身長176㎝、体重69㎏。
①小学校四年生からで、小学校二年生のときに少年団の練習を見て。
②日本リーグなどでサッカーを続けたい。ヨーロッパにサッカー留学できれば最高。
③ヘディング、オーバーラップ。
④三位決定戦では得点できたけれどキーパーの中原がケガで動けなかったので苦しかった。
⑤集中力をつけること。
⑥自分の持っているものを全て出し、一戦一戦大事にしていき優勝すること。

山本　洋君

鎌田監督

稲垣博行君

井川剛志君

藤北まさかの敗退

全国大会静岡県代表校

☆全国大会優勝
○全国大会準優勝

全国高校サッカー選手権大会静岡県代表校

第29回	（昭和26年）	静岡城内	
第34回	（昭和31年）	藤枝東	
第35回	（昭和32年）	〃	
第36回	（昭和33年）	〃	
第37回	（昭和34年）	〃	
第38回	（昭和35年）	〃	
第39回	（昭和36年）	〃	
第40回	（昭和37年）	〃	
第41回	（昭和38年）	〃	☆
第42回	（昭和39年）	〃	☆
第43回	（昭和40年）	〃	
第44回	（昭和41年）	藤枝北	
昭和41年度	（昭和42年）	☆藤枝東	
昭和42年度	（昭和43年）	出場校なし	
昭和43年度	（昭和44年）	藤枝東	
昭和44年度	（昭和45年）	藤枝東 清水商業	
昭和45年度	（昭和46年）	☆藤枝東 ○浜名	
昭和46年度	（昭和47年）	清水商業	
昭和47年度	（昭和48年）		
昭和48年度	（昭和49年）		
昭和49年度	（昭和50年）		
昭和50年度	（昭和51年）		
昭和51年度	（昭和52年）		
昭和52年度	（昭和53年）		
昭和53年度	（昭和54年）		
昭和54年度	（昭和55年）		
昭和55年度	（昭和56年）		
昭和56年度	（昭和57年）		
昭和57年度	（昭和58年）		
昭和58年度	（昭和59年）		
昭和59年度	（昭和60年）		
昭和60年度	（昭和61年）		
昭和61年度	（昭和62年）		
昭和62年度	（昭和63年）		
		○藤枝東	
		○〃	
		○清水東	
		○静岡工業	
		○静岡学園	
		浜名	
		静岡学園	
		藤枝東	
		○清水東	
		清水商業	
		☆清水東	
		○清水東	
		藤枝東	
		☆清水商業	
		☆東海大一	
		○東海大一	

全国大会年次優勝校

全国高校選手権大会年次優勝校

第1回	（大正7年）	御影師範	
第2回	（大正8年）	〃	
第3回	（大正9年）	〃	
第4回	（大正10年）	〃	
第5回	（大正11年）	〃	
第6回	（大正12年）	〃	
第7回	（大正13年）	〃	
第8回	（大正14年）	神戸一中	
第9回	（大正15年）	御影師範	
第10回	（昭和3年）	平塚農実	
第11回	（昭和4年）	御影師範	
第12回	（昭和5年）	神戸一中	
第13回	（昭和6年）	御影師範	
第14回	（昭和7年）	〃	
第15回	（昭和8年）	神戸一中	
第16回	（昭和9年）	岐阜師範	
第17回	（昭和10年）	神戸一中	
第18回	（昭和11年）	広島一中	
第19回	（昭和12年）	埼玉師範	
第20回	（昭和13年）	神戸一中	
第21回	（昭和14年）	広島一中	
第22回	（昭和15年）	普成中学	
第23、24、25回戦争のため中止			
第26回	（昭和23年）	広島高師附中	
第27回	（昭和24年）	鯉城高	
第28回	（昭和25年）	浦田高	
第29回	（昭和26年）	宇都宮高	
第30回	（昭和27年）	浦和高	
第31回	（昭和28年）	静道高	
第32回	（昭和29年）	岸和田高 東千田高	
第33回	（昭和30年）	浦和高	
第34回	（昭和31年）	〃	
第35回	（昭和32年）	浦和西高	
第36回	（昭和33年）	秋田商高	
第37回	（昭和34年）	山城高	
第38回	（昭和35年）	浦和市立高	
第39回	（昭和36年）	〃	
第40回	（昭和37年）	静道高	
第41回	（昭和38年）	藤枝東高	
第42回	（昭和39年）	〃	
第43回	（昭和40年）	浦和市立高	
第44回	（昭和41年）	明星高	
41年度	（昭和42年）	習志野高 藤枝東高 秋田商高	
42年度	（昭和43年）	山陽高 浜北高	
43年度	（昭和44年）	初芝高	
44年度	（昭和45年）	浦和西南校	
45年度	（昭和46年）	藤枝東高	
46年度	（昭和47年）	習志野高	
47年度	（昭和48年）	浦和市立高	
48年度	（昭和49年）	北陽高	
49年度	（昭和50年）	帝京高	
50年度	（昭和51年）	浦和市南高	
51年度	（昭和52年）	〃	
52年度	（昭和53年）	帝京高	
53年度	（昭和54年）	古河一高	
54年度	（昭和55年）	帝京高	
55年度	（昭和56年）	古河一高	
56年度	（昭和57年）	武南高	
57年度	（昭和58年）	清水東高	
58年度	（昭和59年）	帝京高	
59年度	（昭和60年）	帝京高 島原高	
60年度	（昭和61年）	清水商業一	
61年度	（昭和62年）	東海大一	
62年度	（昭和63年）	国見高	

藤枝市役所善戦中

日本リーグ二部
藤枝市役所1、2戦とも惜敗
第1節
富士通2（1－0、1－1）1藤枝市役所
▽得点者（富）呂（補＝鬼塚山）岩渕、遠山、大木、（藤）田中（なし）
第2節
日立2（0－0、2－1）1藤枝市役所
▽得点者（日）清川（補＝鬼塚）清川（宮本）（藤）大塚（岡島）

第17回日本リーグ2部スケジュール

節	月日	曜	開始	対戦相手	会場
1	9月15日	祝	14：00	富士通	裾野市多摩G
2	9月18日	日	14：30	日立	藤枝市民G
3	9月22日	木	18：00	東邦チタニウム	平塚競技場
4	9月25日	日	14：00	NTT関東	藤枝市民G
5	10月2日	日	14：00	甲府クラブ	緑ヶ丘公園
6	10月8日	土	14：30	コスモ石油	藤枝市民G
7	10月10日	祝	14：30	東芝	藤枝市民G
8	10月16日	日	14：00	富士通	藤枝市民G
9	10月23日	日	14：00	日立	相馬総合G
10	10月30日	日	14：00	東邦チタニウム	藤枝市民G
11	11月3日	祝	12：00	NTT関東	熊谷大宮サッカー場
12	11月23日	祝	14：00	甲府クラブ	藤枝市民G
[illegible]	11月27日	日	13：00	コスモ石油	西日市中央緑地
[illegible]	12月3日	土	14：00	東芝	横浜市港子G

第2回フジパンカップ県予選

焼津の大富 三位入賞

大富イレブン

大富少年団メンバー	
小長谷　誠	山竹　操
池谷智隆	藤村真也
藤田泰義	森谷鶴児
西沢　剛	長島靖志
佐々木　茂	勇川晃介
志野光洋	穴山　剛
中村裕成	片野吉浩
増田　巌	森田勝也
井村　司	望月昭彦

単一小学校によるチームが出場できるこの大会は、県内各支部で予選会が終了し、ここに、八支部の代表チームがそろい静岡県予選会が開かれた。

中西部支部からは、志太地区――大富少年団、藤枝島田地区――高洲南少年団、藤原地区――川崎少年団が出場し、期待された。

草薙球技場では、一回戦で早くも大富チームと高洲南チームの対戦となった。この試合両チーム大接戦となり、観衆をわかせた。まず前半十五分高洲南MF野田が、ドリブル突破し、右サイドにパス、これを右ウィング大石がセンターリング、野田がダイレクトシュートで先行した。

これで前半終了かと思われたその人分、大富が相手チームのチャージングの反則によるフリーキックを得た。ゴールから約30m、大富センターフォワード志野が、これを何なく入れて同点。前半を終了。

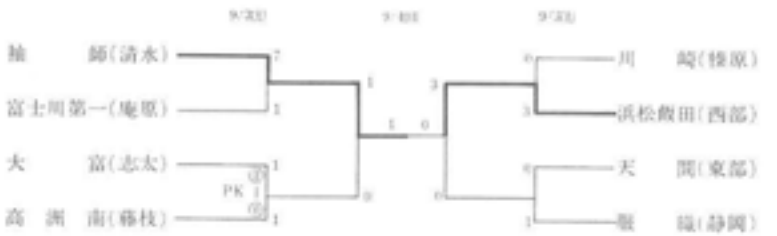
後半も一進一退の好ゲームであったが、両チーム得点出来ず終了のフォイッスル。PK戦となった。大富が二人が決めたのに対し、高洲南は、5人全員がゴールを割れず完敗。大富が年団の勝利となり、2回戦（準決勝）進出が決まった。

川崎は、浜松飯田と対戦し、前半3分まだ試合のカンをつかめないうちに先行され、苦しい戦いとなった。その後一進一退のまま前半を終了し、後半の反撃に期待を持たせた。しかし後半も立上り3分にゴールを割られ、7分にはだめ押しの3点目が入り、その後必死の反撃も実らず、3対0で敗退した。

準決勝進出の大富は、修修候補に挙げられている袖師と対戦した。前、後半とも点が入らず延長に入ったが、後半にゴールを割られ惜しく敗退した。なお大富の志野選手が優秀選手に選ばれた。

第2回 フジパンカップ静岡県予選会

期日　昭和63年9月3日(日)・4日(日)
場所　草薙球技場
駿高小学校



東海リーグ結果

東海リーグ結果
第13節
中西部2（1－0、1－0）0名古屋ク（9）
（18）
第14節
中西部2（1－0、1－1）1清水ク（8）
（20）

九月十八日で前期リーグを終了した中西部が首位に立ち、十月九日からの後期リーグの上位リーグで優勝めざし熱戦を展開することになり、中西部イレブンの二連勝を期待するとともに声援をお願いいたします。

◇東海社会人サッカー前期成績◇

	勝ち	分け	負け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①中央防犯	9	2	1	20	29	8	21
②西濃運輸	8	3	1	19	31	7	24
③ジャトコ	9	0	3	18	27	9	18
④マルヤス工業	8	0	4	16	22	15	7
⑤●田工機ク	6	2	4	14	20	18	2
⑥天雲ク	4	3	5	11	15	17	— 2
（以上6チームが上位リーグへ）							
⑦やまき屋ク	5	1	6	11	14	21	— 7
⑧ヤマハク	4	2	6	10	17	22	— 5
⑨名古屋ク	3	4	5	10	16	21	— 5
⑩清水ク	4	0	8	8	16	32	— 16
⑪静岡ガス	3	2	7	8	16	32	— 16
⑫三井デュポン	3	1	8	7	13	21	— 8
⑬本田浜松	2	0	10	4	13	26	— 13
（以上7チームが下位リーグへ）							

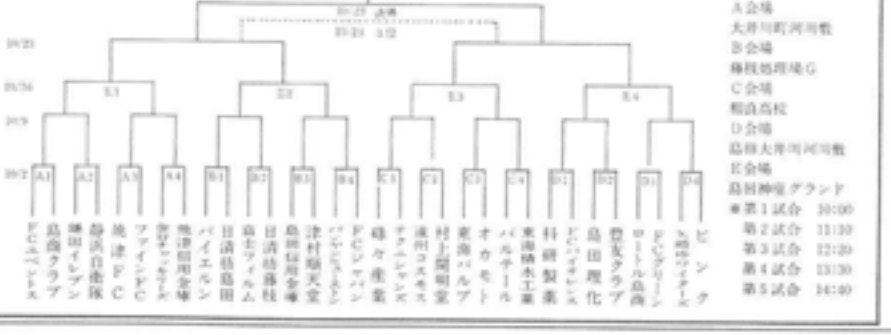
県リーグ結果

県リーグ二部結果
第9節
志太ク3（2－2、1－0）2東富士
（12）
雑草ク2（1－1、1－0）1藤枝ク
（12）
（13）
三川製紙3（0－0、3－2）2野島田
（15）
第10節
ドビックバルス1（0－1、1－0）1清水OB
（4）
沼津青陵3（0－1、3－1）2雑草ク
（12）
（6）
（13）
（6）
（12）

県リーグ二部結果
第2節
ピンクスポットイレブン
ドビックリーロート島商
豊友クラブ
島田理化
ドビックイレブン
科研製薬
東海林木工業
バルテールオカモト
東海バルブ
村上開明堂
遠州コスモス
ナクムシャンズ
峰ケ産業
ドビックジャパン
パンピックスポット
津村順天堂
島田信用金庫
島田ドリームス
富士フィルム
日清紡藤枝
日清紡島田
バイエルン
牧津田用金庫
静岡ファンドビ
ファインドビ
焼津FC
島商クラブ
ドビックペットス
神田イレブン

A会場
大井川町河川敷
B会場
藤枝処理場G
C会場
相良高校
D会場
島田大井河川敷
E会場
島田神社グランド
＊第1試合　10:00
第2試合　11:10
第3試合　12:20
第4試合　13:30
第5試合　14:40

第1回山口杯中西部社会人トーナメント



第4回県女子リーグ

4節9月4日
藤枝市民G（中西関係のみ）

焼津クイン　（不戦勝）　清水FC女子

藤枝姉妹　3（2－0、1－0）0　常葉大

得点　佐野朱美①、木全須雅子①、松田明子①　藤枝姉妹

島田JC杯 Aは金谷 Bは島四 が優勝

第17回島田JC杯争奪少年サッカー大会が9月25日と18日に開かれ、Aチームの部では金谷サッカースポーツ少年団が、Bチームの部では島田第四第1サッカースポーツ少年団が見事優勝した。

Aチームの部での決勝戦は前半5分六合東が先制した。RW塚本が相手バックスを抜き出りセンタリングをキーパーの頭上を越えLH生田が落ち着いてボレーシュートを決めた。

しかし前半12分金谷のLW落合のセンタリングを草田が シュートを決め同点とした。

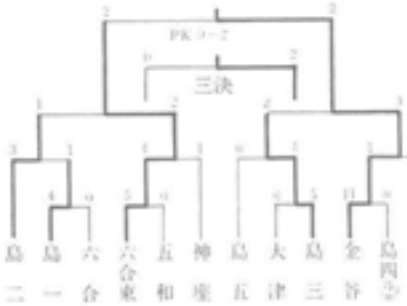
後半戦となり3分後六合東CH市川が右からのパスをゴールに押し込みそのまま逃げ切るかと思われたが、金谷が再び後半15分草田が落合からのパスをゴールに蹴り込み同点とした。後半時間切れとなり延長戦にもつれ込んだが相方譲らず引き分けとなり、PK合戦の末金谷が優勝を決めた。

両チームともハーフに能力の高い選手がおり、速いパスでゲームを作る金谷、六合東は市川、生田、福田のハーフ3人がドリブルを多用して前線へスルーパスを出すといった両チームの特長が活かされた素晴らしい試合だった。

なお、Bチームの部では島四第1岩本が小林のCKをボレーシュートをし、勉る島田第二を振り切り優勝した。

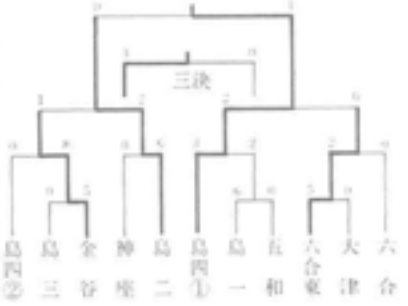
Aチームの部

1位 金谷
2位 六合東
3位 島田第三



Bチームの部

1位 島田第四1
2位 島田第二
3位 金谷



藤枝市少年サッカーリーグ

6年生の部

順位		勝ち	負け	分	勝点
1	藤　　岡	10	2	1	21
2	高洲南K	9	0	1	19
2	藤枝中央	8	1	3	19
4	青　島　北	6	4	4	16
5	東　　梨	6	0	3	15
5	西　益　津	7	4	1	15
7	広　　幡	5	4	2	12
7	瀬戸谷第一	6	5	0	12
9	高　　洲	4	2	2	10
9	青　島　東	3	3	4	10
9	藤　　枝	3	6	4	10
12	大　　洲	2	4	5	9
12	東梨西北	3	7	3	9
14	青　　島	2	6	4	8
15	高洲南F	2	9	2	6
16	福　　東	1	9	1	3
17	瀬戸谷第二	0	11	0	0

5年生の部

順位		勝	敗	分	勝点
1	大　洲　A	11	2	0	22
2	藤枝中央	9	0	2	20
3	西益津第1	8	4	1	17
4	高　　洲	6	1	3	15
5	東　　梨	6	2	2	14
5	広　　幡	6	3	2	14
5	高　洲　南	7	4	0	14
5	青　島　東	7	6	0	14
9	藤　　岡	6	5	0	12
10	青島北A	4	7	0	8
11	瀬　戸　谷	3	5	1	7
12	西益津第二	2	7	1	5
13	東梨西北	1	8	0	2
13	大　洲　B	1	10	0	2
15	青島北B	0	13	0	0

4年生の部

順位		勝	敗	分	勝点
1	藤枝中央A	9	0	0	18
2	藤　　枝	8	2	0	16
3	藤　　岡	6	2	1	13
4	西益津第一	6	2	1	13
5	青　島　北	6	3	0	12
5	高　洲　南	6	4	0	12
7	広　　幡	4	3	1	9
7	東　　梨	4	5	1	9
9	高　　洲	2	6	1	5
9	東　　梨	2	7	1	5
11	西益津第二	0	5	3	3
12	藤枝中央B	1	7	0	2
13	青　　島	0	8	1	1

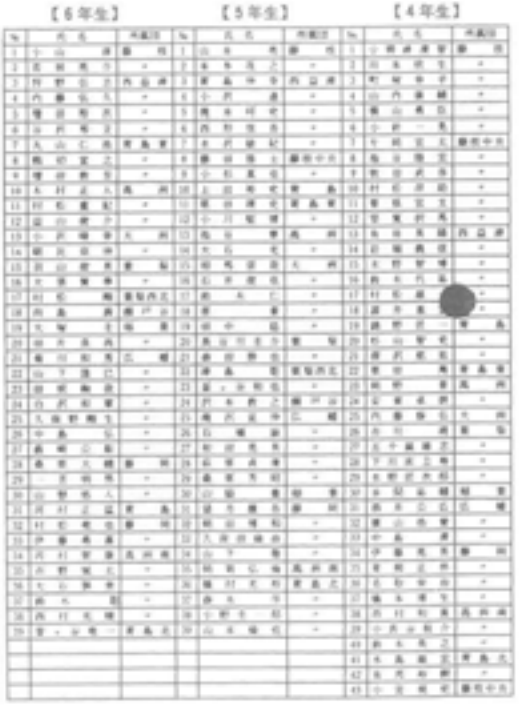
3年生の部

順位		勝	敗	分	勝点
1	藤　　枝	10	0	1	21
2	高　　洲	9	0	1	19
3	西益津第一	8	0	2	18
4	藤枝中央	6	3	1	13
5	藤　岡　A	6	3		12
6	青　島　北	4	5	1	9
7	西益津第二	3	5	2	8
7	大　　洲	3	5	2	8
9	高　洲　南	3	5	1	7
9	藤　岡　B	2	5	3	7
11	広　　幡	2	3	1	5
11	青　島　東	2	7	1	5
13	東　　梨	1	7	1	4
14	福　　東	0	11	1	0

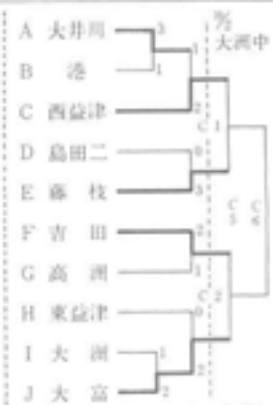
藤枝市少年サッカー教室メンバー

63年度第一期

【6年生】　【5年生】　【4年生】



県1年生大会 中西部地区予選



ベスト4が県大会に出場

1年生大会リーグ戦の結果

A

		小川	大井川	広幡
2	小川		1−2	2−0
②	大井川	2−1		3−0
3	広幡	0−2	0−3	

B

		港	島田第	川根
①	港		1−0 (1−1)	
2	島田第	0−1 (1−1)		
	川根			

C

		青島北	初倉	西益津
2	青島北		1−1	1−2
3	初倉	1−1		0−6
①	西益津	2−1	6−0	

D

		青島	島田二	御前崎
2	青島		0−2	2−0
①	島田二	2−0		4−0
3	御前崎	0−2	0−4	

E

		藤枝	福原	焼津
①	藤枝		6−0	8−0
2	福原	0−6		4−0
3	焼津	0−8	0−4	

F

		島田一	吉田	金谷
3	島田一		1−3	0−4
①	吉田	3−1		2−0
2	金谷	4−0	0−2	

G

		六合	和田	高洲
3	六合		0−2	0−3
2	和田	2−0		0−0
①	高洲	3−0	0−0	

H

		豊田	東益津	岡部
3	豊田		2−3	0−2
①	東益津	3−2		2−0
2	岡部	2−0	0−2	

I

順		大洲	東梨	相良
①	大洲		3−1	3−0
2	東梨	1−3		2−2
3	相良	0−3	2−2	

J

順		大村	大富	瀬戸谷
2	大村		1−5	2−2
①	大富	5−1		7−0
3	瀬戸谷	2−2	0−7	

志太支部少年サッカーリーグ　15日　第2節

Aチームの部

焼津南	2−0	和田	
港	0−0	焼津南	
港	2−1	和田	
豊田	3−0	大井川東	
焼津西	3−0	豊田	
焼津西	10−0	大井川東	
大井川西	2−1	焼石	
焼石	2−1	東益津	
大井川西	3−2	東益津	
岡部	2−0	大井川南	
岡部	1−0	焼津東	
大井川南	2−0	焼津東	
大富	3−1	小川	
大富	5−0	朝比奈	
小川	3−1	朝比奈	

Cチーム（4年生以下）

焼津南	3−0	和田	
港	0−0	焼津南	
港	6−0	和田	
豊田	4−0	大井川東	
焼津西	9−0	大井川東	
焼津西	1−0	豊田	
焼石	3−1	大井川西	
東益津	4−0	焼石	
大井川西	1−0	東益津	
岡部	2−0	大井川南	
岡部	3−0	焼津東	
焼津東	2−0	大井川南	
小川	5−0	朝比奈	
大富	2−0	小川	
大富	7−0	朝比奈	

焼津市社会人リーグ

焼津市営G（9月18日）

サッポロビール	0−0	柳屋本店
Y K S	8−2	日本AMP
ライトフット	6−1	ゴルゴII
ファイターズ	2−1	MOSグリーン
飛魚クラブ	2−2	プリンス
焼津クラブ	0−0	山之内製薬

第5回金曜トレセン始まる

2期中西部トレセンメンバー

3年				大石真一郎	青島	FW	増田真也	藤枝	DF
牧田一幸	藤枝	DF		津島三雄	高洲	DF	山田暢久	藤枝	FW
菊川一雅	藤枝	FW		沢入広志	業梨	DF	荒浪央嗣	藤枝	GK
神村大仁	藤枝	DF		杉本和博	高洲	DF	相馬孝正	西益津	FW
和田知之	業梨	DF		羽山良太	業梨	DF	石川有一	青島北	DF
塩沢貴司	業梨	FW		曽根真吾	六合	DF	安藤真悟	瀬戸谷	DF
斎藤隆広	業梨	DF		山崎晶也	吉田	DF	大石剛司	大洲	DF
原田卓哉	青島	DF		松本博之	岡部	DF	高橋卓士	大洲	GK
増田裕	焼津	FW		池谷光由	大富	DF	望月康利	西益津	FW
長谷川伸行	港	DF		山村博士	焼津	FW	杉本一彰	金谷	DF
小林秀多	大井川	DF		小沢智弘	島田一	DF	塚本健二	島田二	FW
小沢隆博	大井川	FW		三浦大亮	島田一	FW	河村聡	島田二	DF
飯塚亨	大富	DF		飯塚真人	金谷	DF	清水智弘	高洲	FW
飯塚稔文	大富	DF		正井力	吉田	DF	鈴木紀昭	大井川	DF
遠老岡周造	焼津	DF		加藤一洋	吉田	GK	寺田清	島田岡	DF
和田一也	金谷	DF		実石知之	和田	GK	望月郁生	焼津	DF
橋本靖記	島田一	FW		増田修	榛原	FW	山西恵司	焼津	FW
栗田和則	焼津	DF		杉山忍	藤枝	FW	青島宏樹	青島北	DF
大野貴正	広幡	GK		宮島健	港	GK	塩沢弘司	西益津	DF
曽根秀樹	豊田	GK		秋定実	西益津	DF	大場智洋	吉田	DF
早川祥	広幡	DF		児玉栄行	金谷	DF	小原大二	吉田	DF
丸山一哉	港	DF		1年			栗田典宏	榛原	FW
2年				丸山敦士	藤枝	DF	青島一城	大井川	DF
小黒英輔	藤枝	FW		吉野友三	藤枝	DF	小柳津高雄	西益津	FW
小川達也	西益津	DF		太田渉	藤枝	FW	安藤達也	藤枝	FW

中西部中学生トレーニングヤンターの二期が藤枝市立大洲中学校体育館で開講致しました。講師には岡本勇（大井川高校教諭）を迎え、中西地区一年（二十八名）二年（二十三名）三年（二十一名）の将来の地域を代表する金の卵が集まり、保護者も参加して盛大に行なわれました。

岡本氏（藤枝東＋試合大学）は高校時代日本エース代表選手として活躍。特に講演の中で基本技術の大切さを強調し、高校で通用するために中学校で、キックの正確さ、ドリブル突破、壁パスの使い方とタイミングの大切さをアドバイスしてくれました。中西トレセンは本年で五年目を迎え、加藤寿一（吉田＋藤枝東＋筑波大）三上明紀（和田＋藤枝東＋三菱重工）らの選手や六十三年度、高校選手権で話題を集めそうな、藤枝東高の五十川、足崎、井川、稲垣、山本、大石、藤枝北高の寺田、高橋、松永、鈴木等の選手も中西トレセン出身者である。

その他水井克俊（西益津＋藤枝東）はジュニアユース日本代表（十六才以下）、また十三才以下で組織された第二回世界少年サッカー大会で山田暢久（焼津東＋藤枝中）、石川有一（青島東＋青島北中）が日本選抜チームのレギュラーとして優勝した。このように、小・中・高の指導者が連携を密にして、一貫した指導の成果が徐々に芽ばえてきている。今後とも関係各位の絶大なる御理解を得て藤枝を中心とする志太榛原に再び日本を代表する名選手を育成しようとはりきっている。

夏季休暇中に大会や選考会で以下の中西部トレセンの選手が次のとおり決定した。高校トレセンは1期と同じメンバーで藤枝東高で行う。

サッカーと私 ③

高校部代表　松本博之氏（54）

回想記事になりそうな原稿では、数多くの先輩がいらっしゃるのに出番ではないと思ったが高校関係者でと言われたので思い出と感想を書きます。生年月日と場所は

昭和九年三月三十日、焼津市浜当目。大崩海岸の近くで海、山、川ありの環境の良い所です。

時の流れと思い出は

昭和二十一年志太中入学。学制改革で志太高・藤枝高（現藤枝東高）と、六年間大冥寺廻りで自転車で通う。バンクして大手まで何回歩いたことか。

東益津小六年で、教育勅語の御賢文を暗記して、面接試験に備えていたら八月十五日終戦。さあ、日本は何故敗けたかの質問に変るという。困った。幸い合格したが、見れば、グランドはさっぱりも切、眠る蛇はなし。運動場の石拾いと神足のボール蹴りっこ。水を飲んではいけない、足を冷やすから水泳は禁止。先生が冷やすから水泳は禁止。先生が冷やすから水泳は禁止。先生が

昭和63年11月1日（火曜日）（毎月1回発行）　第7号

中西部 ヤングサッカーニュース 1988 11

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

国体 秋季大会

県選抜（少年）2年連続V

藤東の山本ら4人活躍

鎌田監督の体が二回、三回と山に舞った。第43回国体秋季大会（京都）で静岡県選抜チームが宮崎・埼玉を4対2の鮮やかな逆転で下し、二年連続十四度目の優勝を果した。

成年男子サッカーの思わぬ一回戦敗退で暗い影があったものの少年サッカーはその暗い影を吹き飛ばすような大活躍だった。

鎌田監督が率いる県選抜チームは十五人。この中には藤枝東高校の井川順志、稲垣博行、山本洋の三選手に加え、大会直前にユース代表の中原幸司（東海第二高）に代わって急きょ出場が決まった藤枝東高校のGK五十川誠久の四選手が出場。優勝に大きく貢献したことは言うまでもない。

東海大会では苦しい戦いでぎりぎり出場権を得た静岡県選抜。昨年のようなエーストライカーがいないだけに、国体でどこまで勝てるのかという不安な声もあった。鎌田監督がいう「十五人全員の勝利」そのとおりで、十五人が一丸となって一戦一戦全力でぶつかって行った。

決勝戦では前半1対1で終了し苦しい形。後半に入ってから早々に勝ち越しのシュートを決められ、今大会初のリードを許した。後半15分に右から持ち込んだ山田が折り返し、美沢が鮮やかに合わせて同点。これで勢いを付けた静岡県選抜は美沢がドリブルで持ち込み同点シュート。さらに試合終了間際、美沢のシュートがDFに当たりはね返ったところを藤田がゲットしダメを押した。

（一回戦）

静岡2（0－0 2－0）0宮崎

▼得点者　美沢（補なし）竹沢（補なし）

（二回戦）

静岡2（0－0 2－0）0鳥取

▼得点者　藤田（補＝美沢）美沢（補＝井川）

（準々決勝）

静岡3（1－0 4－0）0宮城

▼得点者　山田（補なし）美沢2（補＝古賀・山田）（補＝相馬）竹沢（補＝藤田）古賀（補なし）

（準決勝）

静岡2（0－0 2－0）0徳島

▼得点者　藤田（補＝井川・古賀）古賀（井川・山田）

（決勝）

静岡4（1－1 3－1）2埼玉

▼得点者　美沢（補＝竹沢・塚本）（山田）（補なし）藤田（補なし）

静岡選抜の15人

藤東の4選手と鎌田監督
選手権もガンバレ!!

宙に舞う鎌田監督

緊　張!!

堂々の行進

国体を振り返って
鎌田昌治監督

まず今回、二年連続の優勝を果たせたことについて、ご協力して下さった方々と応援して下さった方々に深く感謝いたします。

本大会に入り他のチームを観察する時、2トップのチームが多くDFラインからのロングパスを多用して、FWがボールをキープし、FWラインのスペースへMFが走り込むという攻撃パターンが目についた。

早目のクロスボールからこぼれ球をひろいシュートへもっていこうとする攻撃も多く、相手のDFラインをどのようにして崩すかという意図のあまり感じられないチームが多かった。

個人的には選抜チームだけあって、どのチームにもエースといわれる選手が一人、二人はいるが、個人プレーはすばらしいが組織の中で個人が活かされていないという物足りなさを感じた。いわゆる中盤での展開力（攻撃の準備）に課題があるのではないかと思われる。速攻か遅攻か、あるいは中央突破かオープン攻撃かという中盤の選手の戦術的な能力が低い。又、チームとしての攻撃における戦術が確立していないようにうかがえた。

そんな中で、静岡県選抜チームは中盤での速い展開からオープン攻撃を軸にした多彩な攻撃にフォアチェックから乗じて、粘り強い守備をチームの課題として試合に臨んだ。中盤でのダイレクトパスからのサイドチェンジをし、ウイングの突破からのオープン攻撃は他のチームにはない攻撃パターンであり、もっともオーソドックスかもしれないが、DFラインを崩して得点に結び付けることのできる一番の方法である。オープンからオープンへ攻撃を仕掛ければ当然中央にスペースができ、そこをCFあるいはMFが走り込みシュートに結び付けることができる。

静岡県選抜チームはこのような多彩な攻撃力の面で他のチームに比べレベルの高さを感じさせてくれた。今年のチームは例年に比べ超高校級という選手はいなかったが、全員でゴールを守り、全員で攻撃するというサッカーに徹したことが今回の成績を残せたと思う。

FWからボールを追っかけMFはプレッシャーを掛け、DFは身体を張るという守備、そして相手よりも速く動き出し、速く考えてダイレクトパスを多く使い展開していく攻撃はまさに「全員サッカー」であったと思う。

目指せ国立競技場

ベスト16に 藤枝東 吉田高

第六十七回全国高校サッカー選手権大会静岡県大会は一次予選を終了し二次予選に突入。

中西部地区からは15校が一次予選に出場したものの藤枝北高校の二回戦敗退など中西部地区は今ひとつ振わなかった。二次予選に進出したのは藤枝東高校と吉田高校の二校だけ。今回はこの二校にスポットを当てみた。

◇藤枝東高校

一次予選ではいい感じで得点が出来、中では一年生の大石信司の活躍が光った。二次リーグまでに体力の維持とコンビネーションプレーを中心に練習し、勇足のいく試合をしたい。

○十月二十九日　対伊豆中央高校＝真面目なチーム

○十月三十日　対磐田東高校＝よく走るチーム

○十一月三日　対静岡学園高校＝個人技を中心とするチーム

◇吉田高校

一次予選は日頃の練習成果が十分発揮されベスト16に進出できた。今年はチームが非常に明るく。吉田ファミリー。という感じ。このことも勝因と思う。活躍した選手は部員五十二人全てだが、しいて挙げるなら主将の河守。チームをよくまとめている。二次リーグに向けては、個人のレベルアップを図り、これまで通りの練習を続けて行く。

○十月二十九日　対清水商業高校＝総合力ではやや上かもしれないが失点0の試合をしたい。

○十月三十日　対清水東高校＝疑に速い攻撃とゴール前の迫力あるプレーを封じれば互角に戦える。2点取れば勝てると思う。

○十一月三日　対浜名高校＝運動量と集中力が勝負を決定すると思う。目標は2点取ること。

第9回県中学一年生大会 藤中ら4校出場

藤枝東高

藤枝東高校

部長　鈴木　真良
監督　長谷川二三

背	位置	氏名	学	出身中学	背	位置	氏名	学	出身中学
1	GK	五十川訓久	3	焼津	12	FW	杉本　光宏	3	葉梨
2	DF	佐塚　哲也	2	島田一	13	〃	後藤　英之	3	藤枝
3	〃	稲田　博行	3	岡部	14	MF	池ヶ谷勝啓	2	青島北
4	〃	山本　洋	3	港	15	〃	鈴木　貴繁	2	焼津
5	〃	細谷　裕史	2	大村	16	〃	牧田　朗	2	藤枝
6	MF	藤田新太郎	3	西益津	17	GK	大石　裕紀	1	高洲
7	〃	芹川　剛志	3	東海一	18	FW	杉本　雅美	1	島田二
8	〃	池谷　崇	2	大村	19	GK	吉田　建	2	西益津
9	FW	見崎　充洋	3	焼津	20	DK	前田　仁崇	1	島田一
10	〃	赤澤　伸一	2	東海一	21	FW	紅林　由章	3	島田二
11	〃	中村　博史	3	青島	22	〃	大石　信司	1	吉田

吉田高校

吉田高校

部長　藤田　篤造
監督　鍵田　昌治

背	位置	氏名	学	出身中学	背	位置	氏名	学	出身中学
1	GK	増田　善也	1	大富	12	FW	福世　教仁	2	吉田
2	DF	大石　光則	3	吉田	13	DF	中村　直行	2	吉田
3	〃	横井　宜嘉	3	吉田	14	MF	橋田　直己	2	吉田
4	〃	増田　洋之	3	吉田	15	〃	柴田庄二郎	2	榛原
5	〃	小池　伸明	3	港	16	DF	森原　秀之	2	島田一
6	MF	石田　修	2	榛原	17	GK	田中　通彦	1	吉田
7	〃	吉山　雅彦	2	島田一	18	DF	江野　正和	2	吉田
8	〃	河守　覚真	3	榛原	19	FW	秋山　貴則	1	吉田
9	FW	望月　孝伸	2	島田一	20	MF	菊川　岳博	1	西益津
10	〃	川本　政能	3	吉田	21	FW	寺田　任	1	藤枝
11	〃	古屋敷敦司	2	和田	22	MF	榛葉　有希	2	榛原

西益津中

	位置	氏名
1	GK	西谷　雅紀
2	DF	柴田　勇信
3	〃	伊藤　春貴
4	〃	伏見　光裕
5	〃	山崎　達也
6	MF	塩沢　弘司
7	〃	相馬　孝彦
8	〃	望月　康行
9	FW	小和津高雄
10	〃	遠野　勝則
11	〃	山田　大介
[illegible]	DF	赤田　達夫
13	FW	佐野　幸司
14	〃	渡邊　勝弘
15	〃	花井　秀弘
16	DF	森原　崇
17	〃	神山　貴史
18	MF	高田　宏司
19	〃	増田　正宗

吉田中

	位置	氏名
1	GK	杉本　洋海
2	DF	増井　久造
3	〃	大嶋　智幸
4	〃	平田　淳也
5	〃	三輪　宗義
6	MF	大島　達幸
7	〃	小原　史二
8	〃	鈴木　光慶
9	〃	塚本　浩司
10	FW	鳴田　稔
11	〃	細野　千良
12	〃	五藤　邦道
13	MF	中島　英伸
14	DF	小玉　圭介
15	〃	福井　文浩
16	MF	鳴田　政司
17	FW	大塚　大輔
18	〃	石神　史
19	DF	田島　和樹
20	GK	甲斐　通朝

女子部結果

東海四県母親サッカー大会

一回戦　県予選

十月二日警察学校G

焼津クィン　2（1－0、1－0）0　浜松女子

得点　前半・小塩節子、後半・高松美子子

静岡県女子サッカー選手権準決勝

十月二日　警察学校G

清水ポ　9（4－0、5－0）焼津クィン

東海四県母親サッカー大会

県予選準決

十月二日　草薙球技場

清水ポ　0（0－0、0－0）焼津FCマリ　0

PK2－1

PK戦に敗けて草薙球技場でPK戦を眺る。サッカーを始めてこんな事になるとは夢にも思わなかった。ゴールに向かってどこに飛ぶのか、ボールがゴールまで届くだろうか。キーパーが大きく見えてゴールの隅が狭くてとてもねらって蹴るなんてとても出来なかった。

今度ゴールを前に悩んでもしようがない思い切って蹴って蹴った時当りは良いと思ったがボールはゴールの上を越えて行った。

そこで思ったがPKの蹴り方をしよう。練習前に一人で一生懸命やるのだから。たくさん蹴ってPKに慣れる事。11メートルに慣れる事が必要です。

これから高校選手権、草少年団大会と大きい大会があります。試合は一生懸命戦ったのだから最後のPK戦にも必ず勝ってサッカーをやってよかったと良い思い出になる様頑張って下さい。

一応子

県女子リーグ　戦

十月十六日

成東大グランド

焼津クィン　0（0－0、0－0）0　沼津成田

天皇杯東海大会

藤枝市長旗争奪定期戦

藤枝北5（2－1、3－0）1藤枝東

藤枝明誠2（0－1、2－0）1静清工業

藤枝市長旗争奪定期戦が藤枝北高、第三回静清工対藤枝明誠の定期戦が十月十日に開かれ、藤枝北、明誠が勝利した。

藤枝東対藤枝北は終始北が押し、5対1の圧勝に終わった。北高は選手権で一回戦敗退しているだけに大きな一勝となった。

静清対明誠は明誠が逆転の2対1で勝利。明誠の柳川が2点を挙げた。

中西部二部

	勝	敗	引分	得点	失点	得失点
①清水ポ	5	0	1	19	10	9
②FCベッセル	6	0	0	21	6	15
③藤枝東	4	0	2	31	14	17
④焼津クィンズ	2	0	4	17	18	−1
⑤バルサ	2	0	4	4	11	−7
⑥ヤマハ島田	1	1	4	3	6	−3
⑦竹工藤枝	0	1	5	1	22	−20

中西部二部A

	勝	敗	引分	得点	失点	得失点
①ティンFC	3	0	3	12	5	7
②焼津ライトーズ	4	0	1	14	8	6
③島田市北	2	0	3	4	10	−2
④島田市相金属	2	0	3	4	9	−3
⑤東海パルプ	2	0	3	4	9	−3
⑥アクシュンズ	0	0	3	3	6	−3
⑦FCポパー	−	−	−	−	−	−

島田サッカー少年団リーグ戦結果

6年	勝	負	引	順位
島一	7	3	0	5
島二	7	2	1	4
島三	7	1	2	3
島四1	6	0	4	2
島四2	1	9	0	10
島五	2	8	0	9
神座	2	5	3	7
大津	4	4	2	6
六合	3	6	1	8
六東A	8	0	2	1
六東B	0	9	1	11

5年	勝	負	引	順位
島一	8	0	1	1
島二A	6	2	1	3
島二B	2	6	1	8
島三	6	2	1	4
島四1	8	1	0	2
島四2	0	8	1	10
神座	2	5	2	7
大津	4	4	1	5
六合	3	5	1	6
六東	1	7	1	9

4年	勝	負	引	順位
島一	4	4	2	6
島二	5	3	2	5
島三A	0	10	0	11
島三B	8	1	1	2
島四1	10	0	0	1
島四2	2	6	2	9
神座	1	9	0	10
大津	2	6	2	8
六合A	4	5	1	7
六合B	4	2	4	4
六東	7	1	2	3

3年	勝	負	引	順位
島一	3	5	1	8
島二	5	3	1	4
島三	2	6	1	9
島四1	2	4	3	7
島四2	4	3	2	5
神座	7	2	0	2
大津	0	9	0	10
六合A	6	3	0	3
六合B	8	1	0	1
六東	3	4	2	6

志太サッカー少年団リーグ戦結果

第1位	大富	13勝1分	27勝点
2位	岡部	10勝1敗3分	23勝点
3位	焼津西	9勝1敗4分	22勝点
4位	大井川西	10勝3敗1分	21勝点

参加15団A・B・Cチームでのリーグ戦は全日程を終了していませんが、県大会予選の為のシード上位4チームが決定しました。

本年度のリーグ戦は、各チームの実力が接近していて混戦になると思われたが、大富少年団がAチームの部で無敗の成績で初優勝を飾った。その他の上位チームも苦しみながらも接戦を物にし勝点を上げた。

5位以下も実力的には上位チームと差は無いが、星の潰しあいで勝点が延びなかった。

県大会出場チームは、大富を中心に激しい戦いを勝ち残った5チーム、どこが出場するか予想できない。

①大富	⑥焼津南	⑪黒石
②岡部	⑦港	⑫小川
③焼津西	⑧大井川南	⑬和田
④大井川西	⑨焼津豊田	⑭大井川東
⑤東益津	⑩焼津東	⑮朝比奈

藤岡地区中学新人戦

Aグループ

チーム	葵梨	青島北	岡部
葵梨		3－1	4－0
岡部	1－3		0－5
青島北	0－4	5－0	

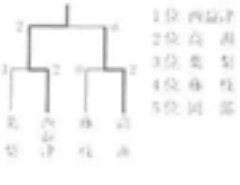
Bグループ

チーム	藤枝	広幡	大洲
藤枝		5－1	2－0
広幡	1－5		0－1
大洲	0－2	1－0	

Cグループ

チーム	西益津	高洲	青島	瀬戸谷
西益津		2－1	3－1	2－1
高洲	1－2		1－0	4－0
青島	1－3	0－1		4－2
瀬戸谷	1－2	0－4	2－4	

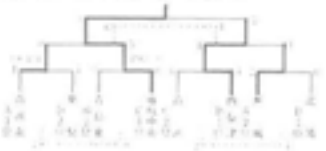
決勝トーナメント



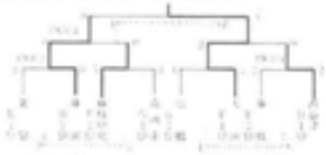
1位 西益津
2位 高洲
3位 葵梨
4位 藤枝
5位 岡部

第2回 松任市 藤枝市 交流大会

5年生の部 1・2位グループトーナメント戦



5年生の部 1・2位グループトーナメント戦



6年生の部		5年生の部	
優勝	藤枝中央	優勝	大洲
準優勝	西益津	準優勝	藤岡
3位	高洲南	3位	藤枝中央
4位	藤城（石田）	4位	西益津

藤枝市少年サッカー教室第2期開講される。

少年期に大切な「明人技術の習得」と「藤枝FCの選手育成」を目指した藤枝市少年サッカー教室の43年度第2期開講式が、10月17日藤枝市民会館で受講生・父兄250名と指導者20名の参加して盛大に開催されました。

山本輝雄少年団部長の選手会紹介と注意事項の説明に続き、山田晃技術委員長から第2期（10月～3月）の指導方針が発表されました。また、指導者の紹介が行われたが、サッカー選手として名声を残した指導者が多く、さすが「サッカーの町・藤枝」を思わせた。

最後に、藤枝サッカー協会高校生部長・石田敏明先生と藤枝市サッカー協会技術委員長・浦本義二郎先生の講演が行われ、4年生から6年生の受講者120人も終始まで真剣に聞いていた。

教室は、10月19日から毎週日曜日開講され、来年3月19日に閉講されます。

指導者名簿

役職	所属	氏名	住所
代表者		山本輝雄	藤枝市瓦谷305－6
代表指導者		山田晃	北1条1－12－12
顧問	青島北	小林日之	青葉町5－13－9
〃	横須賀	岡村中之	滝沢1447
〃	青島	野坪弘雄	青葉町5－11－26
役員	藤岡	小澤正吉	藤岡17－113－7
コーチ	藤岡	高村金雄	藤岡1－2－1
〃	青島北	鈴木幸雄	大東町396－6
〃	大洲	内藤哲郎	大西町3－18－5
〃	広幡	高石孝司	柳町7－23－7
〃	広幡	河下正記	高町1－5－7
〃	青島	増田恵太	伯良3－15－17
〃	葵梨	小柳仁之	下之郷1139
〃	葵梨	田村茂樹	瀬之内525－4
〃	藤岡	江原武男	天王町3－2－8
〃	青島東	大石勝	金町11－16
〃	藤枝中央	内藤洋今	藤枝5－12－11
〃	広幡小	内藤利雄	田尻4－1 11P－1
〃	葵梨西北	宇藤博敏	西方276－1
〃	石津	鈴木義治	本町1－8－4
〃	藤枝中央	宮本久司	藤枝1－3－7
〃	高洲南	古野正男	高町7－28
〃	大洲	江尻恒夫	大西2－25－7
	西益津小	塩谷一郎	天王町3－13－19
〃	長田南小	野原俊夫	焼津市駅北2－10－8
〃	藤枝東部	大石俊一	焼津市東小川2－17－4
〃	西益津小	山本俊夫	藤枝市田中3－4－3
〃	大洲	相馬強治	大西町3－22－22

大井川町選抜招待大会

日本リーグ2部7節を振り返って

藤枝市役所サッカー部　主将　杉本直己

「サッカーの街、藤枝」から自治体チームとして全国で初めて日本リーグ入りを果し、旋風を巻き起こそうと望んだリーグだったが…。

初戦の相手は富士通。日本選手はみんな堅くなっていたようだ。一分もたたない内に失点としてしまった。その後は、逆襲の前半を0対1で終了。後半に入り2点目を取られ、PKで1点を取り返したが結局善戦しながらも1対2の惜敗。この試合で「日本リーグでも十分やれる」とふんだ思ったに違いない。

第二戦の相手は日立。後半失点を入れたが同点とされ、残り四分前に逆転されて勝点を逃してしまった。本当に惜しい試合であった。

第三戦の相手は東邦ガスウム。この試合も善戦したものの1対2で負けてしまった。第三戦を終え全て1対2の1点差ゲームでの負け。やはり内容の良いゲームでも悪いゲームでも勝点を取らなければ何もならない。

第四戦は地元でのNTT関東戦。雨が降り悪コンディションの中、押され気味の試合だったが全員踏張り0対0の引き分け。第四戦目にして初の勝点1を取ることができた。

第五戦は敵地での甲府クラブ戦。シュート数は相手の倍以上打ちながら0対2の完敗。この試合は審判に泣かされた試合だったように思う。

第六戦の相手は東海リーグでも戦ったことのあるコスモ石油。比較的相性の良いチームだが、又も1対2の負け。

第七戦の相手は東芝。前半三十分までは何とか持ちこたえたが立て続けに4点を取られてしまい後半も2点を取られ、結局0対6の完敗であった。

第七戦を終了して、勝点1の最下位であるが、東芝は別格として他チームとは「何とかやれる」ように思った。「何とかやれる」為には、やはり選手層が薄い我がチームにあって負傷者が早く戦列に復帰しベストメンバーで戦うは外にないように思われる。

企業チームが多い中で公務員という厳しい環境でのハンディキャップを乗り越え、これからも全員一丸となって頑張っていきたい。

富士通2（1−0、1−1）1藤枝市役所
東邦2（1−1、1−1）1藤枝市役所
▽再点者＝宇野（藤）
藤枝市役所0（0−0、0−0）0NTT関東
甲府クラブ2（2−0、0−0）0藤枝市役所
コスモ石油2（1−0、1−1）1藤枝市役所
▽再点者＝大塚（藤）

中西部の代表に遠州コスモス

中西部代表チームがこのほどリーグ戦最終日を待たずに遠州コスモスに決定した。

遠州コスモスは昨年に続いて二年連続。今年こそは県二部に昇格をと監督はじめ選手一同、練習にはげんでいる。

一月六日午前十時より藤枝北高で行われる。（中西部の優勝・ヒューストンの辞退により遠州コスモスに決定したもの）

尚、中西部でのゲームは十一月六日午前十時より藤枝北高で行われる。

	勝	分	負	勝点	得点	失点	総得点	総失点
ヒューストン	10	0	0	20	37	6	30	
遠州コスモス	8	0	2	16	33	8	27	
焼津信用金庫	8	0	2	16	26	12	14	
バイエルン	6	0	4	12	29	18	18	
行政書士会	5	1	4	11	21	11	10	
東海電子	4	3	3	11	17	21	−4	
F.Cパーシ	4	1	5	9	32	29	−3	
日洋製薬	3	1	6	7	13	22	−9	
島田クラブ	3	1	6	7	15	26	−11	
焼津F.C	1	1	8	3	9	21	−12	
ゴム9	0	0	10	0	8	34	−8	

県リーグ一部
焼津クラブ0（0−0、0−0）0NTT（8）
矢崎計器2（0−1、2−1）2清水エス（7）
志太クラブ3（3−0、0−0）0清水市役所（11）
藤枝北クラブ3（1−2、2−1）3清水OBトヨタ（8）
東海大学3（2−0、1−0）0藤枝市役所（7）

県リーグ二部
焼津ガス2（2−0、0−1）1藤枝東（5）
藤枝ガス1（0−0、1−0）0知花製薬（7）
焼津ガス2（1−0、1−2）2藤枝ガス（19）
浜松BFC2（2−0、0−0）0バンディッド（4）

特別賛助会員募集のお願い

中西部ヤングサッカーニュースの発行の趣旨にご理解を頂き、地域のサッカー振興のためご協力頂ける法人・個人の特別賛助会員を募集させて頂いております。

会員にお申込みいただいた方のお名前を掲載させていただくほか、毎月ヤングサッカーニュースを2部送付させて頂きます。

＊特別賛助会員
一口　一万円
＊定期購読会員
年間　一〇〇〇円
●現金または切手
●送料共

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■
▽天光自動車㈱（三口）
▽㈱青川商店（三口）
▽ホテルシルビア（三口）
▽ヤマミ水産㈱（三口）
▽㈱サンショップ（二口）
▽㈱中央防犯
▽石原水産㈱
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽大沢スポーツ㈱藤枝本店
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱常松建設
▽㈱ぱたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大雄建設
▽建設土木丸川組
▽造建機材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック㈱
▽静雅書㈱
▽東洋オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダプリモ遠井
▽見崎設園
▽みのる呉服店
▽村松工業㈱
▽レストランサンパーク
▽㈱上山化成
▽㈱スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽ABC藤枝店
▽前田書店
▽志太交通㈱
▽㈱藤枝事務器商会
▽藍崎産商㈱
▽曽根造商店
▽小沢鉄工㈱
▽小澤商店
▽増田自動車工業
▽御前崎観光ホテル
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽富士カラーコーラボトリング㈱
▽一品料理　磯乃屋
▽㈱長栄社
▽将亀醸造㈱
▽㈱藤枝エイシャク
▽東海ガス㈱
▽松本印刷㈱
▽木村屋旅館
▽池野星装飾
▽㈱永幸
▽カットサロン・シグ
■個　人■
▽山口森三
▽中山春高
▽松永　勝
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽青木陽夫
▽吉良武夫
▽斎藤重之
▽鈴木有好
▽柴田二郎
▽渡本義三郎
▽深津敏夫
▽丸山慎也
▽吉藤敬靖
▽石上輝二
▽加藤金吾
▽小林国男
▽和田三司
▽上野孝雄
▽竹中正樹
▽山本輝雄
▽本間信弥
▽植田永二
▽松永信夫
▽渡辺忠男
▽原崎志彦
▽塩澤次郎

サッカーと私 ④

松永信夫氏(66)

青春を、燃そう

やがて六十七才。東益津村中里に生まれ、昭和九年志太中に入学して、サッカーをはじめる。二年生でサッカー部に入部、昭和十四年東京高等師範に入学し、文理大サッカーメンバーとなり、早大、慶大などとリーグを戦う。

昭和十六年夏、東京大会に全日本チームとして、新京（現中国東北部）に遠征する。

馬役、復員

戦後、国体に志太クラブで活躍。昭和二十七年日本経金属清水に就職し、日経金チームとして、県大会、東海地区大会に勝ち、北海道函館から宮城、遠野、仙台、新潟、京都、大阪、四国の松山、徳島、広島、九州鳥栖と全国大会にボールと旅を楽しむ。

昭和二十五年第一回アジア大会（インドのニューデリー）には日本チームに選ばれたが、兵役に従わり、ビザがおりず不参加。昭和二十九年第三回アジア大会では、センターハーフとして、マニラに渡る。

思い出に残るゲームは、たくさんあるが、特に昭和三十一年メルボルンオリンピック予選の対韓国戦、二月の寒い国立競技場で、一回戦は（0−2）で負け、この時はC・H は若い杉本君でしたが、一週間後の二回戦は、私がC・H に起用され、韓国のエースC・F崔貞敏選手を押えて（2−0）で勝ち、一勝一敗、抽選の結果、日本が代表権を得たものの、出発前ひざを痛めて不参加、全日本選手としての生命は、三十五才でつきる。

昭和三十二年の静岡国体は一般の部の監督主将をおせつかり、相手チームにもめぐまれ、選抜チームもよくまとまって優勝し重責を果たすことが出来た。サッカー現役生活を卒業する。

さて、現在のサッカー環境は大変めぐまれ、解説者、月刊誌と刊行され、テレビで、まのあたりに自熱したゲームが観戦出来る。私の青春期は前述の通りですが、それであるがゆえに、現在の青少年は、サッカーを通じて青春を燃してはしいと思う。素直な心で指導者の話に耳をかたむけ、グラウンドでは研究的姿勢で、技術向上に汗を流してもらいたい。いつ、いかなる時でも、相手でも情熱をもって学ぶ心を持ち続けてほしい。

個人テクニックは大変巧みであるが、この技術がゲームの中で生きなければだめで、一般に視野が狭いと思う。広い味方の動きが、又相手が見える様に、どんなゲームからでもつねに学び深めるよう心得てほしい。箱庭のサッカーでは基関はおぼつかない。そしてもう一つ大切な事は、味方同士の考えが、お互いの意志が通じあう事が、チームプレーの基本であろう。キックが上手だとサッカーは楽しいと思う。

総じて、基本の出来た身体作りを忘れない様にしたい。走って走って足腰を強くしてほしい。

サッカーをはじめて四十数年。精進の結果が、勝って喜び、笑をして楽しみ、よき味友が出来て生活に潤いが得られる。去る九月十一日は、西日本サッカーOB、広島大会に参加の折、アジアマニラ大会の時の、GK渡部氏と久方ぶりに会い、夫婦と懐しみ、戦島神社に案内され、よき思い出を残したのも、サッカーのお陰と感謝で一杯です。

11月の予定

少年団

11月の行事予定
第7回中西部少年サッカー選手権大会
・11月12日(土)・13日(日)・20日(日)・23日(祝)　（於　同部他）
63年度中西部サッカー少年団指導者研修会
・11月20日(日)　藤枝市民会館
藤枝地区・島田地区
・11月6日(日)・27日(日)・12月4日(日)
第21回県サッカー少年団大会、藤枝・島田地区予選（島田市・藤枝市G）
焼津地区
・11月6日(日)・27日(日)・12月11日(日)
県大会志太支部予選
榛原地区
「冬期リーグ戦」途中結果報告

中学校

・11月3日(祝)
選抜大会（浜松開成、浜松北星）
・11月6日(日)
1年生県大会（浜松江南中、浜松東部中）
・11月13日(日)
選抜・1年生県大会（浜松球技場ほか）
・11月23日(祝)
中西部地区新人戦（豊田中、西益津中）
・12月4日(日)
中西部地区新人戦

高校

全国高校サッカー選大会
・10月29日(土)・30日(日)・11月3日(祝)
2次リーグ戦
・11月6日(日)
ベスト8　焼津市民（決勝トーナメント）
・11月13日(日)
準決勝　草薙
・11月19日(土)
決勝　草薙
・11月26日(土)・27日(日)　GK講習会（草薙）
・11月27日(日)　J.r合宿選考会（藤枝市民G）

社会人

・11月6日(日)
焼津市民スポーツ祭決勝
・11月20日(日)〜
第19回中西部選手権松永杯

女子

・11月13日(日)
県女子リーグ（清水市）
・11月23日(祝)
県スポーツ祭決勝戦（浜松市）

中西部 ヤングサッカーニュース 1988 12

発行　中西部サッカー協会　発行責任者：滝本義三郎　編集・印刷：共立印刷株式会社（藤枝市高柳1-18-23　☎0546-35-4651）

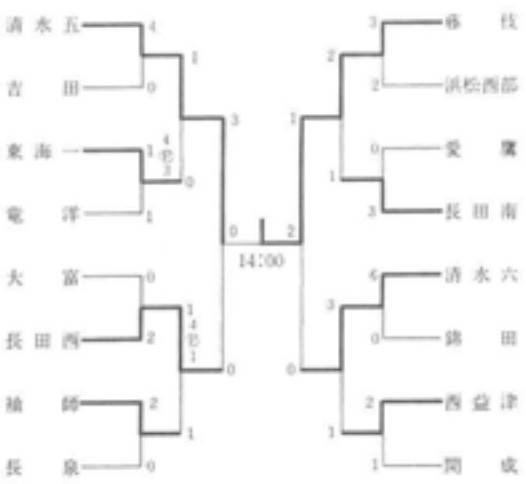
第9回県中1大会　藤中が見事初優勝を飾る

第九回さなるカップ県中学一年生サッカー大会は県下一六〇チームの参加で予選が行なわれ、各支部代表十六チームで遠州灘海浜公園浜松球技場を中心に決勝トーナメントが開催された。中西地区より藤中・西中・大富中・吉田中が出場。藤枝中が見事に清水五中を破って初優勝を飾った。最優秀選手に太田渉（藤枝中）が決勝戦で三得点を挙げ選ばれた。

一、二回戦と1点差の試合を勝ち抜いた藤中は、準決勝で清水六中と対戦。DF丸山のロングシュートで延長戦で殺り勝ち。決勝に進出。決勝の相手は、清水五中となった。強い風の中、前半風上に立った藤中は、太田・吉野を中心に清水五中を上回る出足を見せる。前半四分に増田の右からのパスにDFの裏で太田がうまく合わせ、胸のトラップでGKをはずし、先制点をあげた。

後半は風下に回り、やや押し込まれたが、DF山田・丸山、GK荒波を中心に清水五中にゴールを許さなかった。逆に太田がドリブルで相手DFをうまくかわし、左足でゴールを左すみに追加点。結局2−0で藤中が見事初優勝を飾った。

第4の選手の持つ力に両チームの差はなかったが、決めるべき時に決め、一対一のカバーリングなどディフェンスの基本のしっかりしていた藤中に勝利の女神が輝やいたといえるだろう。中盤の構成力・両翼の鋭さなど、さらに伸ばし、二年後、五年後に大きく花を咲かせることを期待したい。



GK	荒波央嗣
DF	山田暢久
	丸山敦士
	浅見典彰
	増田真也
MF	吉野友三
	沢本貴司
	安藤達也
FW	谷下達也
	太田渉
	森崎正行
交代	村松初

藤中のイレブンたち

太田選手

山田選手

監督　滝本義三郎

中西予選で西益津田中に苦戦してから、県大会にのぞむポジションをチェンジした。その目的はストライカーの太田を生かすためにオープン攻撃の強化を考えた。練習においてセンターリングの改善ができるプレーヤーの育成。守備面で山田を中心にしたマークの原則の確認等攻守のポイントのチェックを選手に考えさせた。

今年の一年生は指示に対して、敏感に反応し、自発的に取りくむ素晴しい要素を秘めている。

小学生時の指導者の御尽力、そして、トレセンの指導者の熱意が藤枝中の初優勝を果した要因であろう。

主将　安藤達也

一年生大会で優勝するまでには、いろいろな、練習方法、その中でも、走る練習はとてもきつかった。みんながだらけている時は、ぼく一人ではなく、みんなで注意しあったり先生がいない時も、チーム全体がきびきび動いてくれた時は、ぼくとしても、とても楽で、スムーズに練習ができました。こういうことから、チームワークが出来ていくと思います。県大会では、一試合、一試合を大切にしていき、優勝が出来たと思う。

ぼくは、キャプテンとしての自覚がまだあまり身についていないので、今度からは、キャプテンだという自覚を持ちこれからの練習の中で自分がどんな立場にいるのかということ、チームワークを乱さないようにすること、自分がキャプテンとしてみんなを引っぱっていくことに心がけたいと思います。

副主将　吉野友三

ぼくたちのチームが優勝したのも、練習のおかげだったと思う。まずそのひとつとしてフォーメーションが上げれると思う。これによってはぼせめ方のかんじがつかめた。あとは練習の最後のダッシュ、シュート、などだと思う。これからはまた新しい練習方法をとり入れていった方がいいと思った。

MVP　太田渉

相手の印象は五中より六中の方がやりにくかった。それは、センターバックのちがいだ。

六中のCBは足が速くきっちりマークしてきたが五中のCBは、やたらマークをはずしてくれた。だから2得点できた。

MVPはうれしいがDFやGKのおかげだDFはよくまもってくれたしGKのこう守、そして、アシストがあったからだ。

今後の練習はパスワーク、そして1対1をもっとやりたい。

丸山敦士

準決勝、沢本君のフォローをしようと、後ろにいました。そのとき、ちょうどシュートしやすいボールがきたのです。延長後半でした。頭の中でシュートをうたないと負けると思い、おもいきってシュートしたボールがゴールし、最高にうれしかったです。これからの練習は、パスがうまくつながる方法を考えがんばりたいと思います。

高校選手権

藤東、吉田ともに敗退

来年は打倒清水!!

決勝トーナメント1回戦、11月6日快晴の焼津市芝グランドにおいてV候補同志のカードとあって地元藤枝東応援団が大挙かけつけた。

前半立上りから清水商業が押し気味に進めた。中盤の三浦・藤田からパスを両ウィング山田・吉賀が中央におり返す清商独特のパターンで展開された。一方藤枝東は押されながらもSW山本がバックラインをしめていたが前半33分に武岡が失策、つづく38分にも武岡が頭で決めて前半が終了した。

後半に入ると藤枝東はようやく勢いを盛り返し、ストッパー福原を前線に上げ反撃にでた。清商が3点目をあげた直後左からのセンターリングを見崎が決め終了間際に福原が押しこんでその差1点をしたが時すでに遅く涙をのんだ試合であった。

2次リーグ（）内はアシスト

◎藤枝東5 [3-0 / 2-0] 0伊豆中央
得　見崎（熊谷・井川）（中村）井川（見崎）井川（大石信）（熊谷）

◎藤枝東3 [2-1 / 1-0] 1磐田東
得　中村（熊谷）（大石信）（見崎）見崎（中村）

◎藤枝東3 [0-0 / 3-0] 0静岡学園
得　井川（PK）大石信　見崎（大石信）

決勝トーナメント

◎藤枝東2 [0-2 / 2-1] 3清水市商
得　見崎（福原）福田

2次リーブ戦

◎吉田0 [0-1 / 0-1] 2清水市商

◎吉田0 [0-3 / 0-2] 5清水東

◎吉田1 [0-3 / 1-3] 6浜名
得　吉田敏

選手権を振り返って

中西部高校部長　河村　駿

清水市商チームの優勝と清水東チームの準優勝・両チーム共に、すべての面において、サッカーファンに感激と興奮を与えてくれました。さてこの大会において中西地区より第二次リーグに勝ち残ったのは、藤枝東と吉田の二校であった。「もう一歩」の所で涙をのんだチームもあったと思う。これからの中西部地区の課題として「勝つためのもう一歩」が絶対必要条件だと思います。この「もう一歩」はなんだったのか、各チームの選手一人々が、高校時代の良い思い出を残す為にも真剣に考えてほしい事柄だと思う。各チーム選手として、出場出来る者は、それなりに充実感を持つ事が出来るでしょうが、選手として、ゲームに出場出来ない者も、選手と同じ喜び悲しみを、もたなければ良いチームにはなりません。選手に「おいつけ」・「おいこせ」又チームに対して何か貢献出来る部員となってほしい。これらの気持が今後の中西部地区高校の技術レベルアップと、チームに気身してくれるものと思います。さて藤枝東チームの私の感想です。ディフェンスの強いチーム、得点さえ上げてゆけば、優勝の期待がもてる、こんな感じをもっていました。そして、私の期待通り攻撃面では充分しましたが守りの面では役割を全員がはたしていました。決勝トーナメント準々決勝では、清水市商チームが今大会、一番すばらしい出来ばえのゲームを藤枝東戦に出しました。そして攻守の切りかえの速さ、ゴールと云う目標意識、又トップスピードでの個人技・的確なボイスコントロール等々すべての面でこのゲームにおいては藤枝東をほんろうさせました。その結果、常に冷静なゲームの出来る藤枝東イレブンの気持は「あせり」となって現れ、本来の能力が常に出せなかったように思いました。しかし、後半に入ってからは、気持が前に出て来て二時点を上げる評価果をもたらした。ゲーム展開等については頭で理解している選手です。もっと自信をもって、気持の上で劣勢におちいらないよう、藤枝東イレブンの自覚をもって今後ゲームに望んでほしいとお思います。又初のリーグ出場となった吉田高校チームは速い攻撃と早めのチェックを信条としゲームの中でも気持が前向きであった。これが勝ち進んだ勝因だと思います。特に清水商戦での「ねばり」と「やる気」には相手を苦しめたいます。まさに「和似征技」である。しかし、ここで敗因を考えて見たい。自分達より運動量も多く、スピードもあるチームに対して、個人技がどこまで生かされたか、見ていた感想では今一歩、スピードの中での個人技が必要だと思いました。速い動きに対しても正確な判断と冷静さを持てるよう頑張って下さい。そして今大会でのステップが次へと生かされる事を期待しています。岡監督共に、ご苦労の多かった事と思います。最後に高校チームにご期待と、ご声援下さいましたサッカーファンの皆さん、次の大会にはもっと力をつけて、ご期待に添いたいと思っております。

選手権の反省

技術委員会　鈴木規之

過日（11/9）行なわれた技術委員会において中西地区の高校が選手権に勝ち残る事がなぜできなかったか、清水の選手と中西の選手の違いは何かについて話し合いました。

体力・戦術・精神力にどのような差があるかを中心に話し合った。体力差はないが戦術面で清水の選手は、今何をすべきかの判断が早い。ゴール前での集中力、点を取る感覚が鋭い又これは技術になるが、浮き球の処理の仕方がうまく苦にしていない等が出された。精神面においても、勝つことへの執念、動きの厳しさ活力においても中西の選手以上のものを発揮している事は、技術はもちろん大切な事なのだがそれ以上に頭のトレーニング、今何をすることかを常に考えさせる練習をする。そしてそれをゲームに生かせることが大切だ。

今年の県大会の決勝も清水同志であった。確かにゲームにおいて大量得点差で中西の高校が負けている訳ではない。しかし決勝は清水同志である。がんばれ中西高校生！

松永杯・大富が制す

ベスト16以上の組み合わせ）

中西部少年団2大イベントの1つである、第7回松永藤杯少年サッカー選手権大会は、11月13日、20日、23日の3日間、岡部町を中心に開催された。

セレモニーとして、12日午後3時30分より、岡部小グラウンドに出場32チームが集合し、盛大に開会式が挙行され、各チーム共、優勝の2文字に向って健闘を誓いあった。

試合は13日から始まり、それぞれ8会場にわかれ、1・2回戦を戦い、20日にはベスト4をかけ、白熱した好ゲーム。23日の決勝戦は、ベスト4をかけ、白熱した好ゲーム。

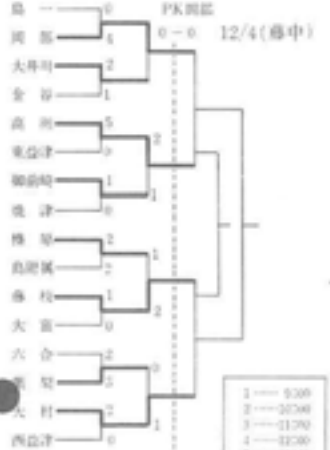
ツ少年団、4位に、岡部サカースポーツ少年団となった。

試合結果（決勝）

両チーム少年達らしい攻守にはけるうつとした好ゲームを展開した。前半、焼津西が優勢に試合を進めたが、終了3分前に、大富のコーナーキックからも番岡野に、ゴールを割られ、が然大富が有利になった。後半は、焼津西も奮闘し、一進一退が続いた。

しかしながら12分右コーナー付近で焼津西がハンドおかし、フリーキックから番大山がシュートし2点目が

第4回中西部新人戦



第42回県スポーツ祭

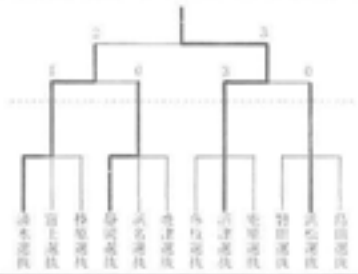
女子リーグ

第四十二回県民スポーツ祭
サッカー　婦人の部　決勝
焼津クイーンズ 0 [0-1 / 0-0] 0 清水ユナイテッド
（延長戦）焼津クイーンズ（初）
サッカー　自治体対抗の部
大井川町 3－1 岡部町
町役場　　役場

第四十二回県民スポーツ祭
サッカー　婦人の部　決勝
焼津クイーンズ 0 [0-1 / 0-0] 0 清水ユナイテッド
（延長戦）焼津クイーンズ（初）
サッカー　自治体対抗の部
大井川町 3－1 岡部町
町役場　　役場

清水第八 7 [0-0 / 7-0] 0 藤枝東
清水第八 11 [6-0 / 5-0] 0 焼津クイーンズ

第15回地区選抜大会



浜松市立北星中学校会場			浜松市立開成中学校会場		
対戦			対戦		
浜名	1－3	沼津	浜松	4－0	磐田
藤枝	0－1	清水	藤枝	0－1	沼津
静岡	0－0	焼津	島田	4－4	磐田
藤枝	2－3	富士	沼津	1－0	庵原
浜名	0－4	静岡	島田	1－10	浜松
清水	5－0	富士	藤枝	2－2	庵原

第一回スポレク祭に参加して

石上瞬一

「笑る汗　むすび友情　ひろがる未来」をテーマに第一回やまなしスポレク祭、廿年サッカー大会が秋深まる山梨県甲府市で11月13日より四日間開催され県代表の一員として参加しました。

本大会は40才以上の選手が行う全国規模の初めての大会であり各方面から注目されましたが全国より45チームが出場し成功りに終了することができました。人口三万弱の甲府市にたくさんのクラウンが四面会場のすばらしさと同時に思ってもいきいきプレイできたこと

を感じました。一生忘れない二回戦敗退しま[illegible]。試合とも年齢を感じさ[illegible]。技術とも戦術又勝負に[illegible]るお相はすばら[illegible]大に[illegible]を盛り上げることができました。

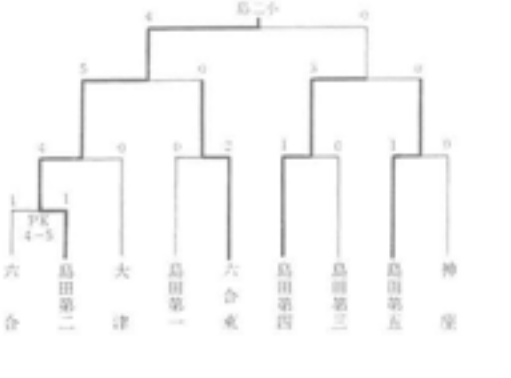
大会の結果は、17名御敷山田体[illegible]長の部で優勝した時と同じにてうり魔本先生とともに舞[illegible]をやしました。懐かしいイベル、友愛の方さにお会いできるのもサッカーのお陰であると感謝しました。PK合戦の勝利は全員が感動し胸をなでおろしました。年をとっても勝利は格別の味がします。

大会初期の目的、友情と生涯スポーツ活動は本大会開既校の関係者からも認識されました。

静岡1 [0-0 / 1-1] 1愛媛
PK 7－6
千葉1 [0-0 / 1-0] 0静岡

第7回島田市チャイルド（2年以下）大会

優勝した島田第二



	6年の部	5年の部	4年の部	3年の部
1	島洲高K	藤枝中央	藤枝中央A	藤枝
2	藤枝中央	大洲A	藤枝	高洲
3	東髙	高洲	西益津第一	西益津第一
4	藤岡	西益津第一	西益津第二	藤岡A
5	高洲	東髙	青島北	藤枝中央
6	西益津	広幡	広幡	高洲南
7	青島北	青島東	高洲南	青島北
8	青島東	藤岡	稔	西益津第二
9	大洲	高洲	青島	藤岡B
10	瀬戸谷第一	青島北A	高洲	広幡
11	広幡	瀬戸谷	東髙	青島東
12	東髙西北	西益津第二	藤枝中央B	東髙
13	藤枝	東髙西北	西益津第三	大洲
14	島洲南F	大洲B		稔
15	青島	青島北B		
16	稔			
17	瀬戸谷第二			

リーダースクールが無事終了

昭和六十三年度日本サッカー協会公認リーダー資格養成のスクールが六月十六日より十一月十七日までの毎週木曜日の約二十週にわたって開催された。

十一月十七日に最後を締めくくる、理論・実技の試験が筑波大学の松本光弘先生によって高洲中学校で実施された。

受講者は中西地域の少年・中学・高校の指導者二十名で、ほとんどが企業に勤務する会社員と中学・高校の先生であり、受講者の熱心な態度に関係者一堂、敬意を評している。スクールでスターは日本サッカー協会・日本体育協会公認上級コーチの滝本義三郎氏＝藤枝中学校勤務。

特にサッカーの指導から十二才ごろに技術＋感覚的要素のトレーニングは身につけなければならないということで少年指導者の意義は大きく、このスクールで学んだ事を参考にして地域サッカーに貢献してほしい。なお、指導の実習、論文が義務づけられている。閉講式は十二月一日(木)に行なわれる。

受講者は以下の通り。

昭和63年度静岡県リーダースクール
会場　藤枝市立高洲中学校

氏名	指導チーム
渡辺　潔一	高洲少年団
渡辺　正之	高洲少年団
相馬　強	大洲少年団
伊藤　孝	金島少年団
武藤　守正	広幡少年団
鈴木　村雄	藤岡少年団
古賀　学	青島北少年団
古賀　馬	青島北少年団
有馬　田秋	青島北少年団
増田　勉	青島北少年団
木ノ内　裕	岡部少年団
山田　浩史	岡部少年団
宗本　貞弘	川崎少年団
石関　武	川崎少年団
畑　仁	川崎少年団
大石　秀樹	六合東少年団
山下　雅史	西益津中学校
熊谷　孝人	六合中学校
横沢　正司	橋原中学校
志村　新和	藤枝東高校
山崎　博	島田高校

第19回松永杯中西部選手権

	会場
A	焼津市民（又は焼津信金前）
B	藤枝東高
C	藤枝北高
D	静清工高
E	焼津中央高
F	大井川高
G	六合高
H	島田工高

	試合時間
①	10：00～
②	11：30～
③	13：00～
④	14：30～

少年団指導者研修会開かれる

11月20日、藤枝ニミナースにおいて、サッカー少年団（52団）の指導者約120名が参加し、開催中の中西部少年サッカー選手権大会に合わせ例年行われているこの研修会は、指導者の質の向上と、中西部少年サッカーのレベル向上を目的に開かれ、成果を上げている。

7回目の今年は、講師に中西部サッカー協会少年部長山本麻雄氏と、数多くの選手を育成し指導評価の高い岡部サッカー少年団の代表指導者鷲津地雄氏をまねき行われました。

最初に山本部長より「62年度サッカー少年団の活動実態調査と活動プログラムに関する研究報告」がなされ、少年団の現在かかえている問題が報告された。同時に指導者の資質に関する調査報告もなされ、参加者一同真剣に聞きいっていた。

次の講演者鷲津氏からは、過去15年間の指導経験をもとに、子ども盲目「岡部町」から、中山・福田の、数多くの選手を藤枝東高に送りこんだ実績や、彼らのエピソードを交えて、ユーモアたっぷりに講演した。特に練習方法と、指導ポリシーを中心に120名の指導者にうったえました。

例年、県内の有名なサッカー関係者を講師にまねき、研修会を行ってきましたが、我々の身近にも聞くんゃに感動を与える指導者がいる事を知り、新たので、中西部協会の深さを感じました。この研修会の成果は必ずや出ると信じつつ終了しました。

藤枝市少年団リーグ終了

第23回藤枝市少年サッカーリーグ戦が、10月30日に開幕した6年生の部では17チーム参加してリーグ戦が行われた。本年度の、リーグ戦は各チームとも実力が接近していて接戦になったが、実力が一枚上の高洲南が優勝した。その他の上位チームも苦しみながらも接戦を物にして勝点を上げた。7位以下のチームも実力的には上位チームと差は無くなかった。星のつぶしあいで勝点が延び県大会出場チームは長丁場の厳しい戦いを終えて心機一転Aチームとして、チームを編成勝ち残った藤枝。

島田で7チーム、どこが出場できるか予想できない、栄光を勝ち取るのは誰手諸君だ。

5年生の部では藤枝中央少年団が無敵で優勝来年は打倒藤枝中央。

セゾン杯代表は藤枝・島田で上位3チーム県大会出場へ各団がんばろう。

4年生の部でも藤枝中央少年団が無敗で優勝。今後の成長がたのしみだ。

3年生の部では藤枝少年団が無敗で優勝ミリンカップ代表藤枝・島田では上位3チーム県大会出場へ各団がんばろう。

Aリーグ	勝	負	分
金谷Ⅰ	8	2	
金谷Ⅱ	2	6	
五和	2	7	1
自彊	6	3	1
3日中央	6	3	2
住吉	9	0	
細江	7	1	
川崎	0	5	3
坂部	3	4	1
勝間田	0	5	3
相良	3	5	
白羽Ⅰ	9	2	1
白羽Ⅱ	0	9	

Bリーグ	勝	負	分
金谷Ⅰ	9	0	1
金谷Ⅱ	3	6	
五和	6	3	1
自彊	4	4	
3日中央	5	4	1
住吉	4	2	1
細江	4	3	1
川崎	0	5	2
坂部	1	7	
勝間田	0	5	2
相良	5	3	
白羽Ⅰ	11	1	
白羽Ⅱ	0	9	

Cリーグ	勝	負	分
金谷Ⅰ	8	1	1
金谷Ⅱ	4	4	1
五和	4	5	1
自彊	4	3	1
3日中央	7	2	
住吉	0	6	2
細江	5	2	1
川崎	1	5	1
坂部	2	5	1
勝間田	1	5	1
相良	5	3	
白羽Ⅰ	11	0	1
白羽Ⅱ	0	8	

榛原少年団冬季リーグ

榛原少年団サッカーを手始め初戦から自熱した好試合がリーグ戦は、10月9日に開幕されております。

Aリーグ戦は、第21回静岡県大会出場の手選を兼ねて、また地元開催も重なり決定します。

なお、最終日の、11月27日には、県大会出場5チームが、

焼津市民スポーツ祭

社会人　準決勝
11：20　YKS　3－3　HNE
焼津信用金庫0－0焼ラッ
赤鳥　YKS　4－1　焼津信金

少年団・父親・母親10／30
三年生　春田1－0遠
四年生　焼津南1－0大富
五年生　焼津西1－0大富
六年生　大富1－0焼津西
父親　小川2－1和田
母親　大富1－0焼石

66総体に向けてトレセンスタート

昭和六十六年に高校総体が静岡県で開かれることになり、県体育協会は県内の東部・中部・西部にトレーニングセンターを設け選手の育成を行なっている。

このトレーニングセンターの目的は①県内の優秀な指導者が実質ある選手を継続的に指導する②選手の個性の発見②個人に合った練習方法・内容を実施しスペシャリストの中心選手を育成し、競技力の向上を図る③所属チームへの波及効果を強い競技水準を高める④優秀な選手がお互いに切磋琢磨して能力を高める⑤個人に合った練習方法・内容を実施しスペシャリストの中心選手を育成し、競技力の向上を図る⑥単に66総体にとどまらず全日本中学選抜大会・国民体育大会・各種目選抜大会等を目指しジュニア層の競技力向上を図る－以上のことを挙げている。

参加対象者は中高体連より推薦を受けた選手と指導者で、年間最低六回実施することになっている。種目は陸上・水泳・バスケットボール・バレーボール・サッカーの五種目。

サッカーの中部地区トレーニングセンターは藤枝高校の野島年広さんをスクールマスターに岩田豊司氏（静清工）松下博氏（吉田中）大石純氏（岡部中）二見有氏（大富中）鎌田昌治氏（吉田高）岡本勇氏（大井川高）らがスタッフとして参入している。

選手の方は中学一年生から高校一年までの九十一人で、中西部地区からは中一が八人、中二が八人、中三が六人、高一が五人の計二十七人が選ばれている。トレセンは九月四日に第一回目を行い、十一月二十日、十一月二十七日、十二月十八日、二月五日、二月二十六日に開かれる。

66総体はサッカーの本場静岡で開かれるだけに優勝が第一の目標。選ばれた選手の活躍を大いに期待したい。なお選ばれた選手は別表のとおり。

中一	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	高洲市	高田
	中学校	島田市	島田
	中学校	焼津市	焼津
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
中二	中学校	島田市	島田
	中学校	島田市	島田
	中学校	焼津市	焼津
	中学校	金谷町	金谷
	中学校	榛原郡	榛原
	中学校	菊川市	菊川
	中学校	袋井市	袋井
	中学校	浜松市	浜松
中三	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	藤枝市	藤田
	中学校	焼津市	焼津
	中学校	袋井市	袋井
	中学校	島田市	島田
	中学校	大井川	大井
高一	東高校	藤枝市	藤田
	東高校	藤枝市	藤田
	北高校	藤枝市	藤田
	東高校	藤枝市	藤田
	東高校	藤枝市	藤田
	東高校	藤枝市	藤田
	東高校	藤枝市	藤田
	東高校	藤枝市	藤田

サッカーと私 ⑤

後藤 美喜保氏（69）

大正八年六月十九日、藤枝市上新田二九九番地に後藤家の長男として生まれた。

☆昭和十二年　志太中卒（九回）

☆昭和十六年　日本獣医専卒

☆昭和十七年二月　静岡歩兵第三十四連隊補充隊に入隊

☆昭和十七年十一月　豊橋歩兵子備士官学校卒業と同時に歩兵第三三連隊補充隊に復員して（ラバウル）転属

☆昭和二十一年五月　名古屋に復員

☆昭和二十四年　獣医として藤枝に開業

私とサッカーとの出会いは、昭和七年志太中入学と同時であった。小学校は名古屋だったのでそれまでサッカーを見た事もなく、況して球を蹴ることも出来なかった。藤小出身の同級生がうまくボールを扱い蹴るのには、ほんとうに驚いたものだった。当時は未だ、蹴球と云っていた時代で、夏休みは全校生の内三〇〇人位が手を洗うが如く、各クラスが一つのボールを追いかけ団子になって楽しんだものだ。私がサッカーを本格的に始めた切っ掛けは、放課後中庭でテニスをして遊んでいた処、小宮山先生が呼ばれるので飛んで行ったら、「オイ後藤、蹴球部に入らんか？」と云われ事に驚き、その時嬉しさの余り、何を考える余裕もなく「ハイ」と答えてしまった。当時、花の蹴球部へと云われ事に驚き、その時嬉しさの余り、何を考える余裕もなく「ハイ」と答えてしまった。当時、花の蹴球部へ自分の意志で入部出来るものではなかった。先生のお蔭で過去五十六年（其の間軍隊生活五年を除いて）半世紀に渡って球を蹴り、今尚、後輩サッカーマンとの係わりを持たせて頂いている。何と人間の一生と云うものは全く何かの因縁によって決定づけられるものだなあとしみじみ感ずる今日此の頃である。

志太中時代の練習、合宿渡辺、浜工主将近藤中等学校蹴球大会優勝、提燈行列（当時としては最大級の歓迎）それはそれなりに想い出、自慢話し等、数多くあるにはあるのだから、自分も人並みに一応書いてはみたが、自分一人の力でも無し、無気がきしてきてやめてしまう。今さら老人の戯言如きもの、書いてどうなるものかと思うと筆も遅々として進まない。何回書き直しても駄目だから仕方がないあっさりやめる事にした。

戦後、藤枝サッカーは、実業団、天皇杯、国体等大きな大会を誘致し、又、藤枝東が昭和三十七年度、三十八年度と二年連続高校選手権大会優勝、昭和四十年代後半北全国に君臨した当時が同校の黄金時代であり、スポーツ少年団、中学、社会人と「サッカーの町藤枝」とその名を欲しいままにした時代だと思う。其の後流れは徐々に東に移り現在は清水が藤枝にとって代わり黄金時代を築きつゝある。

これは県下高校サッカーのレベルアップにもつながり誠に喜ばしい事ではあるが、総本家がおかしくなると云う事は吾々にとっては由々しき問題であり、又非常に情けない気もするわけである。私は唯藤枝東が強くなるだけでなく先づは、藤枝北校、静清工業校、明誠高校がお互いに切磋琢磨し今年の藤枝のチャンピオンにどの学校がなるか分からないと云う位になる時が第二の黄金時代の到来と確信致すわけである。その為には、スポーツ少年団、中学でしっかり良い選手を育てて貰う以外に方法は見当らない。それには藤枝サッカー協会の物心両面の強化が必要であり、中西部のスポーツ少年団から高校までの縦の線の連携を密に し組織を強化する以外に道はなさそうに思われるが、如何なものであろうか。

最後に中西部一丸となって県下に覇を唱える日を希求して筆を置きます。

後藤さんのこと

橋本 忠広

わが大先輩後藤さんを、一言で表現すれば「情熱の人」という事になろう。今もってまだ「アツク」なれる気持ちと、男の「ナサケ」を感じさせる心を持ち、自己の信念に基づいたその行動力は、我々後輩が大いに学び、そして真似たい所だ。志太クラブ、藤枝東、静岡学園、大商大、中央防犯、後藤さんの情熱が、これらのチーム、スタッフにどれだけの勇気とはげましを与えた事か。今後も益々政々なっていただいて大いに熱くなっていただきたい。みもって我々後輩は少しでもその手助けをさせてもらいたいと願っている。

ブラジル研修に滝本さんが参加

日本では幼児から社会人まで幅ひろい層でサッカーが熱心に行われ、中でも静岡県は日本のサッカーの本場。しかしそのレベルは日本国内ではトップレベルだが世界の中ではまだまだ低い。アジアの中でも今一歩という感じは否めないところ。

そうしたことから県サッカー協会では「サッカーの本場」ブラジル研修会を実施することになり、中西部からは中西部サッカー協会トレセン部長、藤枝市サッカー協会技術委員長の滝本義三郎さん（藤枝中）が参加することになった。（鳥学の滝氏も参加）

静岡FA指導者ブラジル研修会は二十一人が参加し、十二月十九日に成田を出発し、一月七日に帰国するもの。ブラジルではアメリカFC、ジャウFC、サントスFCジュベントスFCなどを見学。本場の高度なか練習やプレーを学ぶことになっている。参加する滝本さんは「世界サッカーの本場ブラジルで日本のレベルの違いを痛感し、ブラジルサッカーを吸収して、中西部のレベルアップにつなげたい」と話している。

なおこのブラジル研修を後日本紙で旅行記として連載する予定。

12月と1月の予定

少年団	・チャンピオンカップ　12月25日～29日			
中学	・藤枝JC杯大会　1月5日・6日	・京都招待サッカー	12月25日～27日	
	・県新人戦大会　1月22日・29日	・岐阜招待サッカー	12月27日～28日	
高校	・松永杯中西部選手権			
	・新人戦中部大会　1月15日～			
社会人	・松永杯中西部選手権大会			
	・天皇杯大会			

特別賛助・購読会員募集のお願い

中西部ヤングサッカーニュースの発行の趣旨にご理解を賜り、地域のサッカー振興のためご協力頂ける法人・個人の特別賛助会員を募集させて頂いております。会員にお申込みいただいた方のお名前を掲載させていただくほか、毎月ヤングサッカーニュースをご郵送致します。

●特別賛助会員
一口　一万円
●定期購読会員
年間一〇〇〇円
●現金または切手
●送料共

特別賛助会員（順不同）

■法人・商店■

▽大光自動車㈱（三口）
▽㈱井川商店（三口）
▽ホテルシルビア（三口）
▽ヤマミ水産㈱（三口）
▽㈱サンショップ（二口）
▽㈱中央防犯
▽石原水産㈱
▽ウスイスポーツ
▽魚松
▽大沢スポーツ㈱藤枝本店
▽㈱オオサワ
▽㈱小宮人形
▽㈱太栄
▽㈱賀松建設
▽㈱ぱたじゅう
▽㈱山田組
▽ケンスポーツ
▽大進建設
▽建設土木大川組
▽進建機材㈱
▽清水屋スポーツ㈱
▽鈴木食品工業㈱
▽スナック藤
▽静隆倉庫㈱
▽東洋オートパーツ㈱
▽ハイナンスポーツ
▽深津建設
▽ホンダプリモ藤井
▽見崎設備
▽みのる旅行社
▽村松工業㈱
▽レストランサンパーク
▽㈱上山住宅
▽㈱スウィングスポーツ
▽ユーアイストア㈱
▽ABC藤枝店
▽前田書店
▽志太交通㈱
▽㈱藤枝事務器商会
▽藤崎産商㈱
▽曽根産商店
▽仲山鉄工㈱
▽小澤商店
▽増田自動車工業
▽御前崎観光ホテル
▽フォトスタジオ85相馬
▽焼津信用金庫
▽お好焼こばやし
▽増田工業㈱
▽富士コカ・コーラボトリング㈱
▽一品料理　磯乃屋
▽㈱共栄社
▽初亀醸造㈱
▽㈱藤枝エイショク
▽東海ガス㈱
▽松本印刷㈱
▽木村屋旅館
▽㈱野屋旅館
▽㈱永幸
▽カットサロン・シダ
▽斉藤設計事務所

■個　人■

▽石上純二
▽山口森三
▽加藤金吾
▽中山春良
▽小林国男
▽松永　修
▽和田三司
▽後藤美喜保
▽平木理平
▽上野孝雄
▽青木陽夫
▽竹中正樹
▽高島武夫
▽山本輝雄
▽斉藤寛之
▽本間宗弥
▽鈴木喜好
▽植田永二
▽柴田二郎
▽松永宗夫
▽滝本義三郎
▽渡辺宗男
▽深津敏夫
▽原崎正彦
▽丸山満也
▽塩澤次郎
▽斉藤敬晴
▽岩田　規

来年も愛読と協賛をお願いいたします

ヤングサッカーニュースが、本年、紙面の配風、校正する中西部サッカー協会の発展と藤枝を中心とした「よみがえれサッカーの町」の復活を期して月刊新聞として一万部を発行し、本年度第八号が十二月五日に完成されました。

中西部（志太榛原）地区は約八千人余のサッカーマンが活躍しております。

将来の静岡県、さらには日本のサッカーを背負うべきヤングの育成のために、また地域のサッカーを愛する皆様のためになる新聞を創っていきたいと思います。

毎月のサッカー記事を集めれば、お願い申し上げます。特に深く御礼申し上げます。

なお三月号で年度切替になりますが、引つづき御協賛の程お願い申し上げます。

発行責任者　滝本義三郎